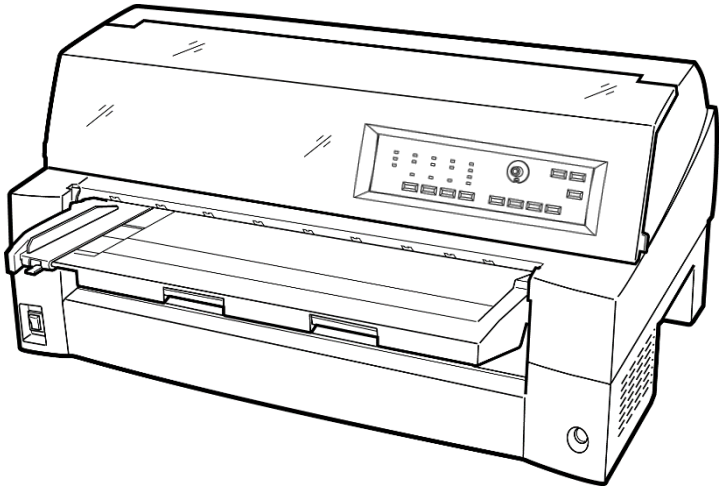
ドットインパクトプリンター

fit7450Pro

取扱説明書(プリンター編)



富士通アイソテック株式会社

目 次

目 次 1
製品を安全に使用していただくために 5
はじめに 7
安全上のご注意 8
プリンター設置および移動時のご注意 8
プリンター使用時のご注意 10
装置上のマークの説明 13
1 お使いになる前に 14
1.1 主な特長 14
1.2 製品の内容 16
1.3 使用上のお願い 17
1.3.1 設置場所について 17
1.3.2 電源について 17
1.3.3 使用方法について 17
1.3.4 パソコンの BIOS 設定について 17
1.4 各部の名称とはたらき 18
1.4.1 各部の名称 18
1.4.2 各部のはたらき 19
1.5 プリンターを設置する 21
1.5.1 設置手順 21
1.5.2 輸送用固定材の取り外し 22
1.5.3 単票テーブルのセット 23
1.5.4 単票テーブルの取り扱い 24
1.5.5 リアスタッカーの取り付け 25
1.5.6 パソコンとの接続 26
1.5.7 電源コードセットの接続 28
1.6 電源の投入と切断 29
1.6.1 電源を入れる 29
1.6.2 電源を切る 30
1.7 リボンカセットを取り付ける 31
1.8 トラクターユニットの位置を決める 33
1.8.1 トラクターユニットの着脱について 34
2 プリンターの機能とその使いかた 37
2.1 操作パネルの機能 37
2.1.1 ランプ 38
2.1.2 スイッチ 39
2.2 操作パネルを操作する 40
2.2.1 オンライン状態とオフライン状態を切り替える 40
2.2.2 印字開始位置を微調整する 40
2.3 オンライン状態で行う操作 41
2.3.1 用紙をカットする 41
2.3.2 単票用紙の排出方向を切り替える(手前排出) 41
2.3.3 印字モードを切り替える 41

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.3.4　高複写モードに切り替える 42
2.4　オフライン状態で行う操作 43
2.4.1　用紙の吸入や排出を行う 43
2.4.2　改行する 44
2.4.3　改ページを行う 44
2.4.4　給紙口を切り替える 45
2.4.5　紙厚調整モードを切り替える 45
2.5　単票手差しの方法を切り替える 46
2.6　プリンターをリセットする 46
2.7　機能設定を変える 47
2.7.1　基本的な操作 47
2.7.2　オフラインセットアップモードでの設定変更例(設定一覧を印字する場合) 48
2.7.3　『紙厚調整』を「自動」から「手動」に変更する例 49
2.7.4　『連帳ページ長』を「66 行」から「75 行」に変更する例 51
2.7.5　設定を工場出荷値に戻す 52
2.7.6　機能設定の種類 53
2.8　行間ズレを直す 69
2.9　用紙吸入量を調整する 71
2.10　連続帳票用紙をカット位置に送る 72
2.10.1　カット位置に送る 72
2.10.2　カット位置の補正方法 74
2.11　自動検出機能 75
3　用紙のセット 76
3.1　用紙をセットする 76
3.1.1　連続帳票用紙をセットする（前トラクター給紙の場合） 76
3.1.2　連続帳票用紙をセットする（後トラクター給紙の場合） 82
3.1.3　連帳用紙をセットする（連帳セットフリーオン時） 87
3.1.4　単票用紙をセットする（単票セットフリーオン時） 89
3.1.5　単票用紙をセットする（単票セットフリーオフ時） 94
3.1.6　単票用紙をセットする（カットシートフィーダーを取り付けた場合） 97
3.1.7　単票用紙をセットする（ＣＳＦセットフリーオン時） 101
3.2　用紙厚を調整する 103
3.3　印字開始位置について 105
3.3.1　印字開始位置（行方向）を微調整する 106
3.4　実力値について 107
3.4.1　印字位置精度について 107
4　用紙について 108
4.1　用紙使用上のご注意 108
4.1.1　連続帳票普通紙 108
4.1.2　連続帳票特殊紙 110
4.1.3　単票普通紙 112
4.1.4　単票特殊紙 113
4.2　連続帳票用紙 116
4.2.1　一般用紙（前・後トラクター） 120
4.2.2　はがき用紙（前トラクター） 121
4.2.3　封筒用紙（前・後トラクター） 122
4.2.4　タック用紙（前・後トラクター） 124
4.2.5　宅配伝票（前トラクター） 126
4.3　手差しで使用する単票用紙 127

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

4.3.1　一般用紙 127
4.3.2　用紙のとじ方法 129
4.3.3　はがき 129
4.3.4　封筒 130
4.3.5　宅配伝票 132
4.4　カットシートフィーダー（オプション）で使用する単票用紙 133
4.4.1　一般用紙 133
4.4.2　用紙のとじ方法 135
4.4.3　はがき 135
4.4.4　封筒 136
4.5　プレプリント用紙を使用するとき 137
4.6　とじ穴の開けかた 139
4.7　用紙の形状について 140
4.8　取り扱い上のご注意 141
5　保守と点検 142
5.1　リボンカセットを交換する 142
5.2　用紙づまりのとき 144
5.2.1　連続帳票用紙がつまったとき 144
5.2.2　単票用紙がつまったとき 149
5.2.3　リアスタッカー部に用紙がつまったとき 151
5.2.4　カットシートフィーダーから吸入した用紙がつまったとき 153
5.3　プリンターがうまく動かないとき 156
5.3.1　エラーメッセージが表示されている 156
5.3.2　電源投入時の不具合 158
5.3.3　単票用紙吸入時の不具合 159
5.3.4　単票用紙排出時の不具合 160
5.3.5　連帳用紙吸入時の不具合 160
5.3.6　印字中の問題点 161
5.3.7　印字結果の問題点 162
5.3.8　印字位置の問題点 164
5.3.9　印字位置がページによってズレる 165
5.3.10　カットシートフィーダー使用時の不具合 166
5.4　テスト印字をする 168
5.5　HEX ダンプ印字をする 169
5.6　清掃のしかた 170
5.7　プリンターを輸送するとき 171
5.8　プリンタードライバーの入手方法 172
5.9　消耗品の廃却について 172
5.10　アフターサービス 173
6　オプション 174
6.1　オプションの概要 174
6.2　LAN カードのご使用方法 174
6.3　LAN カード搭載方法 175
6.4　LAN カード取り外し方法 176
6.5　カットシートフィーダーを取り付ける 177
6.5.1　プリンター前部に取り付ける 177
6.5.2　プリンター後部に取り付ける 181
6.6　カットシートフィーダーを取り外す 183

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

7　付録 185
7.1　プリンターの概略仕様 185
7.2　外観図 188
7.2.1　標準外観図 188
7.2.2　カットシートフィーダー(オプション)取り付け時の外観図 189
7.3　インターフェイス仕様 190
7.3.1　パラレルインターフェイス 190
7.3.2　USB インターフェイス 194
7.3.3　LAN インターフェイス 195
7.4　プリンターエミュレーションの制限事項 197
7.5　初期状態 198
7.6　コマンド一覧表 199
7.7　キャラクターコード一覧表 204
7.8　非漢字一覧表 206
7.9　JIS-90 第一水準漢字一覧表 209
7.10　JIS-90 第二水準漢字一覧表 212
7.10.1　ご注意 215

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

製品を安全に使用していただくために

● 本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。
特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。
本書はお読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。弊社は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、本書の説明に従ってください。
Microsoft、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
ESC/P は、セイコーエプソン(株)の登録商標です。
その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

● VCCI 適合基準について

この装置は、クラスＢ機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。　　ＶＣＣＩ－Ｂ

● 本製品およびオプション品のハイセイフティ用途について

本製品およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムに於ける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

● 事業系の使用済製品の引取りについてのお願い

この製品の所有者が事業主の場合には、使用済後に廃棄される製品は産業廃棄物扱いとなり、廃棄する際にはマニフェスト伝票（廃棄物管理表）の発行が必要となります。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

● 電源高調波について

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

● コンピューターウィルスに関連する被害の免責について

コンピューターウィルスに感染することによって発生した障害については、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● 長時間、または大量に印字するときの換気について

換気の悪い部屋で長時間使用するとき、または大量の印字を行うときは、適切な換気を行ってください。

● 有害物質の放散にについて

この製品は、RAL-UZ171 に基づく放散試験に適合しております。

● 稼働音について

この製品は、印字中に稼働音が発生しますので、事務所とは別室に設置することを推奨します。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

はじめに

このたびは、fit7450Pro プリンターをお買い求めいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みいただき、プリンターが十分に機能を発揮できますよう正しい取り扱いをお願いいたします。

● 警告表示マークについて

本書ではいろいろな絵表示をしています。これは製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、本文をお読み下さい。

⚠警告	⚠注意
この記号は、取扱いを誤った場合、死亡または重症を負う事が有り得ること（潜在的な危険状態）を示しています。	この記号は、取扱いを誤った場合、軽傷を負うことがあり得ること（潜在的な危険状態）を示しています。また、正しく使用しない場合、当該製品自体または、その他の財産に、損害が生じる可能性があることのみを示しています。

絵記号の例とその意味	
	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が示されています。
	⃠で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容（左図の場合は分解禁止）が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグを抜く）が示されています。
高温注意	高温による傷害の可能性について記述していることを示します。
発火注意	発火する可能性について記述していることを示します。
接触禁止	機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性について記述していることを示します。
分解禁止	機器を分解することにより、感電などの傷害が起こる可能性について記述していることを示します。
一般禁止	特定しない一般的な禁止事項を記述していることを示します。
一般注意	特定しない一般的な注意、警告、危険を記述していることを示します。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

安全上のご注意

プリンター設置および移動時のご注意

- 同梱の電源コードセットは本製品以外の電気機器には使用しないでください。
  また、添付の電源コードセット以外は使用しないでください。
  感電・火災の原因となります。
- プリンターの上にまたは近くに花びん・植木鉢・コップなどの水の入った容器、金属物を置かないでください。
  感電・火災の原因となります。
- 湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所におかないでください。
  感電・火災の原因となります。
- 電源プラグは、交流 100V、10A 未満のコンセントには差しこまないでください。
  また、タコ足配線をしないでください。
  感電・火災の原因となります。

- 接地付き電源コードセットと接地接続のあるコンセントを使用してください。
- 電源を接続する前に必ず以下のいずれかにアース接続してください。
  - 電源コンセントのアース線
  - 銅片などを 650mm 以上地中に埋めたもの
  - 接地工事（D 種（第 3 種））を行っている接地端子

  アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。
  アース接続は必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に行って下さい。
  また、アース接続を外す場合は、先に電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 風呂場、シャワー室など、水のかかる場所で使用しないでください。
  感電・火災の原因となります。

- オプション機器の取り付けや取り外しを行う場合は、プリンター本体およびパソコン本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。
  感電の原因となります。
- オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。
  感電・火災または故障の原因となります。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

⚠注意

- プリンターの開口部（通風孔など）をふさがないでください。
  通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- プリンターの上に重いものを置かないでください。
  また、衝撃を与えないでください。
  バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。
  落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。
  高温によってカバーなどが加熱・変形・溶解する原因となったり、プリンター内部が高温になり、火災の原因となることがあります。
- このプリンターは突入電流がありますので、無停電電源装置(UPS)に接続しないでください。
  故障の原因となることがあります。
- 矩形波が出力される機器に接続しないでください。
  故障の原因となることがあります

- プリンターを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブル類を外してください。作業を行うときは、足元に十分注意して行ってください。
  電源コードセットが傷つき、感電・火災の原因となったり、本プリンターが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- プリンターケーブルの抜き差しは、必ずパソコンとプリンターの電源を切ってから行ってください。
  電源を切らずに行うと、パソコンやプリンターが故障する原因となることがあります。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

プリンター使用時のご注意

⚠ 警告

- 異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。
  故障の修理は当社 プリンター相談窓口(プリンター編 『5 保守と点検』「5.10 アフターサービス」参照)にご依頼ください。
  そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。
  感電・火災の原因となります。
- プリンターに水をかけたり、濡らしたりしないでください。
  感電・火災の原因となります。
- 電源コードセットを傷つけたり、加工したりしないでください。
  重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源コードセットを傷め、感電・火災の原因となります。
- 電源コードセットや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
  そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- カバーを外した状態でコンセントを差したり、電源を入れたりしないでください。
  感電・火災の原因となります。
- 開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
  感電・火災の原因となります。
- プリンターの電源を入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。
  プラグが変形し、火災の原因となります。

- プリンター本体のカバーや差し込み口についているカバーは、必要な場合を除いて取り外さないでください。
  内部の点検、修理は当社 プリンター相談窓口(プリンター編 『5 保守と点検』「5.10 アフターサービス」参照)にご依頼ください。
  内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。
- プリンターをお客様自身で改造しないでください。
  感電・火災の原因となります。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
  感電の原因となります。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

⚠警告

- 万一、プリンターから発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちにプリンター本体の電源スイッチを切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
  煙が消えるのを確認して当社 プリンター相談窓口(プリンター編 『5 保守と点検』「5.10 アフターサービス」参照)にご依頼ください。
  お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。
  異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- 異物（水・金属片・液体など）がプリンターの内部に入った場合は、ただちにプリンター本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  その後、当社 プリンター相談窓口(プリンター編 『5 保守と点検』「5.10 アフターサービス」参照)にご連絡ください。
  そのまま使用すると感電・火災の原因となります。
  特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- プリンターを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンター本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  その後、当社 プリンター相談窓口(プリンター編 『5 保守と点検』「5.10 アフターサービス」参照)にご連絡ください。
  そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- プリンターの清掃および保守、故障の処理を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
  電源スイッチを切らずにプリンターの清掃や保守を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。

- 電源プラグの金属部分、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。
  そのまま使用すると、火災の原因となります。
- 移動中に落下させたり、ぶつけるなどの衝撃を与えないでください。
  故障の原因となります。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

⚠注意

- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。
  火災・故障の原因となることがあります。
- プリンターが動作しているとき、給紙口や排紙口に髪やネクタイなどが巻き込まれないように注意してください。
  けがの原因となることがあります。

- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードセットを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
  電源コードセットを引っ張ると、コードの芯線が露出したり断線して、感電・火災の原因となることがあります。
- 使用中のプリンターは布などでおおったり、包んだりしないでください。
  熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 電源コードセットを束ねて使用しないでください。
  発熱して、火災の原因となることがあります。

- 長期間プリンターを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
  感電・火災の原因となることがあります。
- 近くで雷が起きたときは、電源コードセットのプラグを電源コンセントから抜いてください。
  入れたままにしておくと、プリンターを破壊し、お客様の財産に損害を及ぼす原因となることがあります。。

- 使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。
  やけど・けがの原因となることがあります。

- プリンターが動作しているとき、給紙口や排紙口に手を触れないでください。
  けがの原因となることがあります。
- プリンターケーブルコネクターや印字ヘッドの金属部には触らないでください。
  けがやプリンターの故障の原因となることがあります。
- 印字ヘッドが動いているときは、印字ヘッドに触れないでください。
  やけど・けがの原因となることがあります。

- 連帳用紙は、連続して逆送りをさせると用紙送りトラクターから外れることがありますので注意してください。
- 用紙厚に対して用紙厚調整設定を適正状態で取り扱ってください。
- リボンカセットは、純正品の使用をお奨めします。
  純正品は製品とともに開発し、安全性が得られるように設計しています。
- プリンター内部やローラー部に繊維クズがたまっている場合は、定期的に清掃してください。
- リボン巻取りノブは、反時計方向に回さないでください。
  リボンがロックして回転できなくなります。
- リボンがたるんだまま印字を開始すると、リボンが絡まったり、リボンの巻取りがロックすることがあります。
- 使用済のリボンカセットは、不燃物として地方自治体の条例または規則に従って処理してください。
- 印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。
  リボン交換時は温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドをリボン交換位置に移動してください。
- プリンターを廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理ください。

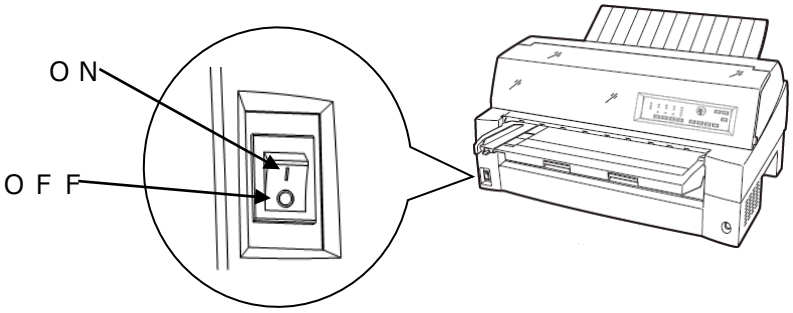
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

装置上のマークの説明

本製品には、注意ラベル，警告ラベルが貼ってあります。
内容をご覧になり、安全にお使いください。
注意ラベル，警告ラベルは、絶対に剥がしたり、汚したりしないでください。

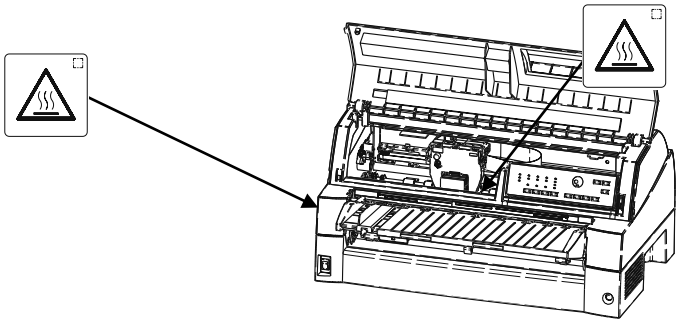
・電源スイッチ

プリンターの電源をＯＮ(印字可能状態)／ＯＦＦ(印字不可能状態)にします。



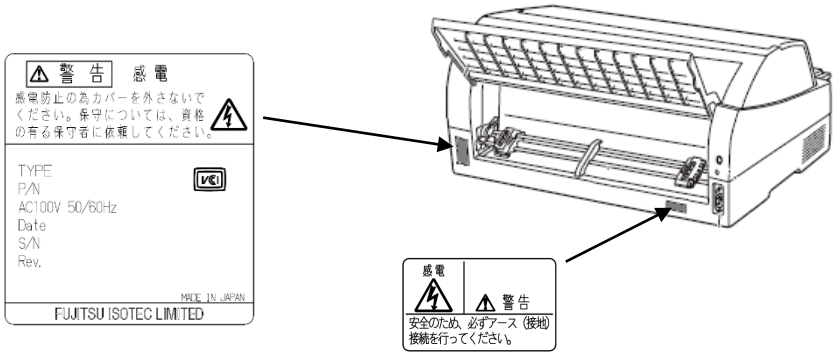
・印字ヘッド／駆動モーター

使用中や印字した直後は、印字ヘッドやプリンター内部が高温になります。
温度が下がるまで印字ヘッドやプリンター内部に触れないでください。
けがや、やけどの原因となることがあります。



・警告表示

安全のため、カバーを外さないでください。また、必ずアース(接地)接続を行ってください。
けがややけど、感電の原因となることがあります。



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

1 お使いになる前に

この章では、プリンターの主な特長や製品の内容、使用上の注意事項、各部の名称とはたらき、設置のしかた、リボンカセットの取り付け、電源の投入/切断について説明します。

1.1 主な特長

◆ 優れた印字品質

- ピン径 0.2mm の 24 ピン印字ヘッドは、日本語の表現に適した見やすく優れた印字品質を実現します。

◆ 印字処理時間の短縮

- 標準速度で、漢字 80 字/秒の高速印字を実現しています。
- 同一行内に漢字、ANK が混在したときは、自動的に速度を切り替えて高速度で印字します。
- 自動的に正逆方向の最短距離を判別して印字します。
- 印字中に新しいデータを受信するダブルバッファー方式を採用し、印字処理時間の短縮をはかっています。
- ドットの間引き印字（高速印字モード）により、さらに高速度(漢字 160 字/秒)で印字できます。

◆ 専用 Windows プリンタードライバー添付

- Windows オペレーティングシステムに対応した専用プリンタードライバーを添付しています。
- 専用プリンタードライバーを使用することで、用紙サイズ選択の他に用紙給紙口の切り替え、印字速度の切り替え、紙厚設定、２色(赤/黒)カラー印字がプリンタードライバーで設定可能です。

◆ ユーティリティーソフトの添付

- Windows オペレーティングシステムに対応した専用ユーティリティーソフト(fit ステータスモニター，fit リモートパネル)を添付しています。
- 専用ユーティリティーソフトによりプリンターの状態監視、セットアップの設定変更が可能です。
  「fit ステータスモニター」はパラレルインターフェイス、または USB インターフェイスで動作します。
  「fit リモートパネル」はパラレルインターフェイス、USB インターフェイス、または LAN（オプション）インターフェイスで動作します。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

◆ 多彩な印字（内蔵フォント）機能

- JIS 第一水準および第二水準漢字を印字できます。
- 漢字、ANK の標準文字のほかに拡大文字、縮小文字なども印字できます。
- グラフィック印字が可能です。
- ２色(赤/黒)カラーリボンを装着することによって、２色印字が出来ます。

◆ 優れた操作性

- 水平用紙パスの採用により、連帳、単票ともにプリンターの前後から用紙吸入が可能であり、多様な設置環境に対応できます。
- 単票の排出方向が前後に設定でき、後部には用紙スタックが可能です。
- APTC 機構（自動紙厚調整機構)、HCPP 機構（連単自動切換機構)、手差し単票のほか、カットシートフィーダーやトラクター給紙時にもセットフリー機能（用紙を簡単にセットする機能）を標準装備することで、媒体ハンドリングを容易にしています。

◆ 複写紙対応のカットシートフィーダー（オプション）

- オプションのカットシートフィーダーはプリンターの前後に搭載可能で、最大 5P までの複写紙が使用できます。
  (前側にセットする場合、前側のトラクターは使用できなくなります。)

◆ LAN カード（オプション）

- オプションの LAN カード(PR-LN4S)を搭載することにより、100BASE-TX/10BASE-T の高速ネットワーク環境でのプリンター共有が可能になります。
  LAN カード搭載時は USB インターフェイスとの同時接続はできません。

◆ 高い複写能力

- 用紙厚さに合わせて自動的に印字ヘッドをコントロールし標準モードで 5P の複写枚数を実現しています。（用紙厚さをオートで使用しているとき、印字圧が高くなると印字スピードは低下します。）
- 縦罫線/横罫線のコントロール適切化により縦罫線/横罫線の濃度差の少ない、鮮明な複写能力を実現しています。
- 高複写モードを選択することで、さらに 8P の複写能力を実現しています。

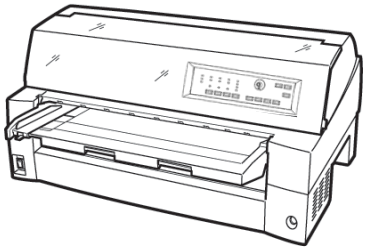
◆ 省電力設計

- 待機時 1.0W 以下の省電力設計です。(LAN カード未搭載時)

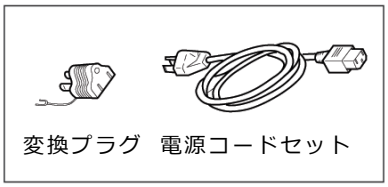
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

1.2　製品の内容

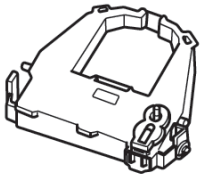
お使いになる前に、以下の製品が揃っていることを確認してください。
なお、プリンターが入っていた箱、および梱包材、固定材は、プリンターの保管・輸送の際に必要になりますので捨てないでください。



プリンター本体

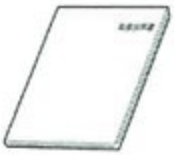


リアスタッカー



リボンカセット（黒、１個）

fit プリンター
セットアップディスク



クイック
スタートガイド

保証書

<ガイド>

- 本プリンターにプリンターケーブルは含まれていません。プリンターケーブルは、別途用意してください。
- 添付の保証書に必要な事項が書かれていることを確認してください。
  お買い求めのときに、正しい記載のなかった保証書は無効となり、無償保証を受けられないことがあります。
  詳しくは、プリンター編『5　保守と点検』「5.10 アフターサービス」をご参照ください。
- 保証書は大切に保管してください。

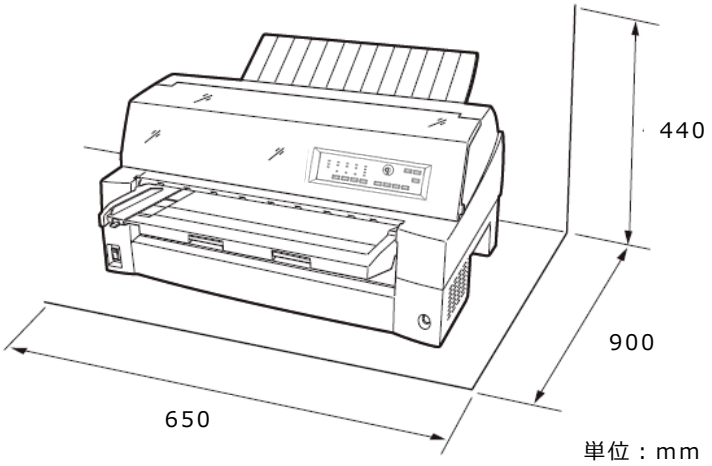
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

1.3　使用上のお願い

このプリンターを使用する際には、以下の点に十分留意されるようお願いします。

1.3.1　設置場所について

・ 長時間直射日光の当たる場所や、エアコンの前など極端に温度や湿度が変わる場所には設置しないでください。
温度と湿度が、以下の範囲内の場所に設置してください。
・周囲温度：5℃ ～ 35℃
・周囲湿度：30% ～ 80%（結露しないこと）
・ ほこり、腐食性ガス、潮風にさらされる場所、火気のある場所、水気のある場所は避けてください。
・ 磁石はもちろん、テレビやスピーカーなど磁気の強いものの近くに設置しないでください。
・ プリンターを設置するときに必要なスペースは下図のとおりです。
十分なスペースがないと正しい設置や操作ができません。図を参考にしてゆとりのある設置場所を確保してください。



1.3.2　電源について

次の電圧、周波数の範囲の電源を使用してください。
・電源電圧　　：AC100V±10%
・電源周波数　：50/60Hz +2%, -4%

1.3.3　使用方法について

・ 用紙およびリボンカセットをセットしていない状態で、印字しないでください。印字ヘッドやプラテンが傷む原因となります。
・ 印字ヘッドが動いているときは、電源を切らないでください。プリンターの故障の原因となります。

1.3.4　パソコンの BIOS 設定について

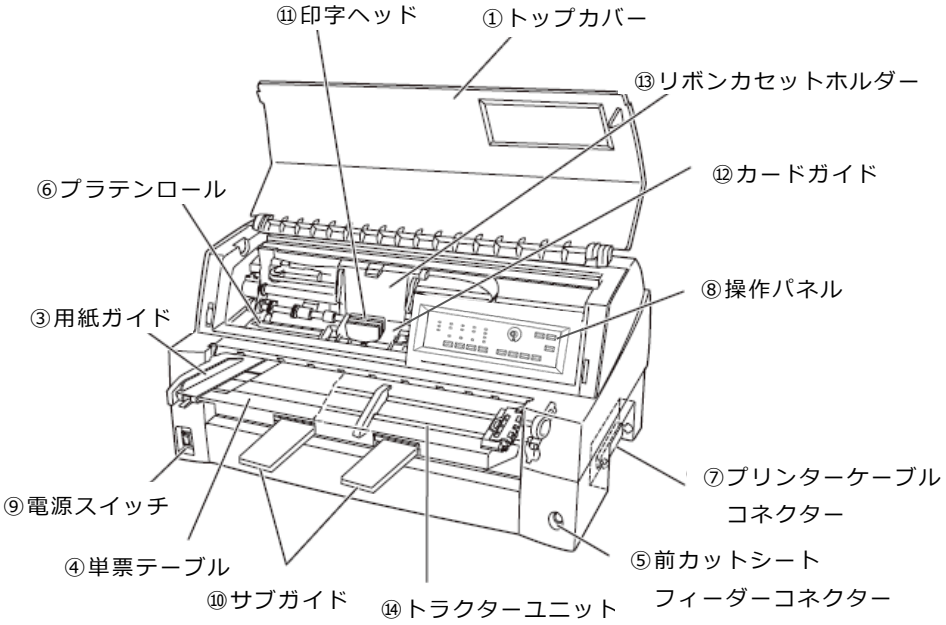
・ 本プリンターを接続するパソコンのパラレルインターフェイスのポート設定は、必ず「Bidirectional（双方向）」にしてご使用ください。
確認および設定の方法については、パソコンのマニュアルを参照してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

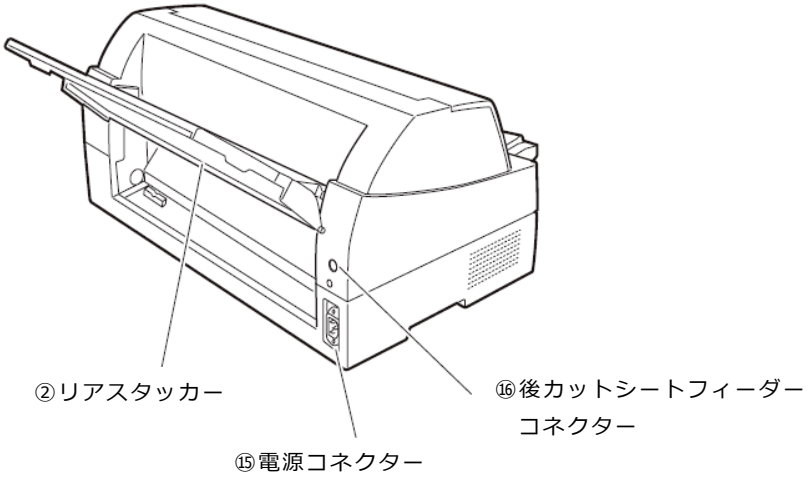
1.4　各部の名称とはたらき

1.4.1　各部の名称

◆ **正面**



◆ **背面**



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

1.4.2　各部のはたらき

各部の名称	はたらき
①トップカバー	オペレーターが動作中の印字ヘッドに触れない様に保護します。 また、印字ヘッドをほこりやちりから守ります。トップカバーを開けるとプリンターはオフライン状態になります。 印字を行う場合は、トップカバーを閉じて、オンライン状態にしてください。
②リアスタッカー	単票用紙をスタックします。
③用紙ガイド	単票セットフリーがオフの場合に、単票手差し時に用紙の左端を支えます。 印字開始位置に対して用紙ガイドを移動することにより、左端余白を調整できます。 単票セットフリーがオンの場合は使用しないので、左端に寄せておきます。
④単票テーブル	手差し単票用紙を使用するときのテーブルです。
⑤前カットシート フィーダーコネクター	オプションのカットシートフィーダーを装置前部に取り付けて使用する場合、ケーブルを接続するコネクターです。
⑥プラテンロール	印字時に用紙を支えます
⑦プリンターケーブル コネクター	プリンターケーブルをここに接続して、プリンターとパソコンをつなぎます。 オプションの LAN カードを接続する場合は、オプションインターフェイスカバーを外して挿入します。
⑧操作パネル	プリンターの状態表示、プリンターを操作するための各種スイッチがあります。 （詳細は、「2.1 操作パネルの機能」を参照）
⑨電源スイッチ	「｜」側を押すと電源が入り、「○」側を押すと電源が切れます。
⑩サブガイド	長い単票を使用するとき、引き伸ばして用紙がプリンターから落下しないようにするものです。
⑪印字ヘッド	用紙に印字する部分です。
⑫カードガイド	用紙を送るときの案内板です。また、カードガイド上の二本線は、行方向の印字位置を合わせるための目安です。
⑬リボンカセットホルダー	リボンカセットを取り付けるところです。
⑭トラクターユニット	連続帳票用紙をプリンター内部へ送ります。 プリンターの前部または後部に取り付けることができます。 後トラクター給紙時は、前トラクターユニット(標準装備)を後に付け替え、または、オプションのトラクターユニットの追加装着が必要です。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

各部の名称	はたらき
⑮電源コネクター	電源コードセットを接続します。
⑯後カットシート フィーダーコネクター	オプションのカットシートフィーダーを装置後部に取り付けて使用する場合、ケーブルを接続するコネクターです。

＜お願い＞

・プリンターの電源が入っているときは、印字ヘッドに触れたり無理な力を加えたりしないでください。
・印字中は、トップカバーを開けないでください。
トップカバーを開けると、途中で印字が中断されます。
カバーを閉じた後に、自動的に中断した位置から印字を再開しますが、印字品質が低下することがあります。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

1.5　プリンターを設置する

1.5.1　設置手順

プリンターは下記の手順を確認しながら設置してください。

1 製品がすべてそろっていることを確認する
梱包されている製品は、「1.2 製品の内容」を参照してください。

2 カバー部品を固定しているテーピング、固定部材を外す

3 単票テーブルをセットする
単票テーブルのセットについては、「1.5.3 単票テーブルのセット」を参照してください。

4 トップカバーを開けて輸送用固定材を外す
輸送用固定材の取り外しについては、「1.5.2 輸送用固定材の取り外し」を参照してください。

5 リアスタッカーを取り付ける
リアスタッカーの取り付けについては、「1.5.5 リアスタッカーの取り付け」を参照してください。

6 トラクター給紙の前後の位置を選択する
トラクター給紙の前後の選択については、「1.8 トラクターユニットの位置を決める」を参照してください。
トラクターユニットの位置変更については、「1.8.1 トラクターユニットの着脱について」を参照してください。

7 電源コードセットを接続する
電源コードセットの接続については、「1.5.7 電源コードセットの接続」を参照してください。

8 リボンカセットを取り付ける
リボンカセットの取り付けについては、「1.7 リボンカセットを取り付ける」を参照してください。

9 必要に応じて機能設定を変更する
機能設定の変更方法については、「2.7 機能設定を変える」を参照してください。

10 パソコンと接続する
プリンターケーブル（別売り）を準備します。
パソコンとの接続については、「1.5.6 パソコンとの接続」を参照してください。

11 プリンタードライバーをインストールする
プリンタードライバーのインストールについては、『ソフトウェア編』を参照してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

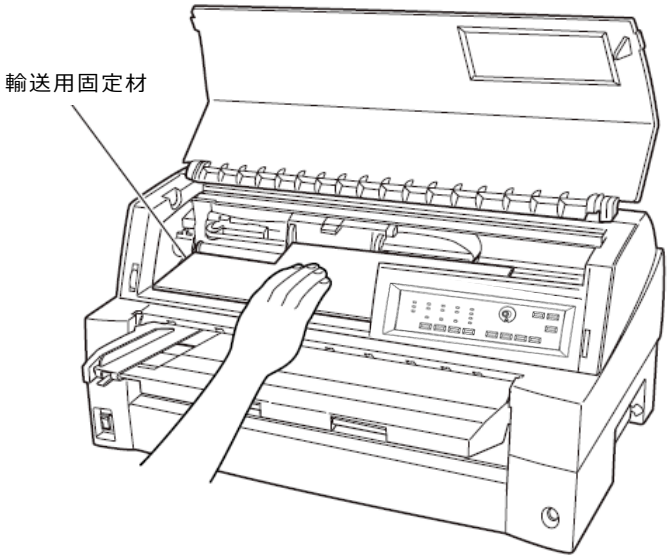
1.5.2　輸送用固定材の取り外し

輸送中の振動などから印字ヘッドを保護するため、輸送用固定材が取り付けられています。プリンターを使用する前に、必ず取り外してください。

＜お願い＞

・ 取り外した輸送用固定材は、箱と一緒に保管しておき、再びプリンターを輸送する場合や保管する場合に使用してください。

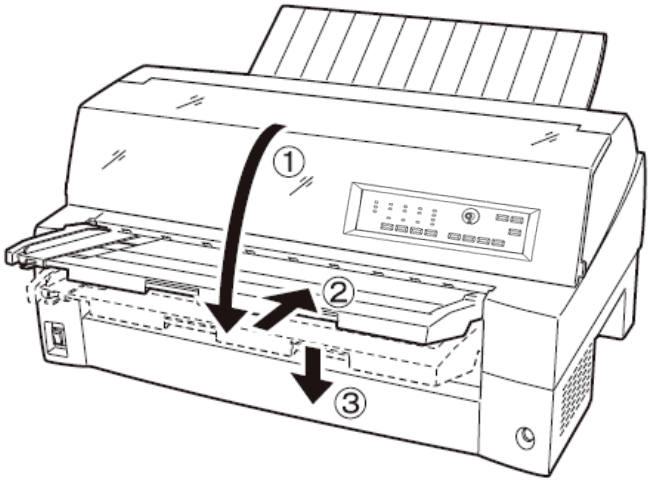
トップカバーを開けて、印字ヘッドを固定している輸送用固定材を抜き取ります。



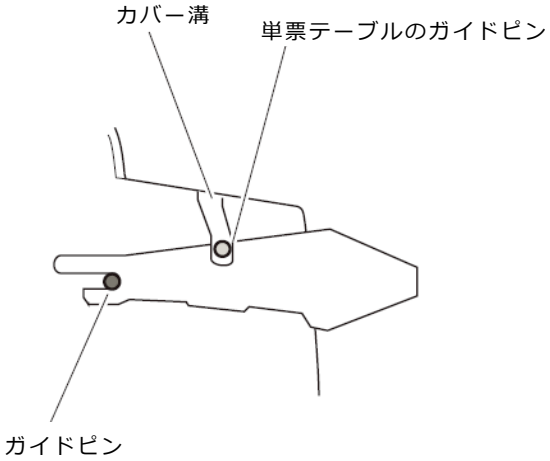
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

1.5.3　単票テーブルのセット

下図のように単票テーブルを回転させた（①）のち、奥に押し込んで（②）セットします（③）。



セット完了状態は下図のように、単票テーブルの先端がプリンターのガイドピンに挿入され単票テーブルのガイドピンがカバーの溝に入っていることを確認してください。



<お願い>

・ 単票テーブルの操作の途中で、無理な力をかけないでください。破損の原因となります。
また、途中の状態で放置しないようにしてください。
単票テーブルをセットしている途中の状態で使用すると、用紙づまりの原因となります。

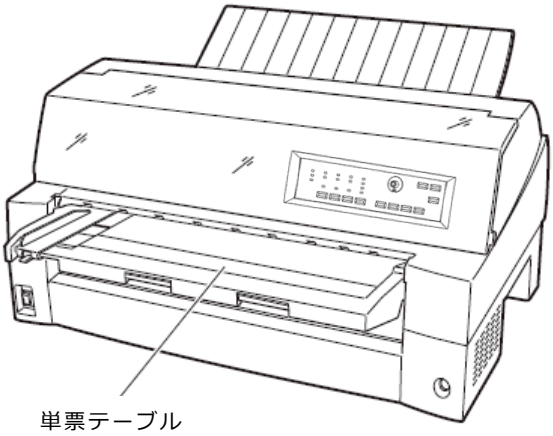
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

1.5.4　単票テーブルの取り扱い

単票テーブルは、連続帳票用紙を前トラクターにセットするときや、カットシートフィーダーをプリンター前部に取り付けるときに、いったん開閉する必要があります。

◆ 通常時

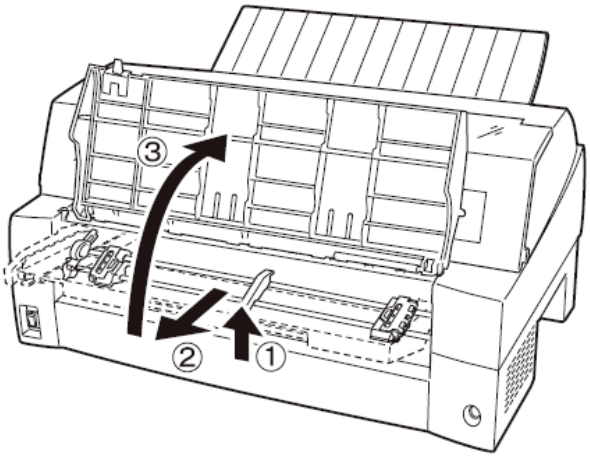
通常は下図のような状態です。



◆ 前トラクター着脱時、連続帳票用紙前トラクター給紙時（開いた状態）

オプションのカットシートフィーダーを、プリンターの前部に取り付ける場合に単票テーブルを開いた状態にします。
以下の方法で行います。

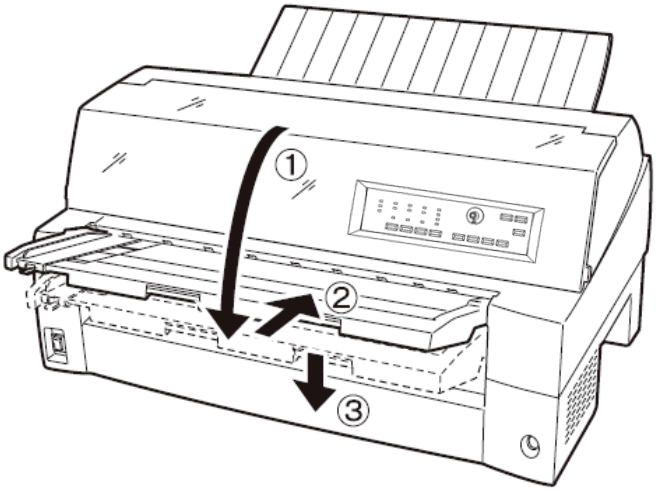
1 単票テーブルを開く
単票テーブルの先端を少し持ち上げ（①）、手前に引いた後（②）、回転させて開きます（③）。



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

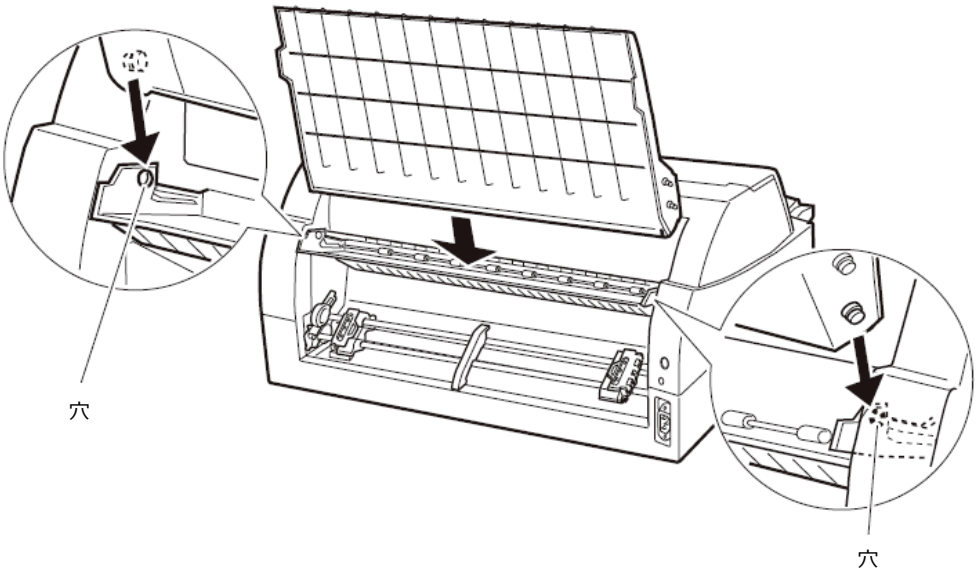
2 単票テーブルを閉じる

下図のように回転させた（①）のち、奥に押し込んで（②）閉じます（③）。



1.5.5 リアスタッカーの取り付け

下図の様にプリンター背面のスタッカーガイドの内側の穴にリアスタッカー両側の突起をはめます。



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

1.5.6　パソコンとの接続

このプリンターはパラレルインターフェイスおよび USB インターフェイスを備えています。プリンターケーブルは接続するパソコンによって異なります。別途用意してください。

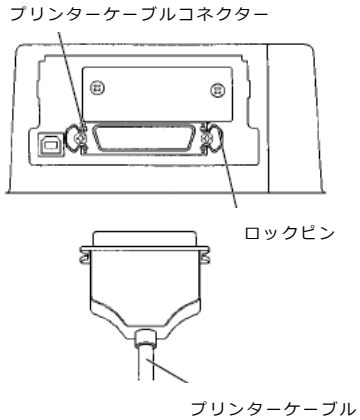
⚠ 警告	感　電	プリンターケーブルを抜き差しするときは、必ずパソコンと本プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行なってください。 感電の原因となります。

⚠ 注意	感　電	プリンターケーブルの接続は間違いがないようにしてください。 誤った接続状態で使用すると、プリンター本体およびパソコン本体が故障する原因となることがあります。

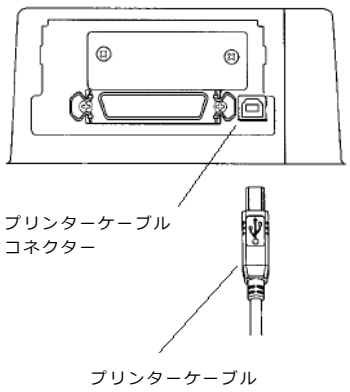
パソコンとの接続は、次の手順で行います。

1 プリンターとパソコンの電源を切る
電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

2 プリンターケーブルをプリンターに接続する
プリンターケーブルの一方を、プリンター右側面のプリンターケーブル接続コネクターに差し込みます。
パラレルインターフェイスの場合は、左右のロックピンで固定します。
〈パラレルインターフェイスおよび USB インターフェイスの場合〉



◆パラレルインターフェイス



◆USB インターフェイス

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

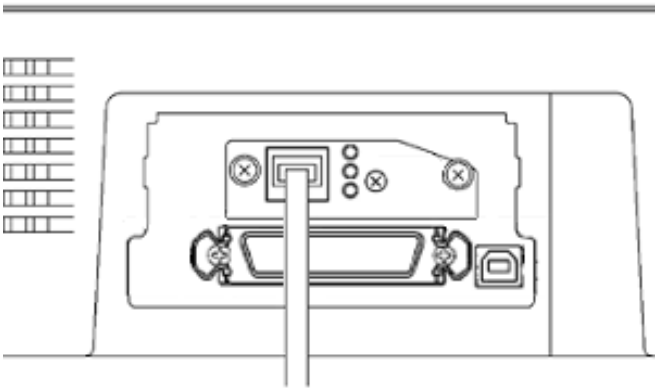
⚠ 注意

・USB インターフェイスは全ての USB 対応機器との接続を保証するものではありません。
・パソコンとプリンターの接続に使用する USB ケーブルは、5m 以下のシールドケーブルをお使いください。
・印字中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。
・USB ハブを使用する場合は、パソコンと直接接続された USB ハブに接続してください。
・本プリンターと接続した USB ケーブルのもう一方は、パソコン本体の USB コネクター、またはセルフパワータイプの USB ハブ（電源コードセットや AC アダプターにより電源が供給されるタイプのハブ）のコネクターに接続してください。上記以外の USB コネクターに接続すると、正常に動作しない場合があります。
・USB 変換ケーブルで接続した場合、プリンターを認識しなかったり、正しい印字が行えない場合があります。

<ガイド>

・ USB2.0 に準拠した USB ケーブルを用意してください。
・ USB ケーブルは本製品には添付されていません。
お使いのパソコンに合わせて、別途購入してください。

〈LAN インターフェイスの場合〉



◆ LAN インターフェイス

<ガイド>

・ オプションの LAN カード（PR-LN4S）を取り付けることにより、100BASE-TX/10BASE-T のネットワーク環境でのプリンター共有が可能になります。LAN カードの取り付け方法については、LAN カード(PR-LN4S)ソフトウェアガイドを参照してください。
・ LAN カード搭載時は USB インターフェイスとの同時接続はできません。
USB ケーブルが接続されていると、LAN インターフェイスは無効となります。

3 プリンターケーブルのもう一方をパソコンに接続する
接続の方法は、お使いになるパソコンの取扱説明書をご覧ください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

1.5.7 電源コードセットの接続

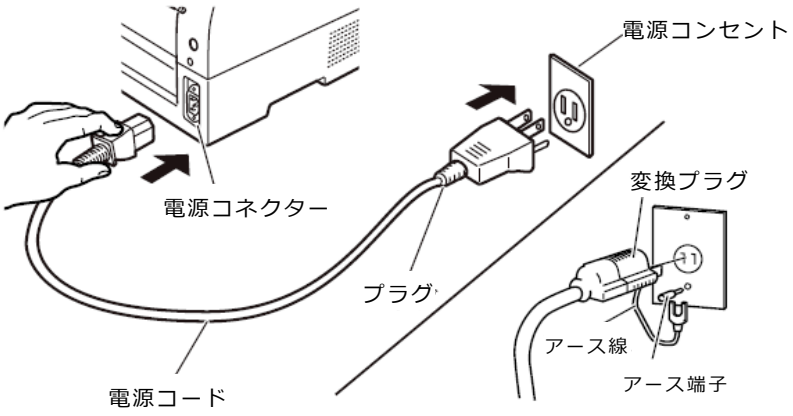
⚠ 警告	感　電　接地付き電源コードセットと接地接続のあるコンセントを使用してください。 添付の電源コードセット以外は使用しないでください。 変換プラグを使用する場合、プラグから出ている緑/黄色のしま模様のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。 ・電源コンセントのアース線 ・銅片などを 650mm 以上地中に埋めたもの ・接地工事（D 種（第 3 種））を行なっている接地端子 必ずアース接続を行ってください。 アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。 アース接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。 また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。 電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください。

電源コードセットの接続は、次の手順で行います。

1 プリンターとパソコンの電源を切る
電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

2 プリンターに電源コードセットを差し込む
プリンター背面の電源コネクターに電源コードセットを接続します。

3 電源プラグをコンセントに差し込む
できるだけ 3 ピンの電源プラグを使用してください。
もし 3 ピンのコンセントがない場合は、添付の変換プラグを使用し、変換プラグのアース端子を接続してから変換プラグを差し込んでください。



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

1.6　電源の投入と切断

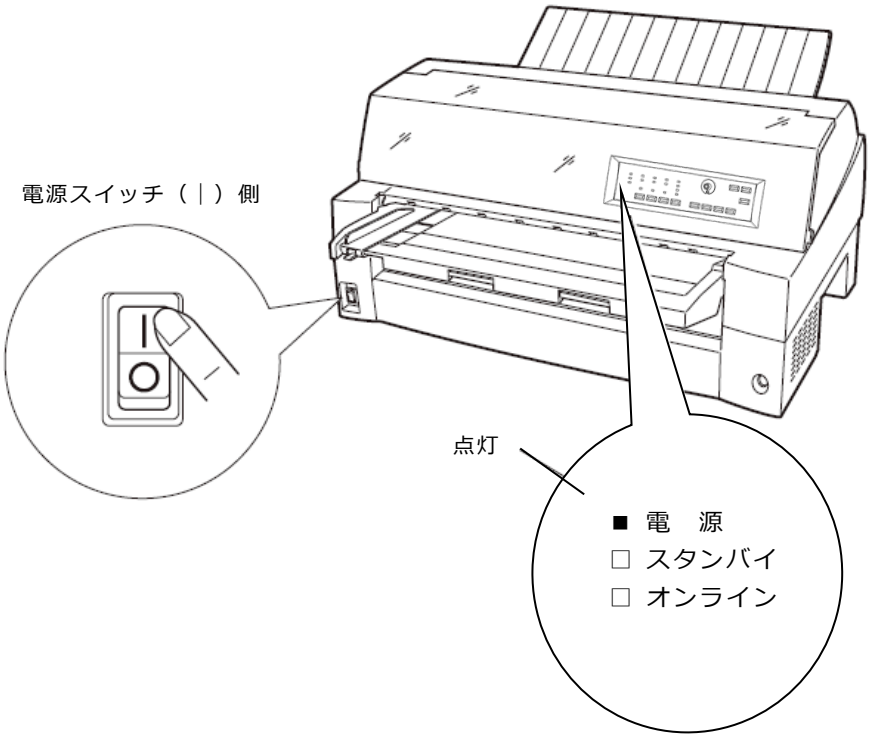
プリンターの電源の入れかたと切りかたについて説明します。

1.6.1　電源を入れる

＜お願い＞

・ 購入後初めてプリンターに電源を入れるときは、次の点を確認してください。
  - 輸送用固定材（印字ヘッド部保護用固定材）が取り外してあること
  - 電源コンセントの電源電圧が 100V、周波数が 50 または 60Hz であること

トップカバーが閉じていることを確認して、プリンターの前面にある電源スイッチを（｜）側に倒します。
「電源」ランプが点灯します。



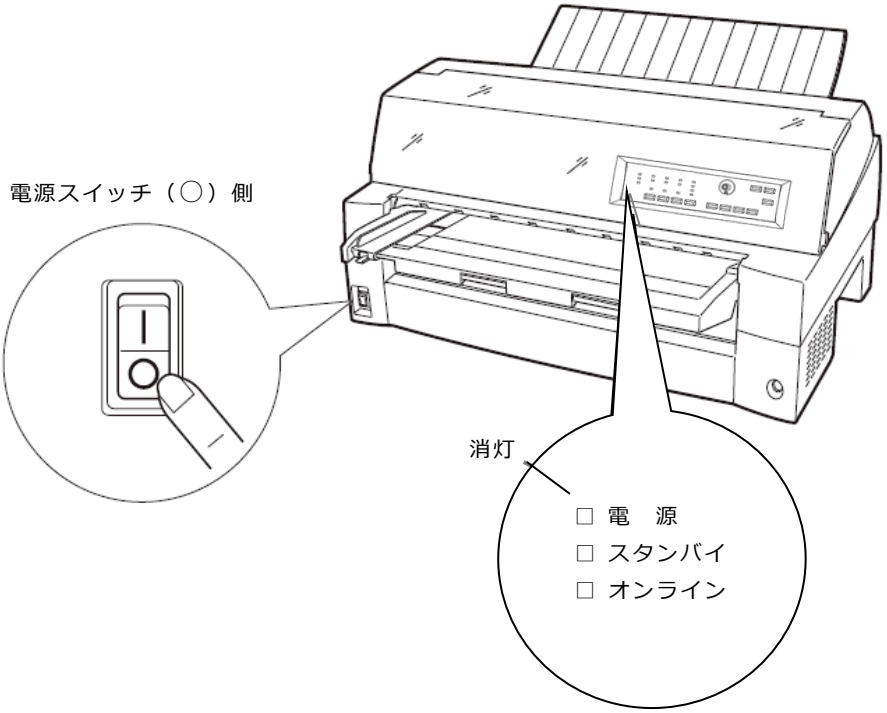
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

1.6.2　電源を切る

＜お願い＞

- 電源の切断は、必ず電源スイッチで行ってください。
  電源プラグを抜いて電源を切ると、プリンター内の回路を傷めたりする場合があります。
- 印字ヘッドが動いているときは、電源を切らないでください。
- 電源を切った後、再び電源を入れる場合は、5 秒以上待ってください。間隔を開けずに電源を入れると、故障の原因になります。
- スタンバイモード中に電源を切ったときは、20 秒以上待ってから電源を入れてください。

「電源」ランプが点灯しているときは、電源スイッチを（○）側に倒します。
「電源」ランプが消灯します。



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

1.7　リボンカセットを取り付ける

リボンカセットの取り付けは、次の手順で行います。

1 プリンターをリボンが交換できる状態にする
印字ヘッドの輸送用固定材が取り外されていることを確認した後、トップカバーを閉じた状態で電源を投入します。印字ヘッドが移動し、リボン交換位置に停止することを確認します。

<ガイド>

・ トップカバーが開いていると印字ヘッドは動作しません。
トップカバーを閉めて電源を投入してください。

2 プリンターの電源を切る
電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

3 トップカバーを開ける

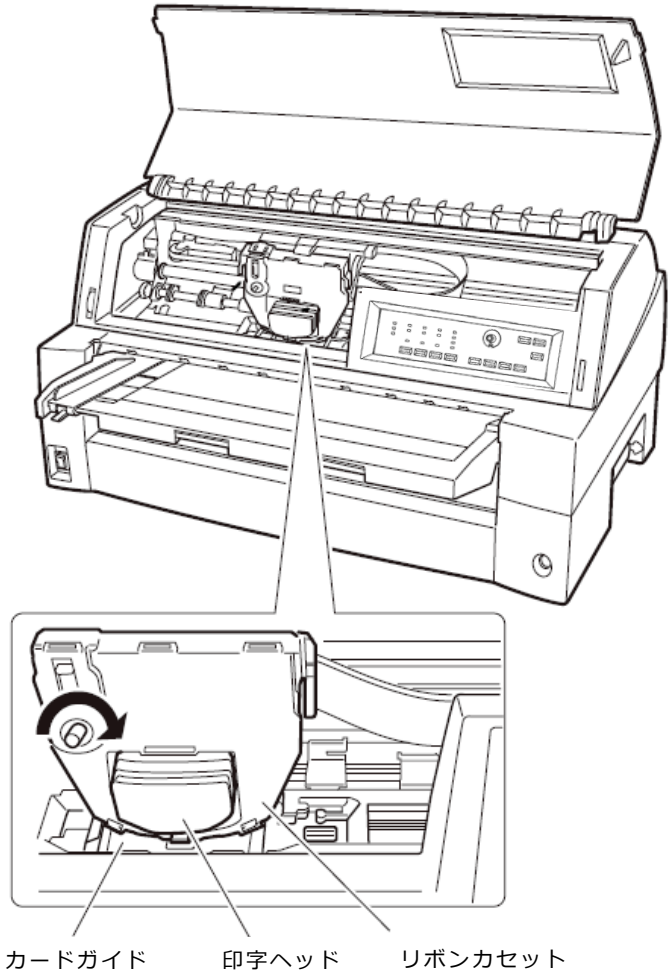
4 印字ヘッドがリボン交換位置（プリンター本体に刻印があります）にあることを確認する
印字ヘッドがリボン交換位置にない場合は、印字ヘッド部分を持ち、ゆっくり横方向へ移動させてください。

⚠ 注意	高　温　　使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。

5 リボンカセットを取り付ける
印字ヘッドとカードガイドの間にリボンを通し、リボンカセットをゆっくり押し込みます。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

6 リボンのたるみを取る
リボン巻取りノブを時計方向に回して、リボンのたるみを取ります。



7 トップカバーを閉める

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

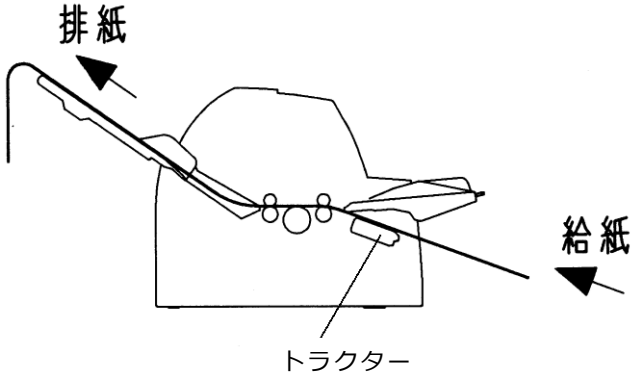
1.8　トラクターユニットの位置を決める

<ガイド>

・本プリンターは前後共通の着脱式トラクターを使用しているため、設置条件、業務形態に応じてトラクター給紙の前後の位置を選択して使用できます。
工場出荷時は前側（フロント側）に搭載されていますが、必要に応じて後ろに付け替えてご使用ください。
なお、オプションのトラクターユニットを追加すれば、前後にトラクターユニットを取り付けて使用することができます。

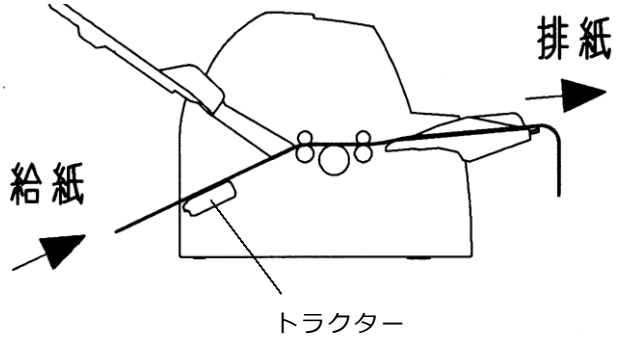
◆ トラクターを前（フロント側）に搭載したときの特長

手前側より連続用紙を交換することができ、頻繁に用紙を交換する業務に適しています。



◆ トラクターを後（リア側）に搭載したときの特長

手前側で用紙のカットが行いやすく、頻繁に用紙をカットするような業務に適しています。
用紙のカット方法は「2.10 連続帳票用紙をカット位置に送る」を参照してください。



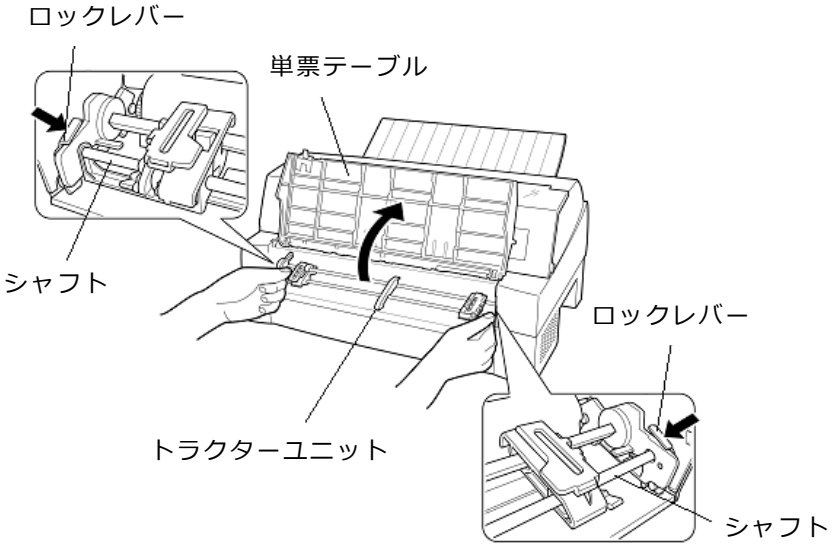
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

1.8.1 トラクターユニットの着脱について

◆ 前側のトラクターユニットの場合

【取り外しかた】

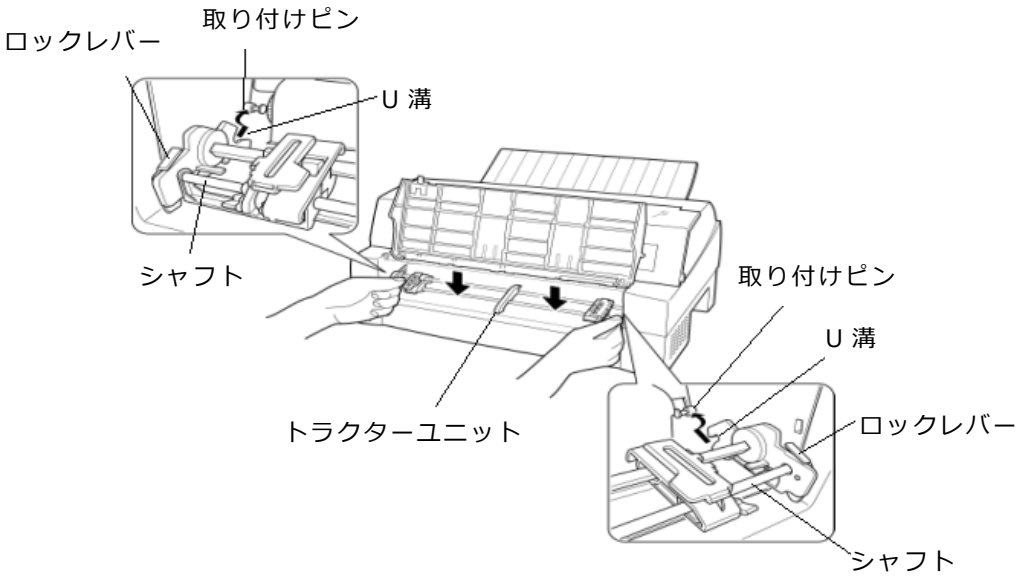
単票テーブルを開きます。トラクターユニットの左右にあるトラクターフレーム部のロックレバーを押しながら、トラクターユニットを上方に持ち上げて外します。



【取り付けかた】

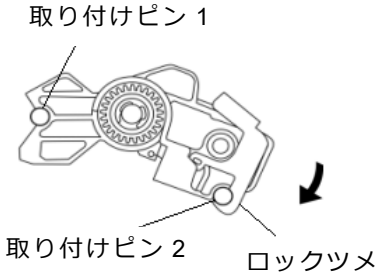
1） トラクターユニット左右の U 溝をプリンターの取り付けピンに合わせます。
（左側の取り付けピンの溝に合わせて取り付けます。右側の取り付けピンには、溝はありません。）

2） トラクターユニット手前側のシャフトをカチッと音がするまで押し下げてロックさせます。
（押し下げるとき、ロックレバーを押さないでください。）



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

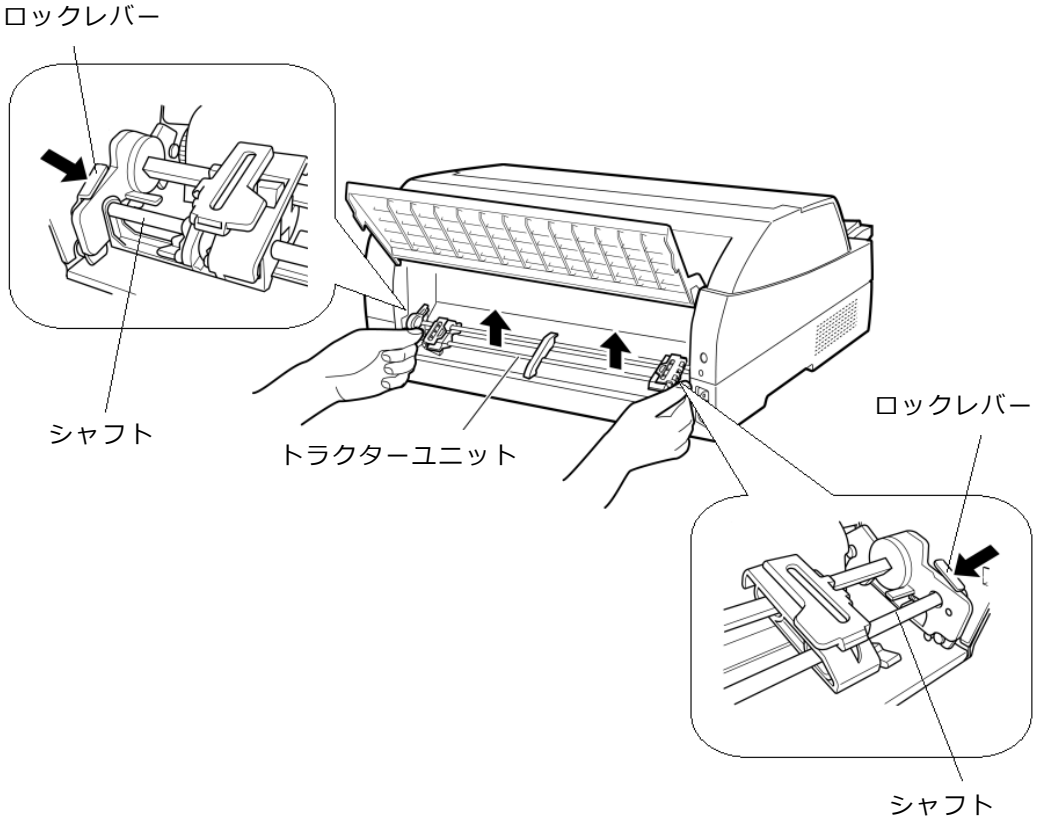
3） 下図のように取り付けピン 2 にトラクターユニットの左右のロックツメがしっかりかかっていることを確認してください。



◆ 後側のトラクターユニットの場合

【取り外しかた】

トラクターユニットの左右にあるトラクターフレーム部のロックレバーを押しながら、トラクターユニットを上方に持ち上げて外します。

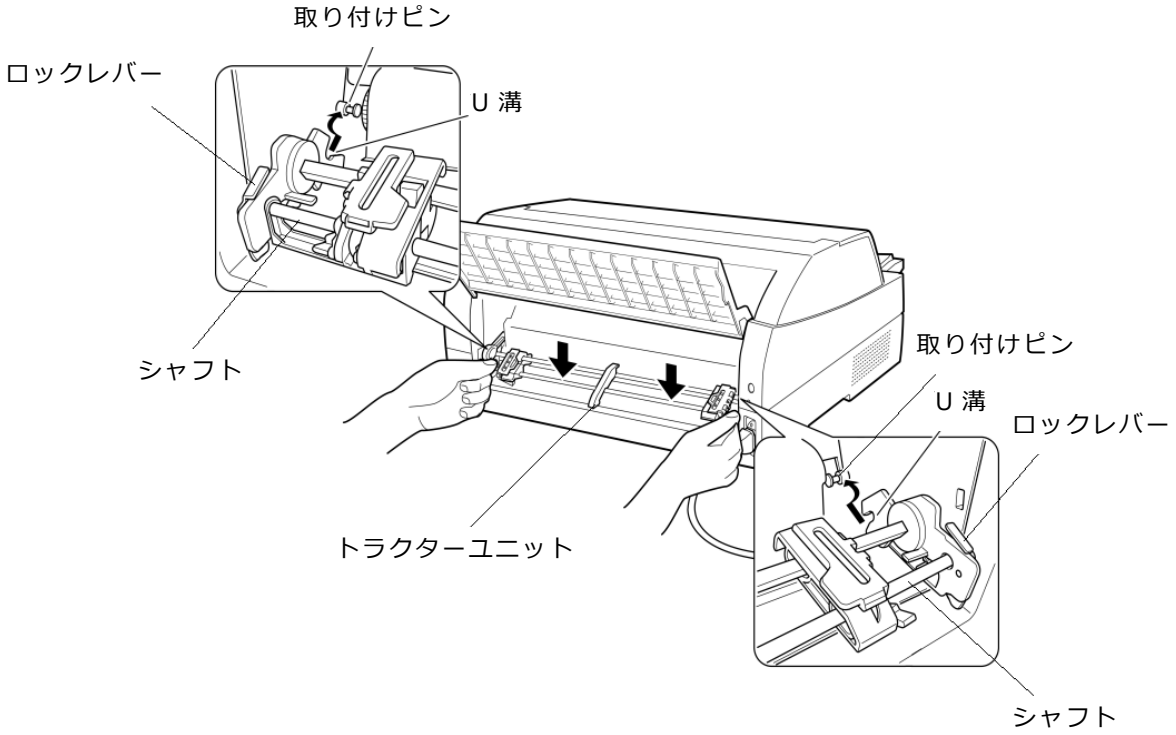


(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

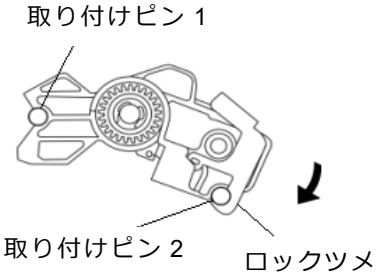
【取り付けかた】

1） トラクターユニット左右の U 溝をプリンターの取り付けピンに合わせます。
（左側の取り付けピンの溝に合わせて取り付けます。右側の取り付けピンには、溝はありません。）

2） トラクターユニット手前側のシャフトをカチッと音がするまで押し下げてロックさせます。
（押し下げるとき、ロックレバーを押さないでください。）



3） 下図のように取り付けピン 2 にトラクターユニットの左右のロックツメがしっかりかかっていることを確認してください。



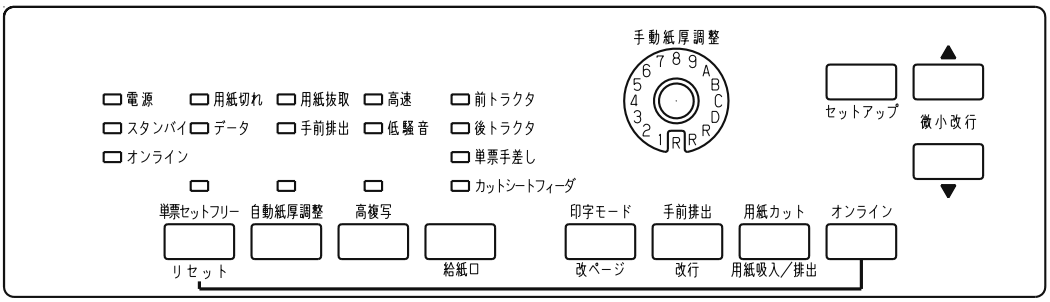
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2 プリンターの機能とその使いかた

この章では、操作パネルの機能、機能設定の変えかた、行間ズレの修正のしかた、用紙吸入量の調整のしかた、および自動検出機能などプリンターの機能とその使いかたについて説明します。

2.1 操作パネルの機能

操作パネルには、プリンターの状態を示すランプとプリンターを操作するためのスイッチ、およびダイヤルが付いています。



<ガイド>

・ 各スイッチの真上のランプは、各スイッチと連動した機能になります。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.1.1 ランプ

各ランプの機能は下表のとおりです。

ランプ名称	色	機能
電源	緑	電源スイッチを入れる(｜)側に倒す)と点灯します。 スタンバイ状態になると消灯します。
スタンバイ	橙	スタンバイ状態で点灯します。 この時、他のランプは全て消灯状態となります。
オンライン (注 1)	緑	オンライン状態で点灯します。
用紙切れ	橙	印紙がなくなると点灯します。 アラーム発生時に点滅します。
データ	緑	プリンター内に印字するデータがあるかどうかを知らせます。 点 灯: データが残っている 点 滅: データをパソコンから受信中 消 灯: データがない 点灯または点滅中に電源を切断すると、そのデータは失われます。
単票セットフリー	緑	単票セットフリー機能が有効のときに点灯します。
用紙抜取 (注 2)	緑	手前に排出した用紙が抜き取り待ち状態のときに点滅します。
手前排出	緑	単票の排出方向が「手前排出」のときに点灯します。
自動紙厚調整	緑	自動紙厚調整の場合に点灯します。
高速	緑	高速印字モード（間引き印字）のときに点灯します。
低騒音	緑	低騒音印字モード（間引き印字）のときに点灯します。
高複写	緑	高複写印字モードのときに点灯します。
前トラクター	緑	前トラクターからの用紙を使用する場合に点灯します。
後トラクター	緑	後トラクターからの用紙を使用する場合に点灯します。
単票手差し	緑	単票手差しからの用紙を使用する場合に点灯します。
カットシート フィーダ	緑	カットシートフィーダーまたは単票手差しからの用紙を使用する場合に点灯します。

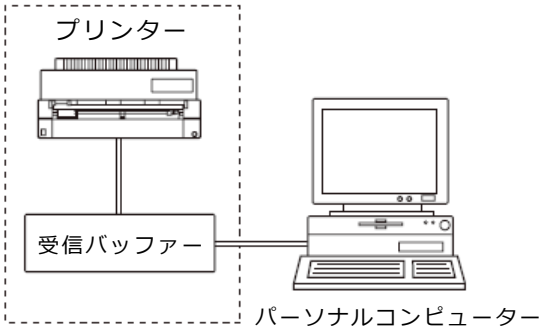
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

注 1）電源投入時およびパソコンからのリセットによる初期診断時に印字ヘッドの交換時期を検知すると、5 秒間「オンライン」ランプが点滅します。（プリンター編『5　保守と点検』参照）

注 2）単票用紙の抜き取り待ち状態とは、下記の不具合を防止するために単票テーブルに排出した用紙が除去されるまで動作を停止し、用紙抜取ランプを点滅させ、オペレーターに排出された用紙の除去を促します。
・単票テーブルに排出した用紙が誤って再吸入される。
・単票テーブルに連続排出された用紙が単票テーブルから落下する。

◆ オンライン状態、オフライン状態とは

プリンターにはオンライン状態とオフライン状態があります。
オンライン状態とはパソコンからのデータを受信し、印字することができる状態です。
オフライン状態とはパソコンからのデータの受信と印字を停止している状態です。



オンライン状態からオフライン状態にして印字を停止した場合に、受信バッファーにデータが残っていることがあります。
再度オンライン状態にすると、印字を続行します。

2.1.2　スイッチ

用紙カット/用紙吸入/排出、手前排出/改行、印字モード/改ページのように、スイッチの上下に名称が書かれている場合、そのスイッチの機能はオンライン状態のときは上側、オフライン状態のときは下側になります。
各スイッチを使用した機能については、次ページ以降を参照してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.2　操作パネルを操作する

印字をするときに用紙の給紙口を切り替えたり、強制的に改ページを行ったりするために操作パネルを操作します。

<ガイド>

・プリンターのトップカバーが開いていると、スイッチは操作できません。ただし、〔微小改行▲〕、〔微小改行▼〕スイッチは操作できます。
印字ヘッドが動いているときに、トップカバーを開けた場合は、〔微小改行▲〕、〔微小改行▼〕スイッチも操作できません。

2.2.1　オンライン状態とオフライン状態を切り替える

プリンターの状態には、オンライン状態とオフライン状態があります。オンライン状態とオフライン状態は、操作パネルの〔オンライン〕スイッチによって切り替えます。

◆ オンライン状態

パソコンからデータを受信して印字動作ができる状態をいいます。通常、電源を投入するとオンライン状態になり「オンライン」ランプが点灯します。「オンライン」ランプが消灯しているとき(オフライン状態)に〔オンライン〕スイッチを押すと、オンライン状態になります。

◆ オフライン状態

パソコンからデータを受信できない状態をいいます。オンライン状態のときに〔オンライン〕スイッチを押すと、オフライン状態になります。
用紙下端検出によりオフライン状態になったとき、本スイッチを押すと、下端余白部に強制的に 1 行印字（オーバーライド機能）します。

2.2.2　印字開始位置を微調整する

〔微小改行▼〕スイッチ、〔微小改行▲〕スイッチを 1 回押すと、▼ ▲の方向に、1/180 インチずつ微小改行を行います。
スイッチの上に表示されている▼ ▲の方向に、正改行、または逆改行の動作となります。
本スイッチを押し続けると、連続微小改行動作となります。
詳細は「3 用紙のセット」「3.3 印字開始位置について」を参照してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.3　オンライン状態で行う操作

2.3.1　用紙をカットする

前/後トラクター給紙時に〔用紙カット｜用紙吸入/排出〕スイッチを押すと、あらかじめセットしたプリンターの用紙がカット位置にくるように用紙送りを行います。
再度押すと、元の位置（ページ先頭位置）に戻ります。
単票モードの場合は、本スイッチは無効になります。

2.3.2　単票用紙の排出方向を切り替える(手前排出)

単票用紙の排出方向の切り替えを行います。
単票用紙の排出方向には、手前（テーブル側）と後方（スタッカー側）の 2 つがあります。
排出方向は、単票手差し、前カットシートフィーダー、後カットシートフィーダーとも用紙繰り出し方向です。
Windows から印字する場合、プリンタードライバーのプロパティ設定が優先します。プロパティが「自動排出」設定の場合は、プリンター側の排出方向設定が有効となります。

◆ **「手前排出」ランプ消灯時**

〔手前排出｜改行〕スイッチを押すと、「手前排出」ランプが点灯し、単票用紙の排出方向は手前排出となります。

◆ **「手前排出」ランプ点灯時**

〔手前排出｜改行〕スイッチを押すと、「手前排出」ランプが消灯し、単票用紙の排出方向は後方排出となります。

2.3.3　印字モードを切り替える

〔印字モード｜改ページ〕スイッチを押すごとに、

『標準印字モード』→『高速印字モード』→『低騒音印字モード』

の順に切り替わります。

標準印字モード	：180dpi の解像度で印字します。
高速印字モード (高速ランプ点灯)	：間引き印字することにより、標準の 2 倍の速度で印字します。
低騒音印字モード (低騒音ランプ点灯)	：高速印字モード（間引き印字）のパターンを標準印字速度で印字し、稼働音を低減します。

Windows から印字する場合、プリンタードライバーのプロパティ設定が優先されます。プロパティが「プリンタ設定優先」の場合は、プリンター側の印字モード設定が有効となります。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.3.4　高複写モードに切り替える

〔高複写｜給紙口〕スイッチを押すごとに

→　『標準』→『高複写』

の順に切り替わります。

高複写モードのときは、「高複写」ランプが点灯します。

高複写　　：印字速度を若干落とし、印字圧を上げます。

(高複写ランプ点灯)

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.4　オフライン状態で行う操作

2.4.1　用紙の吸入や排出を行う

◆ 前トラクター／後トラクターセット時

（給紙口で「前トラクタ」または「後トラクタ」選択した時)

用紙無し状態の場合、〔用紙カット｜用紙吸入/排出〕スイッチを押すと、前トラクター、または後トラクターにセットしてある連帳用紙を印字開始位置まで吸入します。
用紙有り状態の場合、〔用紙カット｜用紙吸入／排出〕スイッチを押すと、前トラクター、または後トラクターにセットしてある連帳用紙を待機位置まで後退します。

◆ 単票用紙セット（手差しモード）時

（給紙口で「単票手差し」を選択した時）

機能設定で『オートローディング』を「無効」に設定している場合、単票テーブルに単票用紙をセットした状態で〔用紙カット｜用紙吸入/排出〕スイッチを押すと、単票用紙を印字開始位置まで吸入します。
用紙有り状態で〔用紙カット｜用紙吸入/排出〕スイッチを押すと、単票用紙の排出を行います。
排出方向は、「手前排出」ランプの表示状態に従い手前または後方です。

◆ 単票用紙セット（カットシートフィーダー搭載）時

（給紙口で「カットシートフィーダ」を選択した時）

前カットシートフィーダーまたは後カットシートフィーダーにセットした用紙が未吸入状態で〔用紙カット｜用紙吸入/排出〕スイッチを押すと、単票用紙を印字開始位置まで吸入します。
用紙吸入状態で本スイッチを押すと、単票用紙を排出します。
排出方向は、「手前排出」ランプの表示状態に従い手前または後方です。
カットシートフィーダーが前後に搭載されている場合、前カットシートフィーダーおよび後カットシートフィーダーのどちらをビン 1、ビン 2 に割り当てるかは、【その他の設定】の『CSF ビン 1 選択』に従います。

<ガイド>

・ 用紙後退中に途中で止まることがありますが、故障ではありません。しばらくすると動きだします。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.4.2　改行する

〔手前排出｜改行〕スイッチを 1 回押すと、正改行(用紙繰り出し方向)動作を行います。
正改行の方向は、プリンター前面から吸入する用紙(前トラクター、単票、前カットシートフィーダー)と、プリンター背面から吸入する用紙(後トラクター、後カットシートフィーダー)では、用紙繰り出し方向が異なります。
押し続けると、連続正改行動作となります。
(〔手前排出｜改行〕スイッチによる正改行の送り量は、1/6 インチ固定です。)

2.4.3　改ページを行う

〔印字モード｜改ページ〕スイッチを押します。

◆ **前トラクター／後トラクターセット時**
（給紙口で「前トラクタ」または「後トラクタ」選択した時)

用紙を次のページの先頭行に送ります。このときのページの長さは、【EP 設定】で『連帳ページ長』により設定されます。(初期設定 66 行)。
印字実行後はプリンタードライバー、アプリケーションから設定した値になりますが、その後に電源の切断、〔単票セットフリー｜リセット〕スイッチによるリセット、リセットコマンド送出によるリセットを実行した場合は、【EP 設定】の『連帳ページ長』で設定したページ長になります。

◆ **単票用紙セット（手差しモード）時**
（給紙口で「単票手差し」を選択した時）

用紙を排出します。(機能設定で『単票の FF コード』を「ページ送り」にした場合はページ長分用紙を送ります)

◆ **単票用紙セット（カットシートフィーダー搭載）時**
（給紙口で「カットシートフィーダ」を選択した時）

前カットシートフィーダーまたは後カットシートフィーダーにセットした用紙が未吸入状態で本スイッチを押すと、単票用紙を印字開始位置まで吸入します。用紙吸入状態で本スイッチを押すと、この単票用紙を排出後、前カットシートフィーダーまたは後カットシートフィーダーにセットした次の単票用紙を印字開始位置まで吸入します。
カットシートフィーダーが前後に搭載されている場合、前カットシートフィーダーおよび後カットシートフィーダーのどちらをビン 1、ビン 2 に割り当てるかは、【その他の設定】の『CSF ビン 1 選択』に従います。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.4.4　給紙口を切り替える

使用する給紙口を選択します。
〔給紙口〕スイッチを 1 回押すごとに、給紙口が、

→『前トラクタ』→『後トラクタ』→『単票手差し』
『カットシートフィーダ』←

の順に切り替わります。
選択された給紙口に対応するランプが点灯します。
「カットシートフィーダ」ランプは、カットシートフィーダーが搭載されているときのみ選択可能です。
Windows から印字する場合、プリンタードライバーのプロパティ設定が優先します。ただし、手差し口に用紙がセットされている状態で、プロパティ設定とプリンター設定の給紙口が一致した場合は、手差し口から給紙します。

2.4.5　紙厚調整モードを切り替える

〔自動紙厚調整〕スイッチを 2 秒間押すと、自動紙厚調整モードと手動紙厚調整モードとを切り替えます。
(自動紙厚調整のときは、自動紙厚調整ランプが点灯します。)

◆ 自動紙厚調整時
用紙厚を自動で調整します。
「自動紙厚調整」のときは、プリンタードライバーのプロパティでの用紙厚設定が優先されますので、プリンタードライバーのプロパティで用紙厚を正しく設定する必要があります。

◆ 手動紙厚調整時
「手動紙厚調整」の紙厚をダイヤルで設定します。
「手動紙厚調整ダイヤルの位置の詳細は、プリンター編 『3 用紙のセット』「３.2 用紙厚を調整する」を参照してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.5　単票手差しの方法を切り替える

単票手差しの方法を切り替えます。
〔単票セットフリー｜リセット〕スイッチを押すごとに単票セットフリーのオン／オフが切り替わります。

◆ 単票セットフリーオフ時（単票セットフリーランプ消灯）

用紙ガイドに用紙左端を沿わせてセットします。
印字開始位置は、用紙ガイド（左）を移動させて余白を調整してください。
単票セットフリー　オフの場合のみ機能設定の『オートローディング』の時間設定が有効となります。

◆ 単票セットフリーオン時（単票セットフリーランプ点灯）

用紙を単票テーブルの用紙吸入口に軽く押し込むだけで用紙がセットされます。
「単票セットフリー」ランプが点灯します。
印字開始位置は機能設定【余白量設定】の『手差しセットフリー余白量』で設定した値になります。『オートローディング』が「無効」の場合は、〔用紙カット｜用紙吸入/排出〕スイッチを押さないと用紙を吸入しません。

2.6　プリンターをリセットする

プリンターのリセット方法を説明します。
リセットすると未印字データは消去されます。

<ガイド>

・プリンター内に未印字データがあるときは、「データ」ランプが点灯しています。このときプリンターを初期化すると、未印字データは消去されます。

1　〔オンライン〕スイッチを押してオフライン状態にする

2　〔オンライン〕スイッチを押しながら、〔単票セットフリー｜リセット〕スイッチを押す
ブザーが鳴り、未印字データが消去されます。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.7　機能設定を変える

ここでは、機能設定の変えかたと動作モードごとに設定できる機能の内容ついて説明します。

2.7.1　基本的な操作

機能設定は、「オフラインセットアップモード」で行います。
オフラインセットアップモードによる設定手順は次のとおりです。

1 プリンターに単票用紙をセットする

2 オフラインセットアップモードへ入る

(1) 〔セットアップ〕スイッチを押しながら電源を入れます。
一度すべてのランプが点灯してからスイッチを離してください。

(2) オフライン状態（オンラインランプ消灯状態）で〔セットアップ〕
スイッチをブザーが鳴るまで押し続けます。

```
セットアップ開始
設　定　　終　了　　設定一覧　　初期化
```

メニューの内容は次のとおりです。

メニュー名	内　容
設定	プリンターの機能設定を変更します。
終了	プリンターの機能設定を終了します。
設定一覧	現在の設定内容をすべて印字します。
初期化	現在の設定内容を初期設定に戻します。

3 オフラインセットアップモードを実行する

操作パネルによる操作により、選択項目に印字ヘッドを移動させ、オフラインセットアップを行います。オフラインセットアップモードによる機能設定の操作は以下のスイッチで行います。

項	操作内容	使用するスイッチ
1	印字ヘッドを移動し、メニューを選択する。	〔印字モード｜改ページ〕
2	印字ヘッド位置の機能を確定し、次の設定項目に進む。	〔微小改行▼〕
3	印字ヘッド位置の機能を確定し、一つ前の設定項目に戻る。	〔微小改行▲〕
4	用紙無し状態時の用紙吸入を行う。	〔用紙カット｜用紙吸入/排出〕
5	機能設定開始状態（トップメニュー）、または大項目メニューに戻る。	〔オンライン〕

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.7.2　オフラインセットアップモードでの設定変更例(設定一覧を印字する場合)

印字結果の例

```
セットアップ開始

設　定　　終　了　　設定一覧　　初期化　　……（１）

ｆｉｔ７４５０Ｐｒｏ　　ＲＯＭ版数：０１Ａ

装置機能設定                          補正機能
  印字モード              ＝標準          手差し改行補正量          ＝０ｍｍ
  紙厚調整                ＝自動          前ＣＳＦ改行補正量        ＝０ｍｍ
      ・                    ・              ・                ・
      ・                    ・              ・                ・    ……（２）
      ・                    ・              ・                ・
ＳＬＣＴＩＮ            ＝有効
ＤＣ１／ＤＣ３          ＝無効
ＳＬＣＴ              ＝ＨＩＧＨ固定
ＴＯＦ位置ＦＦコード     ＝有効

設　定　　終　了　　設定一覧　　初期化　　……（３）

セットアップ終了
```

1 A4 タテ以上の用紙をセットして、〔セットアップ〕スイッチを押しながら電源を投入してオフラインセットアップモードに入り、トップメニューを印字します。
……（１）

2 〔印字モード｜改ページ〕スイッチを２回押し、印字ヘッドを「設定一覧」の位置に移動させ、〔微小改行▼〕スイッチを押すと設定一覧を印字します。

3 途中用紙がなくなり、用紙が排出されたら、新しい用紙をセットします。
……（２）

4 設定一覧の印字が終了したら〔オンライン〕スイッチを押すとトップメニューが印字されます。……（３）

5 〔印字モード｜改ページ〕スイッチを１回押し、印字ヘッドを「終了」の位置に移動させ〔微小改行▼〕スイッチを押すと、オフラインセットアップモードを終了します。
注) カットシートフィーダーを取り付けているときは、用紙設定状態に関わらずオフラインセットアップモードに入れません。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.7.3 『紙厚調整』を「自動」から「手動」に変更する例

印字結果の例

```
セットアップ開始

設　定　　終　了　　設定一覧　　初期化　　……（１）

装置機能設定　余白量設定　　ＥＰ設定　　補正機能　　その他の設定　……（２）

印字モード
標準　　高速　　低騒音　　……（３）
標準　　高速　　低騒音

紙厚調整
自動　　手動　　……（４）
自動　　手動

印字圧モード
標準　　高複写　　……（５）

装置機能設定　余白量設定　　ＥＰ設定　　補正機能　　その他の設定　……（６）

設　定　　終　了　　設定一覧　　初期化　　……（７）

セットアップ終了
```

1 A4 タテ以上の用紙をセットして、〔セットアップ〕スイッチを押しながら電源を投入してオフラインセットアップモードに入り、トップメニューを印字します。……（１）

2 印字ヘッドが「設定」の位置に移動していることを確認し、〔微小改行▼〕スイッチを押すと、各設定項目の大項目メニューを印字します。……（２）

3 印字ヘッドが【装置機能設定】の位置に移動していることを確認し、〔微小改行▼〕スイッチを押すと最初の設定項目を印字します（「標準」が選択されており、その位置に印字ヘッドが移動していることを確認してください）。……（３）

4 印字された設定項目を変更する必要が無い場合は〔微小改行▼〕スイッチを押すと、次の設定項目を印字します(「自動」が選択されており、その位置に印字ヘッドが移動していることを確認してください)。……（４）

5 ここで、〔印字モード｜改ページ〕スイッチを１回押し、印字ヘッドを「手動」の位置に移動させ、〔微小改行▼〕スイッチを押すと、選択した項目が決定され、次の項目を印字します。……（５）

6 変更する作業が終了した後、〔オンライン〕スイッチを押すと、各設定項目の大項目メニューを印字します。……（６）

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

7 もう一度〔オンライン〕スイッチを押すと、トップメニューを印字します。
……（７）

8 〔印字モード｜改ページ〕スイッチを１回押し、印字ヘッドを「終了」の位置に移動させ、〔微小改行▼〕スイッチを押すと、オフラインセットアップモードを終了します。
注）　機能設定を変更中に電源が切れた場合には、設定した内容は保証されません。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.7.4 『連帳ページ長』を「66 行」から「75 行」に変更する例

(設定値が 9 個以上ある項目を変更する場合)

印字結果の例

```
セットアップ開始

設　定        終　了        設定一覧        初期化      ……................（１）

装置機能設定  余白量設定    ＥＰ設定        補正機能    その他の設定  ……（２）

連帳ページ長
６５行    ６６行    ６７行    ６８行    ６９行    ７０行    ７１行    ７２行    次の設定値    ……（３）
７３行    ７４行    ７５行    ７６行    ７７行    ７８行    ７９行    ８０行    次の設定値    ……（４）
７３行    ７４行    ７５行    ７６行    ７７行    ７８行    ７９行    ８０行    次の設定値

連帳ミシン目スキップ
０インチ          １インチ                  ……................（５）

装置機能設定  余白量設定    ＥＰ設定        補正機能    その他の設定  ……（６）

設　定        終　了        設定一覧        初期化      ……................（７）

セットアップ終了
```

1 A4 タテ以上の用紙をセットして、〔セットアップ〕スイッチを押しながら電源を投入してオフラインセットアップモードに入り、トップメニューを印字します。……（１）

2 印字ヘッドが「設定」の位置に移動していることを確認し、〔微小改行▼〕スイッチを押すと、各設定項目の大項目メニューを印字します。……（２）

3 印字ヘッドが【ＥＰ設定】の位置に移動していることを確認し、〔微小改行▼〕スイッチを押すと最初の設定項目を印字します（「66 行」が選択されており、その位置に印字ヘッドが移動していることを確認してください)。……（３）

4 ここで、〔印字モード｜改ページ〕スイッチを 7 回押し、印字ヘッドを「次の設定値」の位置に移動させ、〔微小改行▼〕スイッチを押すと、次の設定値が印字され、印字ヘッドは「次の設定値」の位置に停止します。(〔微小改行▼〕スイッチを押した場合は前の設定値が印字されます)。……（４）

5 ここで、〔印字モード｜改ページ〕スイッチを 3 回押し、印字ヘッドを「75 行」の位置に移動させ、〔微小改行▼〕スイッチを押すと、選択した項目が決定され、次の項目を印字します。……（５）

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

6 変更する作業が終了した後、〔オンライン〕スイッチを押すと、各設定項目の大項目メニューを印字します。……（６）

7 もう一度〔オンライン〕スイッチを押すと、トップメニューを印字します。……（７）

8 〔印字モード｜改ページ〕スイッチを１回押し、印字ヘッドを「終了」の位置に移動させ、〔微小改行▼〕スイッチを押すと、オフラインセットアップモードを終了します。

2.7.5 設定を工場出荷値に戻す

〔オンライン〕スイッチと〔用紙カット｜用紙吸入/排出〕スイッチを押しながら、電源を投入します。一度、すべてのランプが点灯し、印字可能状態になったら完了です。すべての設定が工場出荷値に戻ります。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.7.6 機能設定の種類

機能設定で設定できる項目の一覧を次の表に示します。
表中の初期設定とは、ご購入時にすでに設定してある値をいいます。
＊印のついている設定項目が初期設定です。

◆機能設定の項目
機能名の「CSF」とは、カットシートフィーダーの略称です。

設定項目名	機能名	設定内容	機能
装置機能設定	印字モード	標準 ＊	印字モードを設定します。
		高速	
		低騒音	
	紙厚調整	自動 ＊	電源投入時の紙厚調整方法を選択します。電源投入後は操作パネルより変更可能です。 ・「自動」の場合、自動またはプリンタードライバーのプロパティ設定に従います。 ・「自動」以外の場合、プリンタードライバーのプロパティ設定を無視し、指定した設定に従います。
		手動	

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

設定項目名	機能名	設定内容	機能
装置機能設定	印字圧モード (注 1)	標準印字圧 ＊	電源投入時の印字圧モードを設定します。
		高印字圧	
	オートローディング (注 2)	無効	単票用紙に印字するときに、自動的に給紙するかどうかを設定します。自動的に給紙する場合は、単票用紙がセットされてから用紙の吸入が開始されるまでの時間を選択します。単票用紙セットの操作性に合わせ設定を変更してください。
		1.0 秒	
		1.5 秒 ＊	
		2.0 秒	
	手差しセットフリー	有効 ＊	電源投入時の手差し単票用紙の単票セットフリー機能の有効/無効を設定します。
		無効	
	前 CSF セットフリー	有効	前カットシートフィーダー用紙のセットフリー機能の有効/無効を設定します。
		無効 ＊	
	後 CSF セットフリー	有効	後カットシートフィーダー用紙のセットフリー機能の有効/無効を設定します。
		無効 ＊	
	前トラクタセットフリー	有効	前トラクター用紙のセットフリー機能の有効/無効を設定します。
		無効 ＊	
	後トラクタセットフリー	有効	後トラクター用紙のセットフリー機能の有効/無効を設定します。
		無効 ＊	
	手差し排出方向	手前排出 ＊	電源投入時の手差しモード時の単票用紙の排出方向を設定します。操作パネルにより変更できます。また、プリンタードライバーで設定することができます。
		後方排出	
	前 CSF 排出方向	手前排出	電源投入時に前カットシートフィーダーを搭載している場合の単票用紙の排出方向を設定します。また、プリンタードライバーで設定することができます。
		後方排出 ＊	
	後 CSF 排出方向	手前排出	電源投入時に後カットシートフィーダーを搭載している場合の単票用紙の排出方向を設定します。また、プリンタードライバーで設定することができます。
		後方排出 ＊	

注1)　高印字圧に設定すると、印字速度が低下し、所定の印字を行う為により多くの電力が必要になります。また、印字ヘッドの寿命も短くなります。
高印字圧は、感圧発色が薄いときだけ設定し、普段は標準印字圧で使用してください。

注2)　『手差しセットフリー』が「有効」に設定されている場合、本設定での時間は無効です。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

設定項目名	機能名	設定内容	機能
装置機能設定	手差し用紙無し検出	検出する ＊ 検出しない	カットシートフィーダー未搭載時の、手差しモードの単票用紙無しを検出する/しないを設定します。カットシートフィーダー搭載時は、単票手差し口から吸入した用紙に対しても、本設定は無効となります。
	用紙無し検知時の状態	オンライン ＊ オフライン	用紙無し検出時のプリンターの状態をオンラインにするかオフラインにするかを設定します。
	漢字書体	明朝体 ＊ ゴシック体	電源投入時の全角漢字および半角漢字の書体を、明朝体またはゴシック体に設定します。
	手差し自動排出	排出する ＊ 排出しない	『手差し用紙無し検出』が「検出する」に設定されているとき、単票用紙無しを検出したときに用紙を自動的に排出するかしないかを設定します。
	ブザー	オン ＊ オフ	ブザー鳴動のオン(鳴動する)/オフ(鳴動しない)を設定します。「オフ」を選択すると、一切鳴らなくなります。
	印字方向	両方向 ＊ 片方向	電源投入時の印字方向を、「両方向」または「片方向」に設定します。両方向に設定されているときは、プリンタードライバーからの設定が優先されますで、プリンタードライバーのプロパティ設定を行う必要があります。片方向に設定されているときは、プリンタードライバーの設定にかかわらず片方向印字となります。
	受信バッファ	有り ＊ 無し（パラレル）	受信バッファー(32KB)の有無を設定します。「無し（パラレル）」に設定した場合、使用出来るインターフェイスはパラレルインターフェイス固定となります。
	給紙口指定	ドライバ優先 ＊ プリンタ優先	給紙口をプリンタードライバーの指定を優先するか、プリンター側の設定を優先するかを設定します。
	印字モード指定	ドライバ優先 ＊ プリンタ優先	印字モード及び印字圧モードをプリンタードライバーの指定を優先するか、プリンター側の設定を優先するかを設定します。
	ページ長指定	ドライバ優先 ＊ プリンタ優先	ページ長をプリンタードライバーの指定を優先するか、プリンター側の設定を優先するかを設定します。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

設定項目名	機能名	設定内容	機能
装置機能設定	TOF センサスライスレベル (注 3)	60%	用紙の有無を検出する TOF センサーのスライスレベルを設定します。プレプリント用紙など、反射率によって用紙の有無が正常に検知できない場合に設定します。
		70%	
		80%	
		90%	
		100% ＊	
		110%	
		120%	
	スタンバイモード	1 分 ＊ ：(1 分単位) 60 分	スタンバイモードへの移行時間を設定します。
	カラー指定 (注 4)	有効 ＊	カラー指定コマンドによる赤黒リボン切り替えを有効にするか無効にするかを設定します。
		無効	

注3)　使用する用紙と設定値によっては、用紙の有無を正常に検出できなくなる場合があります。

注4)　本項目は赤黒リボン対応装置でのみ設定することができます。
また、赤黒リボン対応装置では、下記の注意事項、制限事項があります。

・カラー指定［有効］時、カラー選択コマンドを受信すると、カラー印字動作を行います。カラー印字を行うときは、カラーリボンを搭載してください。

・モノクロリボン搭載時は、カラー指定を［無効］にしてください。
モノクロリボンを搭載していても、カラー印字の動作を行うため、処理速度が低下します。また、リボンカセット保持部の摩耗も発生します。

・「CR (0D hex)」等の印字起動コマンドは、同一行、同一色に対し、１回のみ送信することを推奨します。同一行で印字起動を複数回実行すると、処理速度が低下するとともに、印字汚れが発生する場合があります。

・カラー印字を行うときは、重ね印字を行わないでください。インクリボンが汚れ、印字品位が低下する場合があります。

・カットシートフィーダー給紙時は、上下端 25.4mm 以内で印字色を変更しないでください。用紙が破れたり、詰まる場合があります。

・カラー印字を行うときは、紙ホチキス止めの用紙を使用しないでください。用紙が破れたり、印字汚れが発生する場合があります。

・複写紙でカラー印字されるのは、最上層の用紙のみです。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

設定項目名	機能名	設定内容	機能
余白量設定	上端余白指定	ドライバ優先 ＊	「ドライバ優先」にすると、本セットアップモードで設定されている上端余白量にかかわらず、プリンタードライバーで指定した上端余白量となります(前/後トラクターユニットにおける用紙吸入直後の印字は4.2mm となります)。 「プリンタ優先」にすると、本セットアップモードで設定されている上端余白量になります。
		プリンタ優先	
	手差し上端余白量 (注 1)	4.2mm	手差し口から用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
		8.5mm ＊	
		22.0mm	
		その他	
	手差し上端余白量 (その他) (注 2) (注 3)	-10.0mm : 8.5mm ＊ : 30.0mm	『手差し上端余白量』で「その他」を選択した時の上端余白量を設定します。(本項目は「その他」を選択している時のみ設定可能です)
	前 CSF 上端余白量 (注 1)	4.2mm	前カットシートフィーダーから用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
		8.5mm ＊	
		22.0mm	
		その他	
	前 CSF 上端余白量 (その他) (注 2) (注 3)	-10.0mm : 8.5mm ＊ : 30.0mm	『前 CSF 上端余白量』で「その他」を選択した時の上端余白量を設定します。(本項目は「その他」を選択している時のみ設定可能です)
	後 CSF 上端余白量 (注 1)	4.2mm	後カットシートフィーダーから用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
		8.5mm ＊	
		22.0mm	
		その他	
	後 CSF 上端余白量 (その他) (注 2) (注 3)	-10.0mm : 8.5mm ＊ : 30.0mm	『後 CSF 上端余白量』で「その他」を選択した時の上端余白量を設定します。(本項目は「その他」を選択している時のみ設定可能です)

注1)　『上端余白指定』の設定が「ドライバ優先」のときは、プリンタードライバーで設定した上端余白量となります。
注2)　4.2mm 未満は、印字領域外となりますので、印字はしないでください。
注3)　「その他」は、0.5mm 単位で設定できます。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

設定項目名	機能名	設定内容	機能
余白量設定	前トラクタ上端余白量 (注 1)	4.2mm	前トラクター用紙吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
		8.5mm ＊	
		22.0mm	
		その他	
	前トラクタ上端余白量 （その他） (注 2) (注 3)	-10.0mm ： 8.5mm ＊ ： 30.0mm	『前トラクタ上端余白量』で「その他」を選択した時の上端余白量を設定します。（本項目は「その他」を選択している時のみ設定可能です）
	後トラクタ上端余白量 (注 1)	4.2mm	後トラクター用紙吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
		8.5mm ＊	
		22.0mm	
		その他	
	後トラクタ上端余白量 （その他） (注 2) (注 3)	-10.0mm ： 8.5mm ＊ ： 30.0mm	『後トラクタ上端余白量』で「その他」を選択した時の上端余白量を設定します。（本項目は「その他」を選択している時のみ設定可能です）
	前トラクタ下端余白	4.2mm ＊	前トラクター用紙の下端余白量を用紙下端から印字可能最終行の文字の下端までの量で設定します。
		101mm	
	後トラクタ下端余白	4.2mm ＊	後トラクター用紙の下端余白量を用紙下端から印字可能最終行の文字の下端までの量で設定します。
		157mm	
	手差しセットフリー余白量 (注 4) (注 5)	0.0mm ： 5.1mm ＊ ： 45.2mm	単票（手差し）セットフリーオン時の左端余白量(用紙の左端から第一印字開始文字の第一ドット目までの量)を設定します。
	前 CSF セットフリー余白量 (注 4) (注 5)	0.0mm ： 5.1mm ＊ ： 45.2mm	前カットシートフィーダーセットフリーオン時の左端余白量(用紙の左端から第一印字開始文字の第一ドット目までの量)を設定します。
	後 CSF セットフリー余白量 (注 4) (注 5)	0.0mm ： 5.1mm ＊ ： 45.2mm	後カットシートフィーダーセットフリーオン時の左端余白量(用紙の左端から第一印字開始文字の第一ドット目までの量)を設定します。

注1)　『上端余白指定』の設定が「ドライバ優先」のときは、プリンタードライバーで設定した上端余白量となります。
注2)　4.2mm 未満は、印字領域外となりますので、印字はしないでください。
注3)　「その他」は、0.5mm 単位で設定できます。
注4)　5.0mm 未満は印字領域外となりますので、印字はしないでください。
注5)　約 0.3mm(1/90 ｲﾝﾁ)単位で設定できます。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

設定項目名	機能名	設定内容	機能
余白量設定	前トラクタセットフリー余白量 (注 5) (注 7)	0.0mm : 11.3mm ＊ : 45.2mm	前トラクターセットフリーオン時の左端余白量(用紙の左端から第一印字開始文字の第一ドット目までの量)を設定します。
	後トラクタセットフリー余白量 (注 5) (注 7)	0.0mm : 11.3mm ＊ : 45.2mm	後トラクターセットフリーオン時の左端余白量(用紙の左端から第一印字開始文字の第一ドット目までの量)を設定します。
	セットフリー無効時の左端位置 (注 6)	標準 ＊ 左寄せ	セットフリー機能無効時の印字開始位置を設定します。 この設定は、すべての用紙に有効になります。 「標準」の場合、第一ドット目印字開始位置が目盛りの位置となり、「左寄せ」の場合、12.7mm 左になります。

注5)　約 0.3mm(1/90 ｲﾝﾁ)単位で設定できます。
注6)　本項目は赤黒リボン対応装置では無効となります。
注7)　11.43 未満は印字領域外となりますので、印字はしないでください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

設定項目名	機能名	設定内容	機能
EP 設定	連帳ページ長	1 行 ： 66 行 ＊ (1 行単位) ： 132 行	連帳用紙のページ長を設定します。前トラクターおよび後トラクター用紙の両方に有効な値です。1 行は 1/6 インチ固定です。Windows から印字した場合は、プリンタードライバーからの指定値に変更されます。
	連帳ミシン目スキップ	0 インチ ＊	連帳用紙のミシン目の手前でスキップする量を設定します。前トラクターおよび後トラクター用紙の両方に有効な値です。Windows でユーザー定義サイズを指定して印字した場合、本機能は動作しません。
		1 インチ	
	オートティアオフ	有効	連帳用紙のオートティアオフの有効/無効を設定します。 オートティアオフとは、印字が終わる(または印字データを印字し終わる)ごとに自動的に用紙カット位置まで用紙を送る機能です。
		無効 ＊	
	行間	6LPI ＊	行間(改行ピッチ)の大きさを設定します。
		8LPI	
	ANK 文字間	10CPI ＊	ANK 文字の文字ピッチの大きさを設定します。
		12CPI	
	ANK 文字品位	LQ ＊	ANK 文字の文字品位を設定します。
		DRAFT	
	ANK 縮小文字	標準印字 ＊	ANK 文字の大きさを設定します。
		縮小印字	
	ANK コード表	拡張グラフィックス	ANK コード表を設定します。
		カタカナ ＊	
	ANK 書体	クーリエ ＊	ANK 文字の書体を設定します。
		サンセリフ	
		プレステージ	
		OCR-A	
		OCR-B	
	ゼロフォント	スラッシュ無し ＊	ANK コードの 0(ゼロ)の字体を「0」とするか「Ø」とするかを設定します。 クーリエフォントに対してのみ有効となります。
		スラッシュ有り	
	国際文字	日本 ＊	国際文字の出力種類を設定します。
		アメリカ	

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

設定項目名	機能名	設定内容	機能
EP 設定	CR コード	CR ＊	CR コードの機能を印字指令とするか、印字改行指令とするかを設定します。
		CR + LF	
		AFXT （注 1）	
	SLCTIN	有効 ＊	SLCTIN 信号の有効/無効を設定します。
		無効	
	DC1/DC3	有効	DC1/DC3 コマンドの有効/無効を設定します。
		無効 ＊	
	SLCT	HIGH 固定 ＊	SLCT 信号を HIGH 固定とするか、プリンターの状態により可変とするかを設定します。
		可変	
	TOF 位置 FF コード	有効 ＊	TOF 位置で受信した FF コードの有効/無効を設定します。
		無効	

注1)　ハード信号の制御に従います。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

設定項目名	機能名	設定内容	機能
補正機能	手差し改行補正量	-1.0mm	手差し単票用紙に対する累積改行補正量を設定します。 (約 254mm 改行したときの改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、＋方向の補正を行います。)
		-0.6mm	
		-0.3mm	
		0mm ＊	
		+0.3mm	
		+0.6mm	
		+1.0mm	
	前 CSF 改行補正量	-1.0mm	前カットシートフィーダー用紙に対する累積改行補正量を設定します。 (約 254mm 改行したときの改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、＋方向の補正を行います。)
		-0.6mm	
		-0.3mm	
		0mm ＊	
		+0.3mm	
		+0.6mm	
		+1.0mm	
	後 CSF 改行補正量	-1.0mm	後カットシートフィーダー用紙に対する累積改行補正量を設定します。 (約 254mm 改行したときの改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、＋方向の補正を行います。)
		-0.6mm	
		-0.3mm	
		0mm ＊	
		+0.3mm	
		+0.6mm	
		+1.0mm	
	前トラクタ改行補正量	-1.0mm	前トラクター用紙に対する累積改行補正量を設定します。 (1 ページ目に対する、その後のページの印字位置ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、＋方向の補正を行います。)
		-0.6mm	
		-0.3mm	
		0mm ＊	
		+0.3mm	
		+0.6mm	
		+1.0mm	
	後トラクタ改行補正量	-1.0mm	後トラクター用紙に対する累積改行補正量を設定します。 (1 ページ目に対する、その後のページの印字位置ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、＋方向の補正を行います。)
		-0.6mm	
		-0.3mm	
		0mm ＊	
		+0.3mm	
		+0.6mm	
		+1.0mm	
	前トラクタ改行補正量（最終頁）	-1.0mm	前トラクター用紙の最終頁に対する累積改行補正量を設定します。 (最終ページの下端から約 100mm 間の改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、＋方向の補正を行います。)
		-0.6mm	
		-0.3mm	
		0mm ＊	
		+0.3mm	
		+0.6mm	
		+1.0mm	

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

設定項目名	機能名	設定内容	機能
補正機能	後トラクタ改行補正量（最終頁）	-1.0mm	後トラクター用紙の最終頁に対する累積改行補正量を設定します。(最終ページの下端から約 155mm 間の改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、＋方向の補正を行います。)
		-0.6mm	
		-0.3mm	
		0mm ＊	
		+0.3mm	
		+0.6mm	
		+1.0mm	
	手差し上端余白量調整	-1.0mm ： 0mm ＊ (0.1mm 単位) ： +1.0mm	手差し口から用紙を吸入した後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で微調整します。
	前 CSF 上端余白量調整	-1.0mm ： 0mm ＊(0.1mm 単位) ： +1.0mm	前カットシートフィーダーから用紙を吸入した後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で微調整します。
	後 CSF 上端余白量調整	-1.0mm ： 0mm ＊ (0.1mm 単位) ： +1.0mm	後カットシートフィーダーから用紙を吸入した後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で微調整します。
	前トラクタ上端余白量調整	-1.0mm ： 0mm ＊ (0.1mm 単位) ： +1.0mm	前トラクターから用紙を吸入した後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で微調整します。
	後トラクタ上端余白量調整	-1.0mm ： 0mm ＊ (0.1mm 単位) ： +1.0mm	後トラクターから用紙を吸入した後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で微調整します。
	単票下端余白量調整	-10.0mm ： 0mm ＊(0.5mm 単位) ： +10.0mm	単票用紙（手差し，カットシートフィーダー）の下端余白量を、用紙下端から印字可能最終行の文字の下端までの量で微調整します。
	前トラクタ下端余白量調整 (注 1)	-10.0mm ： 0mm ＊ (0.5mm 単位) ： +10.0mm	前トラクター用紙の下端余白量を、用紙下端から印字可能最終行の文字の下端までの量で微調整します。
	後トラクタ下端余白量調整(注 2)	-10.0mm ： 0mm ＊ (0.5mm 単位) ： +10.0mm	後トラクター用紙の下端余白量を、用紙下端から印字可能最終行の文字の下端までの量で微調整します。

注1)　本設定は『前トラクタ下端余白量調整』が 4.2mm に設定されている時に有効となります。
注2)　本設定は『後トラクタ下端余白量調整』が 4.2mm に設定されている時に有効となります。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

設定項目名	機能名	設定内容	機能
その他の設定	前用紙吸入時のキャリア位置	ポジション 1 ＊	単票手挿入、前トラクター、前カットシートフィーダーから用紙を吸入するときの印字ヘッドキャリアの位置を設定します。 ・ポジション 1：約 31 桁目 ・ポジション 2：約 42 桁目 帳票用紙を事前に印刷したプレプリント用紙を使用する場合、用紙上端が正しく検出できない場合があります。その場合は、ポジションを変更してください。「単票セットフリー機能」が「有効」に設定されている場合、単票手差し口からの用紙に対しては、本設定は無効です。
		ポジション 2	
	後用紙吸入時のキャリア位置	ポジション 1 ＊	後トラクター、後カットシートフィーダーから用紙を吸入するときの印字ヘッドキャリアの位置を設定します。 ・ポジション 1：約 31 桁目 ・ポジション 2：約 42 桁目 帳票用紙を事前に印刷したプレプリント用紙を使用する場合、用紙上端が正しく検出できない場合があります。その場合は、ポジションを変更してください。
		ポジション 2	
	用紙吸入時の斜行検出	有効 ＊	単票用紙を吸入するときに斜行を検出するかしないかを設定します。
		無効	
	セットフリー斜行しきい値 (注 1)	0.5mm	単票（手差し）セットフリーオンで手差し単票用紙を吸入するときに、斜行吸入と判断する値を設定します。
		1.0mm	
		1.5mm	
		2.0mm ＊	
		2.5mm	
	手差し斜行しきい値 (注 1)	0.5mm	単票（手差し）セットフリーオフで手差し単票用紙を吸入するときに、斜行吸入と判断する値を設定します。
		1.0mm	
		1.5mm	
		2.0mm ＊	
		2.5mm	

注1)　【その他の設定】の『用紙吸入時の斜行検出』が「有効」に設定されている場合のみ本設定値が有効となります。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

設定項目名	機能名	設定内容	機能
その他の設定	単票自動オンライン	有効 ＊	単票用紙吸入後、自動的にオンラインとするかしないかを設定します。
		無効	
	トラクタ自動オンライン	有効 ＊	連帳用紙吸入後、自動的にオンラインとするかしないかを設定します。
		無効	
	単票モード時の FF コード	ページ長送り	単票用紙セット時(手差しモード時)の FF コードおよび〔印字モード｜改ページ〕スイッチの処理方法を設定します。
		排出 ＊	
	用紙外印字防止 (注 1)	有効 ＊	用紙の左右端を検出し、印字領域を超えるデータの処理方法を設定します。
		無効	
	用紙幅検出方式	1 回検出 ＊	用紙吸入時の用紙幅検出方式を設定します。 プレプリントにより用紙幅を誤検出してしまう場合には 2 回検出を設定してください。
		2 回検出	
	前トラクタ印字カット量 L (注 2) (注 3)	10.0mm ： 14.0mm ＊ (1.0mm 単位) ： 34.0mm	前トラクターの左端面印字カット量(余白量)を設定します。
	前トラクタ印字カット量 R (注 2) (注 3)	10.0mm	前トラクターの右端面印字カット量(余白量)を設定します。
		11.0mm	
		12.0mm	
		13.0mm	
		14.0mm ＊	
	後トラクタ印字カット量 L (注 2) (注 3)	10.0mm ： 14.0mm ＊ (1.0mm 単位) ： 34.0mm	後トラクターの左端面印字カット量(余白量)を設定します。
	後トラクタ印字カット量 R (注 2) (注 3)	10.0mm	後トラクターの右端面印字カット量(余白量)を設定します。
		11.0mm	
		12.0mm	
		13.0mm	
		14.0mm ＊	

注1)　カットシートフィーダー使用時は、『用紙外印字防止』が「有効」の場合でも、114 桁を越える媒体（約 A4 横以上の単票）では、右側の用紙外印字防止が作動しませんので、注意してください。

注2)　【その他の設定】の『用紙外印字防止』が「有効」に設定されている場合のみ本設定値が有効となります。

注3)　連続帳票への左右の印字余白が 16mm 未満となる場合は『前トラクタ印字カット量 L』、『前トラクタ印字カット量 R』、『後トラクタ印字カット量 L』、『後トラクタ印字カット量 R』、を適切な値に設定してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

設定項目名	機能名	設定内容	機能
その他の設定	単票印字カット量	2.8mm ＊ 15.0mm	単票用紙（手差し，カットシートフィーダー）の左端面印字カット量(余白量)を設定します。
	CSF ビン 1 ｾﾝﾀｸ	前 CSF ＊ 後 CSF	前/後カットシートフィーダーを同時搭載した場合に、どのカットシートフィーダーをビン 1 として使用するかを設定します。選択されなかったカットシートフィーダーがビン 2 となります。 本項目は、前/後カットシートフィーダーを同時搭載した場合のみ有効となる設定です。
	CSF 給紙制御	標準 ＊ スイッチバック	カットシートフィーダーからの吸入方式を設定します。 「標準」は、カットシートフィーダーホッパーから用紙を直接吸入する方式です。「スイッチバック」に比べ、カットシートフィーダー処理時間が短縮されます。「スイッチバック」は、カットシートフィーダーホッパーの用紙を一旦途中まで排出させた後に、もう一度吸入する方式です。「標準」に比べ、改行精度が向上します。
	トラクタ 給紙制御 (注 4)	精度優先 速度優先 ＊	連帳用紙の吸入方式を設定します。 「精度優先」は、用紙吸入時に用紙厚さ検出動作を行い、吸入された用紙の厚さに最適な用紙送り制御をします。「速度優先」に比べ改行精度が向上します。 「速度優先」は、用紙厚さ検出をしないで直接印字開始位置まで用紙を吸入します。「精度優先」に比べ用紙吸入時間が短縮されますが、「精度優先」と比べ改行精度が悪くなります。

注4)　手動紙厚調整モードの場合は、設定に関わらず「速度優先」による吸入制御になります。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

設定項目名	機能名	設定内容	機能
その他の設定	逆改行抑制	有効 ＊ 無効	逆改行抑制制御を行うかどうかを設定します。
	用紙カット引き戻し制御	精度優先 速度優先 ＊	連帳用紙使用時、用紙カット位置から印字開始位置に用紙を引き戻す際の動作方法を設定します。 「精度優先」は印字開始位置に用紙を引き戻すときに、用紙の再吸入を行います。「速度優先」に比べ、改行精度が向上します。 「速度優先」は、印字開始位置に用紙を戻すときに、用紙の再吸入を行いません。「精度優先」に比べ用紙の引き戻し動作にかかる時間が短縮されますが、改行精度が若干劣ります。
	連帳改行時リボン保護制御 (注 5)	有効 無効 ＊	連帳改行時に印字ヘッドが用紙送り穴位置に停止した場合、用紙送り穴位置を避けて改行し、リボンを保護するかしないかを設定します。
	CSF 紙厚検出	毎回 通常 ＊	『紙厚調整』が「オート」に設定されているとき、カットシートフィーダー給紙の印字時に、用紙厚さ検出を毎ページ行うかどうかを設定します。
	ヘッド交換表示	有効 ＊ 無効	印字ヘッドの交換表示をするかしないかを設定します。「有効」に設定の場合、印字ヘッドの交換時期が近づくと 電源投入時に「オンライン」ランプの点滅で通知します。設定一覧を印字すると、詳細内容をパーセントで表示します。 消耗状態によって警告表示は以下のようになります。 90%以上：「ヘッド交換準備」 100%以上：「ヘッド交換」
	オーバーライド	有効 ＊ 無効	オーバーライド機能を有効とするか無効とするかを設定します。

注5)　【その他の設定】の『用紙外印字防止』が「有効」に設定されている場合のみ、本設定が有効となります。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

設定項目名	機能名	設定内容	機能
その他の設定	エラー監視機能	有効 ＊	ステータスモニターでのプリンターエラー監視機能を有効とするか無効とするかを設定します。 注) 他社製 LAN アダプターなどを装着し、ネットワーク環境で使用する場合は、本設定を「無効」に設定してください。
		無効	
	電源投入時の用紙位置	現在位置 ＊	電源投入時の用紙位置を設定します。「カット位置」選択時は用紙カット送り出し位置にあるものとして、引き戻し動作を行います。
		カット位置	
	上端ヘッド保護制御	有効 ＊	上端余白量がマイナス値に設定されている時の動作を設定します。 「有効」の場合、上端余白量 0mm の位置に達するまでは印字／改行動作を行いません。（データは破棄されます）
		無効	

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.8　行間ズレを直す

縦罫線などを正逆両方向で印字したときに生じる行間の横方向の印字位置の不揃いを直します。
標準印字圧と高複写モードの 2 つの印字圧についてそれぞれ標準印字モード、高速印字モード、ドラフト印字モードの行間ズレを直すことができます。ドラフト印字モードとは 60dpi の解像度の内蔵フォントを使用して標準の 3 倍の速度で印字するモードです。行間ズレは、次の手順で直します。行間ズレを直すときは、必ず用紙をセットしておいてください。

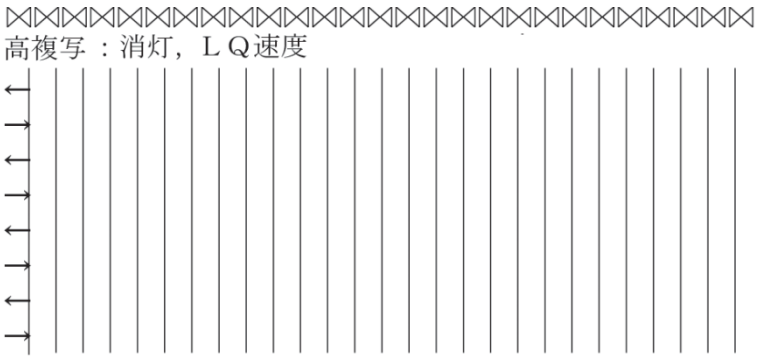
注）本モード中、全てのセットフリー機能（手差し/CSF/トラクター）は無効となります。

1 前側より 15 インチ幅以上の連続用紙または A4 タテ以上の単票用紙をセットする

2 〔高複写〕スイッチと〔自動紙厚調整〕スイッチと〔単票セットフリー｜リセット〕スイッチを押しながら電源を入れる

3 〔手動紙厚調整ダイヤルを『４』にセットし、〔オンライン〕スイッチを押す

標準印字圧の標準印字モードで調整用パターンを印字します。
矢印（←と→）は、印字ヘッドの移動方向を示します。



4 調整用パターンの印字が始まったら調整を行う
印字ヘッドの移動方向と同じ方向に印字結果を移動させるとき
〔微小改行▲〕 スイッチを押します。
1 回の押下で 1/900 インチ矢印と同じ方向に印字結果が移動します。
印字ヘッドの移動と逆の方向に印字結果を移動させるとき
〔微小改行▼〕 スイッチを押します。
1 回の押下で 1/900 インチ矢印と逆の方向に印字結果が移動します。
注 1) 続けて調整を行う場合には、一度スイッチを離してから再度スイッチを押下してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

5 印字モードを切り替えて、高速印字モード、ドラフト印字モードで手順 6 の調整を行う

印字モードの切り替えかた

調整パターン印字中に〔印字モード｜改ページ〕スイッチを押します。

〔印字モード｜改ページ〕スイッチを押すたびに、以下の順に印字速度が切り替わります。

→ 高速印字モード → ドラフト印字モード → 標準印字モード

注 1) 高速印字モードのときは「高速」ランプが点灯し、ドラフト印字モードのときは、「高速」ランプと「オンライン」ランプが点灯します。

6 〔高複写〕スイッチを押して高複写モードにする

7 高複写モードでの標準印字モード、高速印字モード、ドラフト印字モードそれぞれで手順 ***4*** の調整を行う

印字ずれ調整モードでの調整パターンは、以下のように印字されます。

・印字圧モード（標準印字圧／高複写印字圧）、印字速度（標準／高速／ドラフト）の状態が、調整パターン（｜）の前に印字されます。

基本印字速度	印字圧モード	タイトル印字	
		高複写	速度
標準印字	標準印字圧	消灯	ＬＱ速度
高速印字			ＣＱ速度
ドラフト印字			ＤＱ速度
標準印字	高印字圧	点灯	ＬＱ速度
高速印字			ＣＱ速度
ドラフト印字			ＤＱ速度

8 調整が終わったら〔オンライン〕スイッチを押す

調整した内容がプリンターに記憶され、調整パターンの印字が終了し、保守メニューモードに戻ります。

注 1) 〔オンライン〕スイッチを押さないと、調整した内容がプリンターに登録されず電源を切ると元の状態に戻ります。
調整は、標準印字モード、高速印字モード、およびドラフト印字モードの順で行ってください。

9 手動紙厚調整ダイヤルを『Ｒ』にセットし、〔オンライン〕スイッチを押す

保守メニューモードを終了し、オンライン状態になります。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.9　用紙吸入量を調整する

用紙の自動吸入（オートロード）時の用紙吸入位置を、行方向に微調整します。工場出荷時に用紙の吸入量（印字開始位置）は、初期設定値に調整されていますが、ずれている場合はこの機能で調整してください。連続帳票用紙、単票用紙それぞれの吸入量を調整できます。
用紙の吸入量は、次の手順で調整します。

1 〔セットアップ〕スイッチを押しながら電源を入れ、オフラインセットアップモードに入る

2 『設定』⇒『補正機能』に進み、調整したい用紙の『上端余白量調整』項目を選択する
選択項目は、下記の通りです。
・手差し上端余白量調整
・前 CSF 上端余白量調整
・後 CSF 上端余白量調整
・前トラクタ上端余白量調整
・後トラクタ上端余白量調整

3 調整値を選択する
・プラスの調整値を選択すると、上端余白が大きくなります。
・プラスの調整値を選択すると、上端余白が大きくなります。
・用紙位置の調整は、手差し単票、前カットシートフィーダー、後カットシートフィーダー、前トラクター、および後トラクターを各々独立して設定することができます。

4 調整値の設定が終わったらトップメニューに戻り『終了』を選択し、オフラインセットアップモードを終了する
調整した内容がプリンターに記憶され、オンライン状態になります。

<ガイド>
・オフラインセットアップモードの詳細は、『2 プリンターの機能とその使い方』の「2.7 機能設定を変える」を参照してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

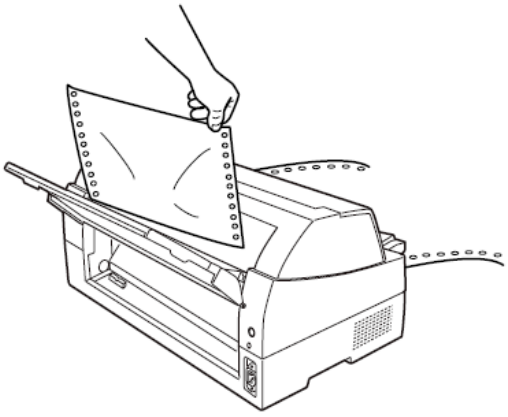
2.10 連続帳票用紙をカット位置に送る

あらかじめセットした連続帳票用紙のミシン目がカットしやすい位置（カット位置）にくるように、用紙を送る機能です。

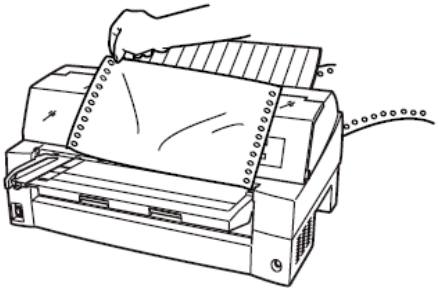
2.10.1 カット位置に送る

次の手順で、連続帳票用紙をカット位置に送ります。

1 オンライン状態で〔用紙カット｜用紙吸入/排出〕スイッチを押す
ミシン目が用紙カット位置まで送られます。
機能設定の【EP 設定】で『オートティアオフ』を「有効」に設定している場合は、印字が終わる（または印字データを印字し終わる）毎に自動的に用紙カット位置まで用紙が送られます。
〈連続帳票用紙を前方からセットした場合〉

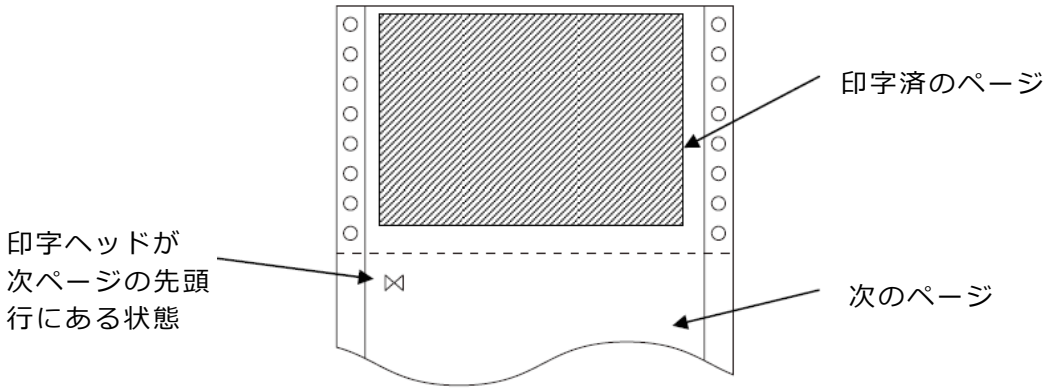


〈連続帳票用紙を後方からセットした場合〉



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

印字ヘッドの位置が次のページの先頭行にあるときには、ミシン目がカット位置まで送られます。



注） ページ長設定が正しくないとき、および〔微小改行▼〕 〔微小改行▲〕スイッチで用紙を移動させた場合は、カット位置が合わなくなります。

2 用紙を切り取る

3 もう一度、〔用紙カット｜用紙吸入/排出〕スイッチを押す
用紙が印字開始位置に戻ります。
この操作を行わない場合は、次の印字データを受信すると自動的に元の位置に戻ります。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.10.2　カット位置の補正方法

カット位置に用紙を送り出したときに、プリンターの用紙カッター位置と用紙のミシン目がずれている場合は次の手順で位置を補正できます。連帳用紙の送り出し量をそれぞれ補正できます。
約９ｍｍの補正が可能です。

1 オンライン状態で〔用紙カット｜用紙吸入/排出〕スイッチを押し用紙をカット位置に送る

2 紙送り出し後もスイッチを押したまま、〔微小改行▲〕または〔微小改行▼〕スイッチを押しカット位置を合わせる

3 用紙カッター位置に用紙のミシン目が合ったら〔用紙カット｜用紙吸入/排出〕スイッチを離す
新たな用紙カットの送り出し量として設定されます。

・ 前連帳用紙の場合
〔微小改行▲〕スイッチ：用紙送り出し量を大きくします。
〔微小改行▼〕スイッチ：用紙送り出し量を小さくします。
1 回スイッチを押すごとに、1/180 インチ補正します。
・ 後連帳用紙の場合
〔微小改行▼〕スイッチ：用紙送り出し量を大きくします。
〔微小改行▲〕スイッチ：用紙送り出し量を小さくします。
1 回スイッチを押すごとに、1/180 インチ補正します。

注) 〔用紙カット｜用紙吸入/排出〕スイッチを離した時点で送り出し量が設定されますので、途中でスイッチを離した場合は手順 1 からやり直してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.11 自動検出機能

このプリンターには、次の 4 つの自動検出機能があります。

◆ 用紙無し検出

印字中に用紙がなくなると、印字動作が停止して「用紙切れ」ランプが点灯し、ブザーが鳴ってオフライン状態になります。
このとき（用紙無し検出時）に強制的に一行分印字させることができます。この機能をオーバーライド機能といいます。
用紙無しを検出して印字動作が停止（オフライン状態）のまま〔オンライン〕スイッチを押すと、後続のデータがある場合、1 行だけ印字を行います。この操作は何度も繰り返しできますが、プラテン面に用紙があることを確認しながら印字させてください。

◆ 印字ヘッド昇温検出

印字ヘッドの加熱状態を検出すると、1 行を 3 回に分けて印字して印字ヘッドの劣化を防止します。

◆ ヘビーデューティー検出

高密度の印字（50%以上）を行うと、1 行を 3 回に分けて印字します。

◆ 異常電流検出

プリンター内で異常電流が流れたときは、プリンター保護のために、自動的に電源を切断します。この状態で電源スイッチを“ON"にしても、約 5 分間は電流が投入できません。数分後、電源を再投入してください。それでも電源が投入できないときは、プリンターの故障ですので、コンセントを抜いて当社 プリンター相談窓口(プリンター編 『5 保守と点検』「5.10 アフターサービス」参照)に相談してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

3 用紙のセット

この章では、用紙のセットのしかた、用紙厚の調整のしかた、および印字開始位置について説明します。

3.1 用紙をセットする

このプリンターでは、連続帳票用紙および単票用紙が使用できます。

<ガイド>

・本プリンターは前/後共通の着脱式トラクターを使用しているため、設置条件、業務形態に応じてトラクターの前後の位置を選択して使用できます。工場出荷時は前(フロント)側に搭載されていますが、必要に応じて後(リア)側に付け替えてご使用ください。なお、オプションのトラクターユニットを追加すれば、前/後にトラクターを取り付けて使用することができます。

3.1.1 連続帳票用紙をセットする（前トラクター給紙の場合）

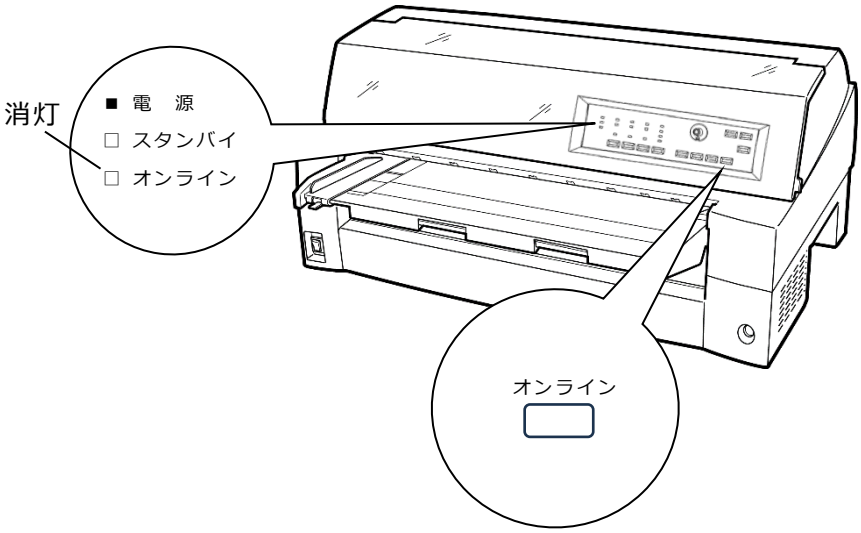
連続帳票用紙のセットは、次の手順で行います。

1 プリンターの電源を入れる

電源スイッチが「｜」側に倒れていることを確認します。

2 オフライン状態にする

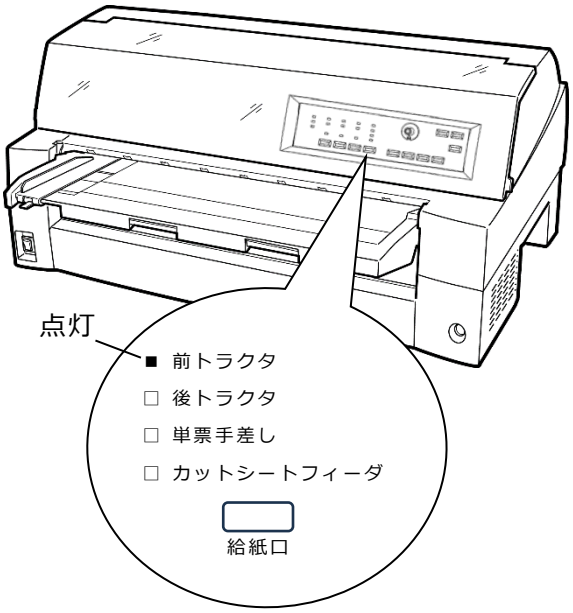
〔オンライン〕スイッチを押して、プリンターをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

3 〔給紙口〕スイッチを押す

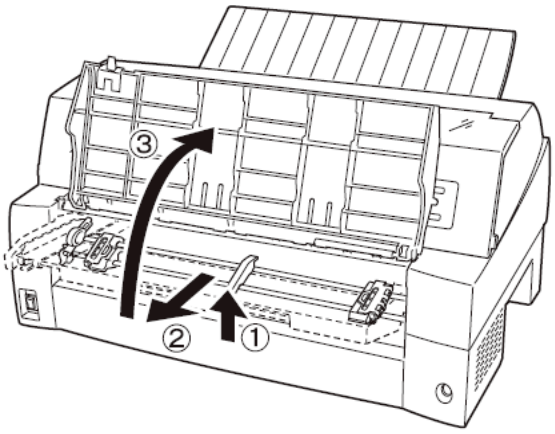
「前トラクタ」状態にします。



4 単票テーブルを開く

単票テーブルを開くと、単票検知センサーに外乱光が入り誤動作することがあります。電源が入った状態で単票テーブルを開くときには給紙口を「前トラクタ」に変更してから以下の操作を行ってください。

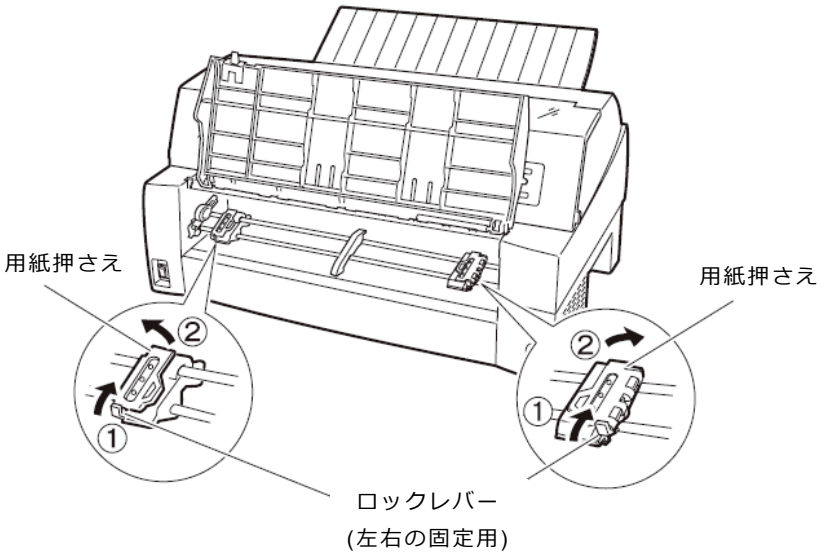
単票テーブルの先端を少し持ち上げ（①）、手前に引いた後（②）、回転させて開きます（③）。



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

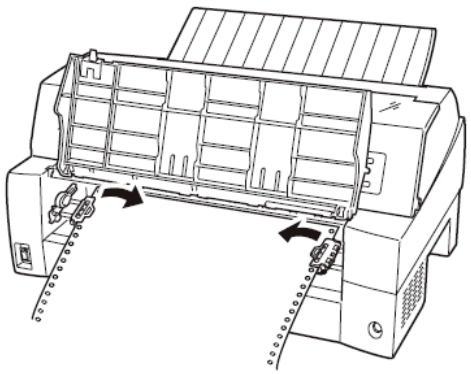
5 用紙送りトラクターのロックを外し、用紙押さえを開く

左右の用紙トラクターにあるロックレバーを、矢印方向に動かして（①）、トラクターが左右に移動できるようにします。
次に用紙押さえを開き（②）、用紙をセットできる状態にします。



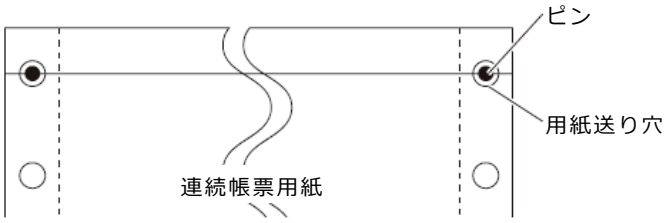
6 用紙送りトラクターに用紙をはさむ

用紙送りトラクターのピンに用紙送り穴を通し、用紙押さえを閉じます。



<お願い>

- 用紙送りトラクターの用紙押さえを開いたまま単票テーブルを倒さないでください。用紙送りトラクターおよび単票テーブルの破損の原因となります。
- 用紙づまりを防ぐために、次の点に注意してください。
  - 用紙を用紙送りトラクターにセットするとき、用紙を張りすぎないように用紙送りトラクターの幅を調整してください。（用紙送りトラクターのピンと用紙の用紙送り穴の中心が一致するようにします。用紙を張りすぎると、ピンから用紙送り穴が外れやすくなり、用紙づまりや印字位置ズレの原因となりますので注意してください。）
  - 用紙がたるんでいると、用紙づまりの原因となりますので注意してください。

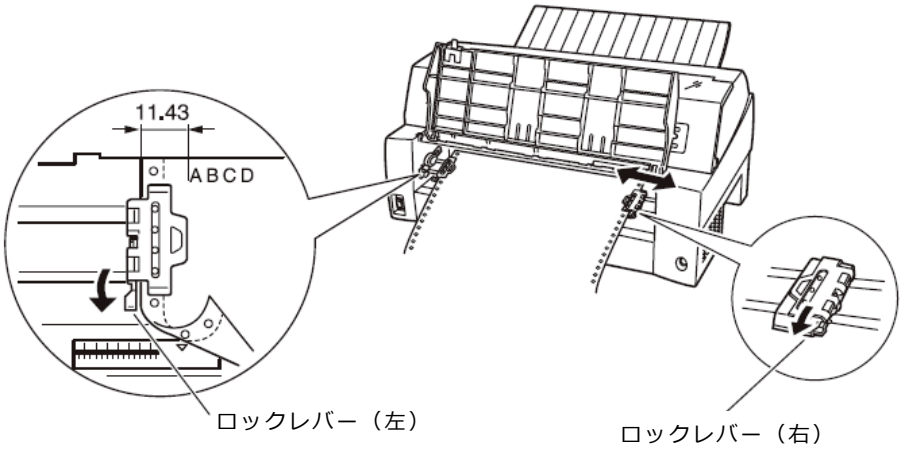


(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

7 左側の用紙送りトラクターを用紙基準位置（桁スケール）に合わせ、右側の用紙送りトラクターを用紙が軽く張るくらい右へ動かし、ロックレバーを矢印方向に倒して固定する

用紙の左端を「0」の位置に合わせると、左端余白が最小 11.43mm（用紙左端からの余白)となり、第 1 ドットが「▼」の位置となります。

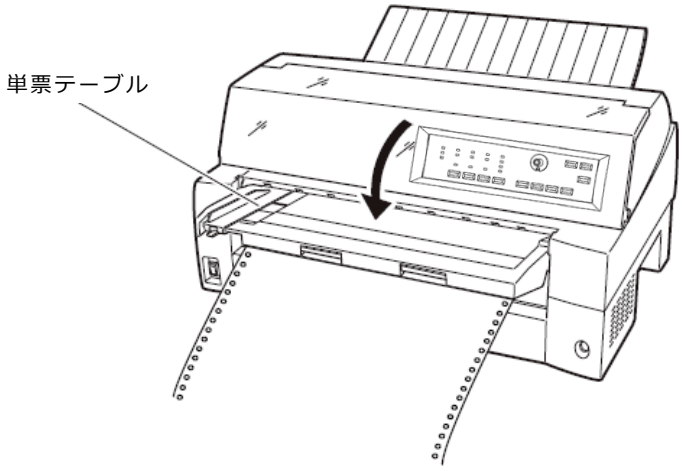
注 1）左端余白が 16mm 未満となる場合は、セットアップ項目の『前トラクタ印字カット量 L』,『前トラクタ印字カット量 R』を適切な値に変更して使用してください。変更しない場合、左右端から約 14mm の範囲に入る印字データがデータカットされ、データが正しく印字されなくなるので注意してください。



注 2）用紙の左端を「0」の位置より右側でセットしないでください。
ストッパーと用紙検出レバーが接触し、用紙検出レバーの動作が渋り、用紙検出タイミングがずれ正常に用紙送りができなくなります。

注 3）用紙外印字機能を無効にしてセットした場合、ミシン目にヘッドピンが引っかかり、ビンが折れドット抜けに至りますので注意してください。

8 単票テーブルを倒す

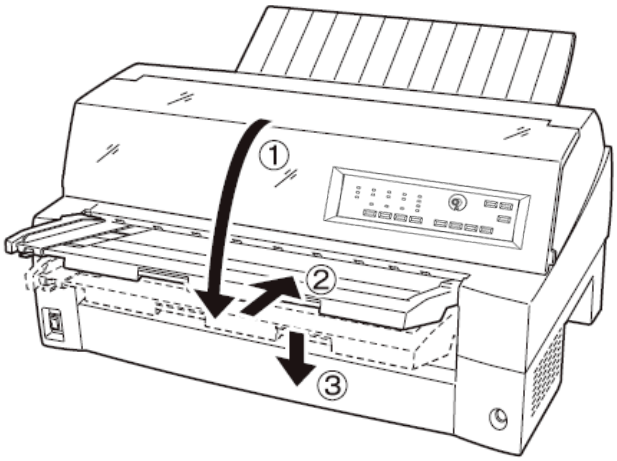


＜お願い＞

・単票テーブルを上方向に開いたまま連帳用紙を吸入させると、用紙づまりを起こす場合があります。必ず、単票テーブルを倒してから用紙を吸入させてください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

単票テーブルは下図のように回転させた（①）のち、奥に押し込んで（②）閉じます（③）。



9 印字開始位置に用紙をセットする

〔用紙カット｜用紙吸入/排出〕スイッチを押します。
用紙が印字開始位置まで送られます。
印字開始位置の微調整については、「3.3 印字開始位置について」を参照してください。

＜お願い＞

- 用紙吸入時に用紙づまりが発生した場合、吸入動作失敗としてブザーが鳴ります。
  用紙づまりが発生した場合は、「5.2 用紙づまりのとき」を参照してつまった用紙を取り除き再度用紙をセットし直してください。
- 単票テーブルに用紙が残ったまま連帳用紙を吸入させると、単票テーブルの用紙も同時に吸入してしまう場合があります。連帳使用時には、単票テーブルの上に用紙をセットしないでください。

10 オンライン状態にする

〔オンライン〕スイッチを押して、プリンターをオンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）にし、パソコンから印字データを送ります。

注） 用紙を排出するには、次の方法があります
印字ヘッドがページの先頭印字位置にあるときは、オンライン状態にして〔用紙カット｜用紙吸入/排出〕スイッチを押すと、用紙がカット位置まで送られます。
オフライン状態にして〔印字モード｜改ページ〕スイッチを押します。
1 回押すたびに 1 ページ分の用紙が送られます。

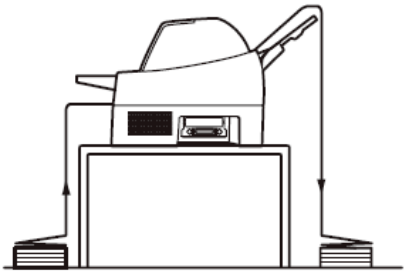
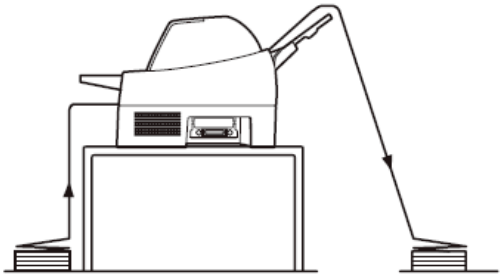
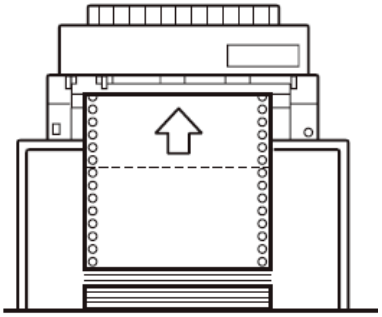
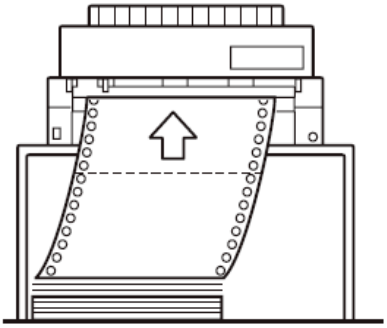
＜お願い＞

- 用紙をカット位置にした状態では、パソコンから印字データが送られてくると用紙を自動的に印字位置（元の位置）に引き込んで印字を行います。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

◆ 前連続帳票用紙の置きかた

連続帳票用紙は、下図（○印）のように置いてください。用紙が机の角などに当たって妨げられると、正しく用紙が送られないので注意してください。

	○	×
プリンター側面		
プリンター正面	プリンターの用紙出口と、用紙の置く位置のズレをなくしてください。 	用紙を置く位置が下図のようにずれていると正しく用紙が送られない場合がありますので、注意してください。 

＜お願い＞

・ 連帳用紙は、連続して逆送りをさせると用紙送りトラクターから外れることがありますので注意してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

3.1.2　連続帳票用紙をセットする（後トラクター給紙の場合）

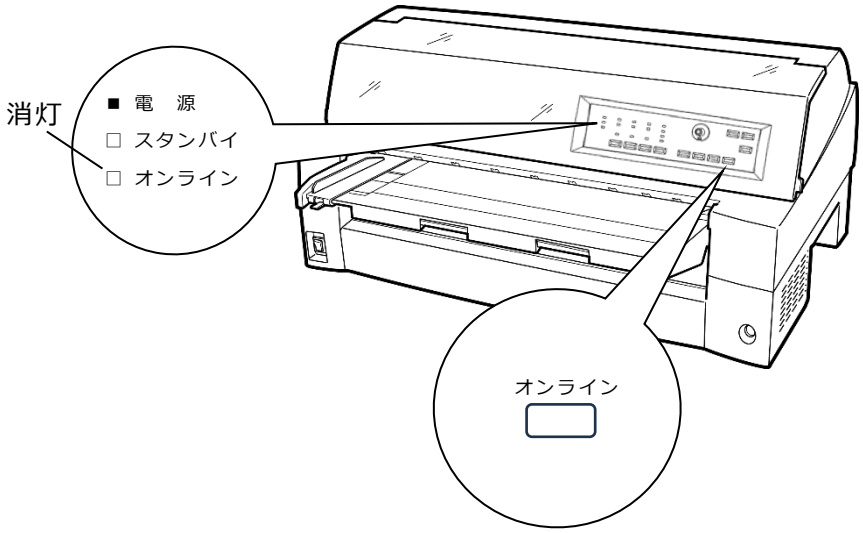
連続帳票用紙のセットは、次の手順で行います。

1　プリンターの電源を入れる

電源スイッチが「｜」側に倒れていることを確認します。

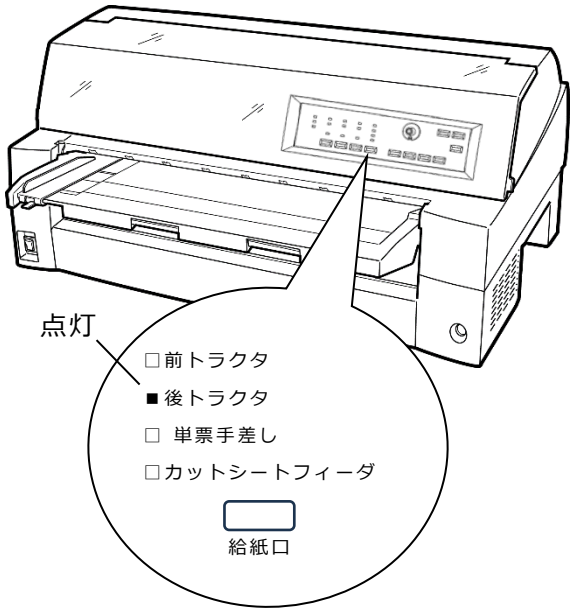
2　オフライン状態にする

〔オンライン〕スイッチを押して、プリンターをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。



3　〔給紙口〕スイッチを押す

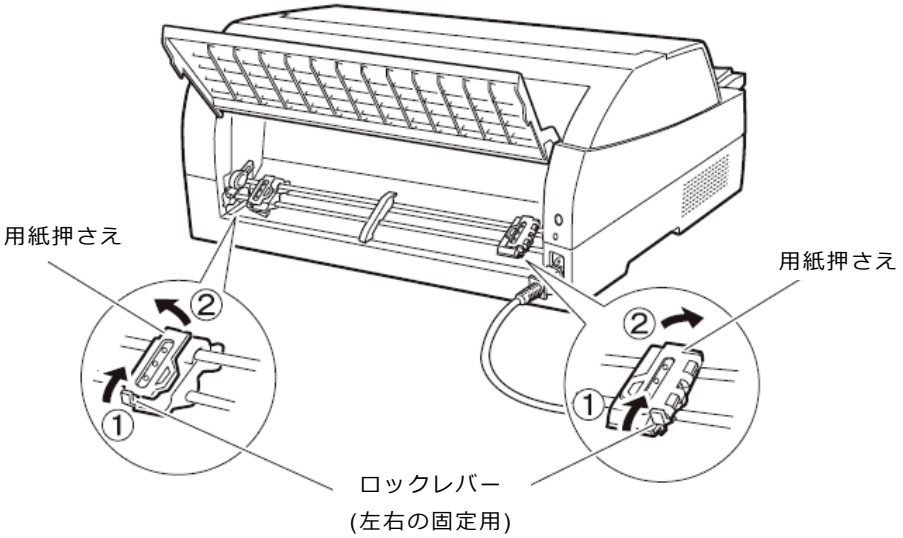
「後トラクタ」状態にします。



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

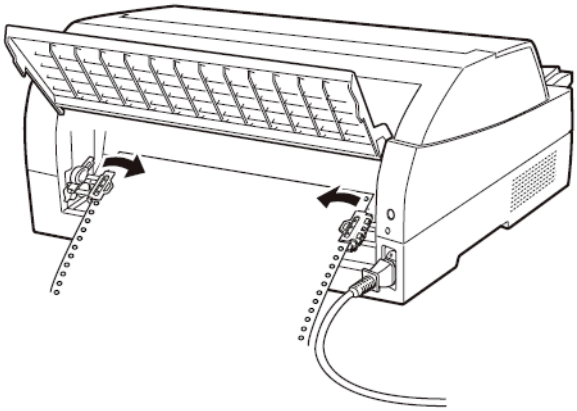
4 用紙送りトラクターのロックを外し、用紙押さえを開く

左右の用紙トラクターにあるロックレバーを、矢印方向に動かして（①）トラクター左右のロックを外し、用紙押さえを開きます（②）。



5 用紙送りトラクターに用紙をはさむ

用紙送りトラクターのピンに用紙送り穴を通し、用紙押さえを閉じます。

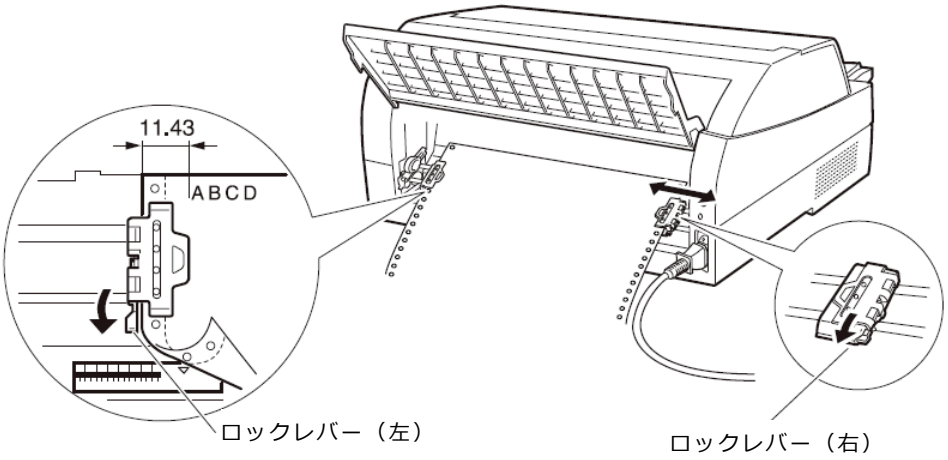


(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

6 左側の用紙送りトラクターを用紙基準位置（桁スケール）に合わせ、右側の用紙送りトラクターを用紙が軽く張るくらい右へ動かし、ロックレバーを矢印方向に倒して固定する

用紙の左端を「0」の位置に合わせると、左端余白が最小 11.43mm（用紙左端からの余白)となり、第 1 ドットが「▼」の位置となります。

注 1）左端余白が 16mm 未満となる場合は、セットアップ項目の『後トラクタ印字カット量 L』,『後トラクタ印字カット量 R』を適切な値に変更して使用してください。変更しない場合、左右端から約 14mm の範囲に入る印字データがデータカットされ、データが正しく印字されなくなるので注意してください。

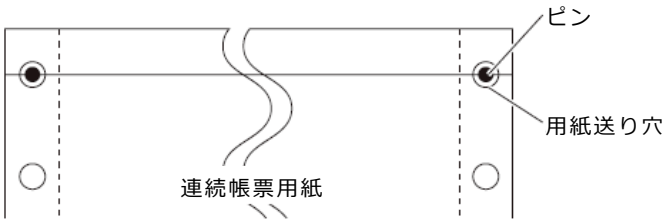


注 2）用紙の左端を「0」の位置より右側でセットしないでください。
ストッパーと用紙検出レバーが接触し、用紙検出レバーの動作が渋り、用紙検出タイミングがずれ正常に用紙送りができなくなります。

注 3）用紙外印字機能を無効にしてセットした場合、ミシン目にヘッドピンが引っかかり、ビンが折れドット抜けに至りますので注意してください。

＜お願い＞

・用紙づまりを防ぐために、次の点に注意してください。
- 用紙を用紙送りトラクターにセットするとき、用紙を張りすぎないように用紙送りトラクターの幅を調整してください。（用紙送りトラクターのピンと用紙の用紙送り穴の中心が一致するようにします。用紙を張りすぎると、ピンから用紙送り穴が外れやすくなり、用紙づまりや印字位置ズレの原因となりますので注意してください。）
- 用紙がたるんでいると、用紙づまりの原因となりますので注意してください。



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

7 印字開始位置に用紙をセットする

〔用紙カット｜用紙吸入/排出〕スイッチを押します。
用紙が印字開始位置まで送られます。
印字開始位置の微調整については、「3.3 印字開始位置について」を参照してください。

8 オンライン状態にする

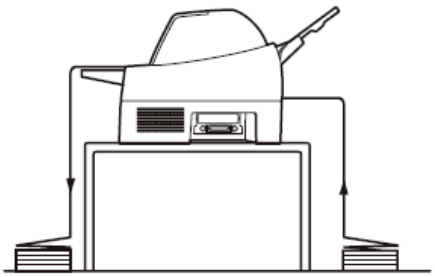
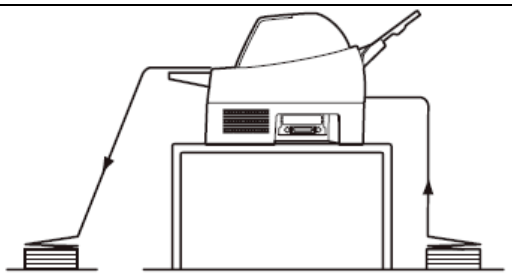
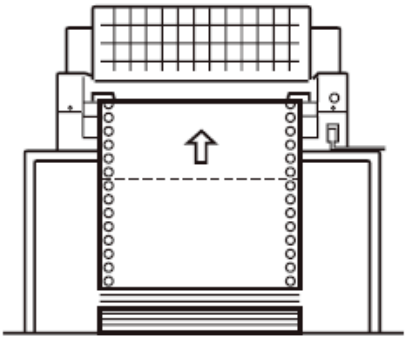
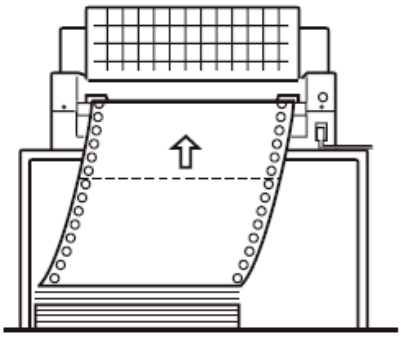
〔オンライン〕スイッチを押して、プリンターをオンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）にし、パソコンから印字データを送ります。

注） 用紙を排出するには、次の方法があります
印字ヘッドがページの先頭印字位置にあるときは、オンライン状態にして〔用紙カット｜用紙吸入/排出〕スイッチを押すと、用紙がカット位置まで送られます。
オフライン状態にして〔印字モード｜改ページ〕スイッチを押します。
1 回押すたびに 1 ページ分の用紙が送られます。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

◆ 後連続帳票用紙の置きかた

連続帳票用紙は、下図（○印）のように置いてください。用紙が机の角などに当たって妨げられると、正しく用紙が送られないので注意してください。

	○	×
プリンター側面		
プリンター正面	プリンターの用紙出口と、用紙の置く位置のズレをなくしてください。 	用紙を置く位置が下図のようにずれていると正しく用紙が送られない場合がありますので、注意してください。 

＜お願い＞

・ 連帳用紙は、連続して逆送りをさせると用紙送りトラクターから外れることがありますので注意してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

3.1.3　連帳用紙をセットする（連帳セットフリーオン時）

連帳セットフリー機能を有効にすると、連帳の左端を検出し、横方向の印字位置を自動的に調整し、印字することができます。この機能で使用できる用紙幅は、4～15 インチです（詳細は「4 用紙について」を参照）。15 インチを超える連帳は、印字カットが発生しますので、連帳セットフリー機能を無効にして使用してください。
ここで説明する連帳用紙のセット方法と注意点は、前トラクター、および後トラクターに共通する内容です。

◆ 用紙のセットに関する注意

連帳セットフリー機能は、つぎの方法により使用します。

まず、「2 プリンターの機能とその使い方」の「2.7 機能設定を変える」に従い、【装置機能設定】で『前トラクターセットフリー』、または『後トラクターセットフリー』が「有効」になっていることを確認します。『前トラクターセットフリー』、または『後トラクターセットフリー-』が「無効」のときは、「機能設定を変える」の手順に従い、『前トラクターセットフリー』、または『後トラクターセットフリー』を「有効」に設定してください。

連帳のセットは、連帳セットフリー機能が無効のときと同様に「3.1.1 連続帳票用紙をセットする（前トラクタ―給紙の場合）」、または「3.1.2 連続帳票用紙をセットする（後トラクタ―給紙の場合）」に従いセットして下さい。

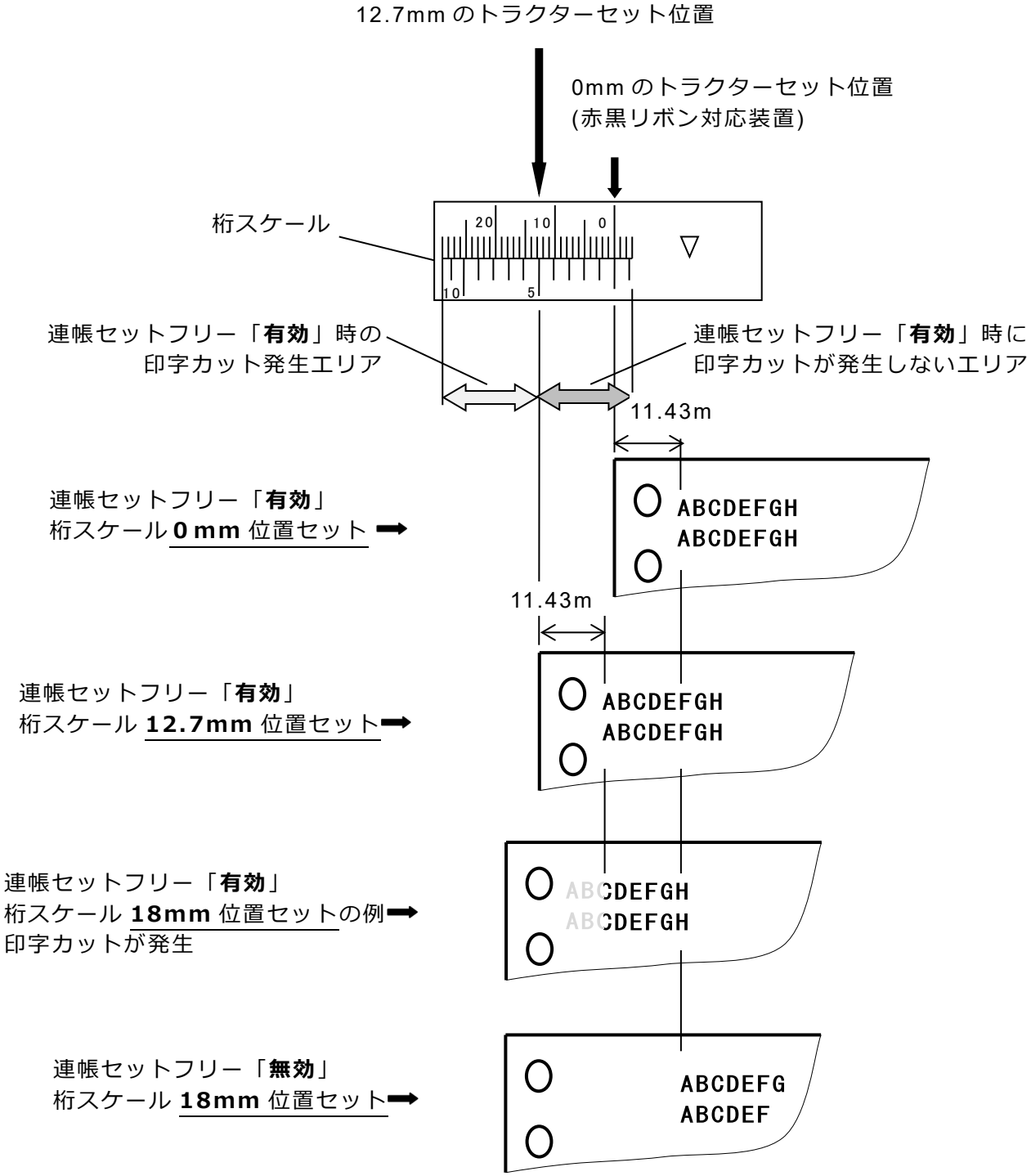
印字開始位置は、機能設定【余白量設定】の『前トラクタセットフリー余白量』、または、『後トラクタセットフリー余白量』により設定します。工場出荷時は、用紙左端より 11.3mm の位置になります。

注）　印字開始位置を頻繁に変更したいときは、連帳セットフリー機能を使わずトラクターの位置で調整してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

◆ 用紙左端位置に関する注意

左側の用紙送りトラクターを用紙基準位置（桁スケール）の 0～12.7mm の位置に合わせて固定してください。
12.7mm の位置より左側にセットすると、印字データによっては、印字がカットされます。



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

3.1.4　単票用紙をセットする（単票セットフリーオン時）

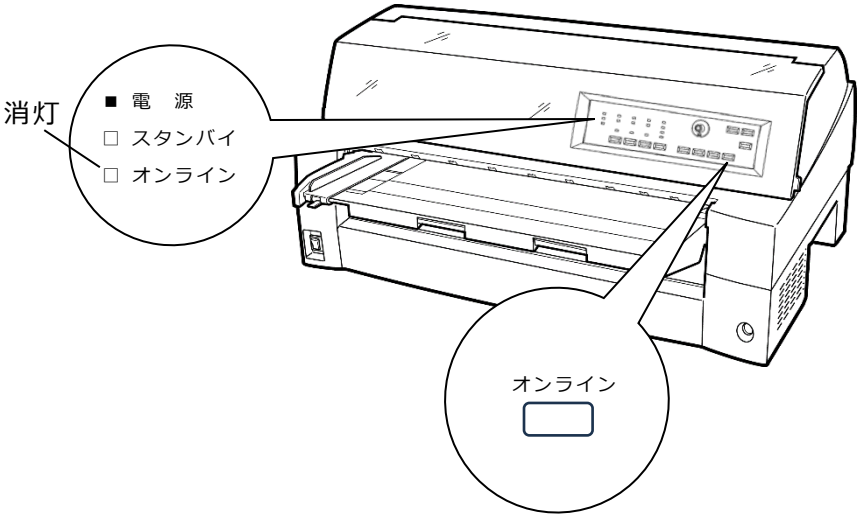
単票セットフリー機能を使用すると、単票テーブルの中央に用紙を差し込むと自動的に吸入されます。なお、単票用紙は一枚ずつ差し込んでください。使用できる用紙サイズは、はがき～B4 です（詳細は「4 用紙について」を参照）。単票セットフリーオンで使用できない用紙は単票セットフリーオフにして使用してください。（「3.1.5 単票用紙をセットする(単票セットフリーオフ時)」参照）
ここでは、連帳用紙吸入状態から、単票セットフリー機能を使用する時の手順で説明します。

1　プリンターの電源を入れる

電源スイッチが「｜」側に倒れていることを確認します。

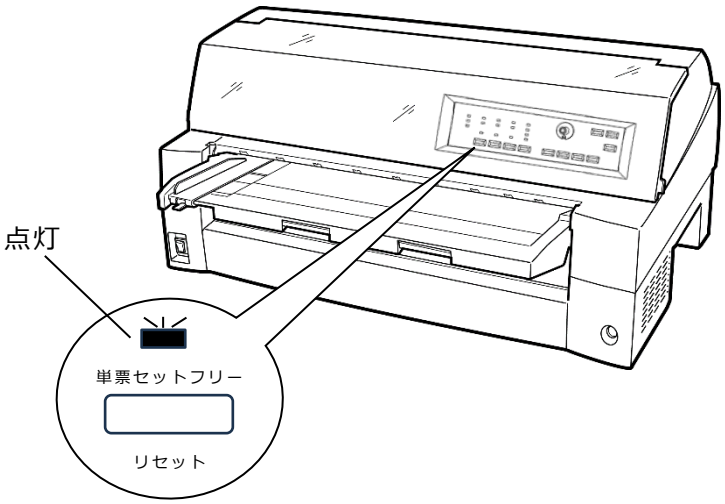
2　オフライン状態にする

〔オンライン〕スイッチを押して、プリンターをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。



3　「単票セットフリー」ランプが点灯していることを確認する

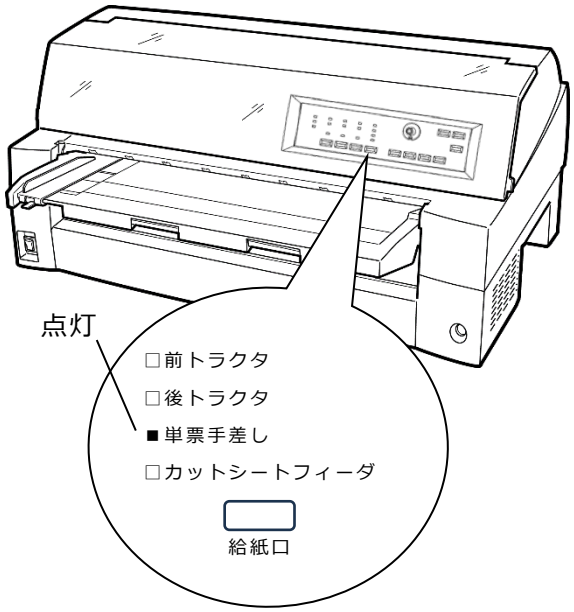
消灯している場合は〔単票セットフリー｜リセット〕スイッチを 1 回押してください。



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

4 〔給紙口〕スイッチを押して「単票手差し」状態にする

「単票手差し」状態にします。
このとき連帳用紙が吸入されたままの場合は、連帳用紙の退避動作を行ってから、単票用紙に切り替わります。



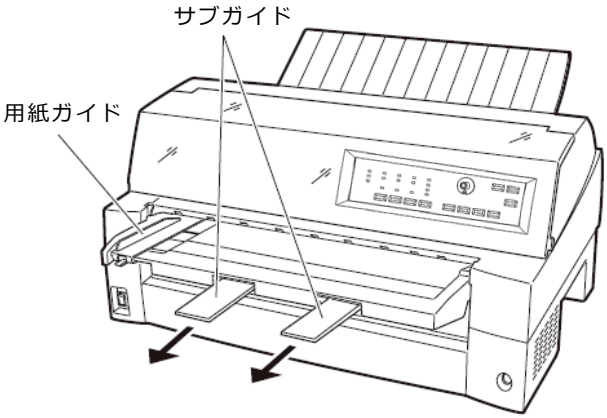
＜お願い＞

・ 連帳用紙の退避動作が終了する前に単票テーブルに用紙をセットすると、「単票手差し」状態に切り替わらない場合があります。
連帳用紙の退避動作が終了し、「単票手差し」状態に切り替わった後に単票をセットするようにしてください。

5 用紙ガイドをラベル⇐部の位置に合わせる

用紙セット範囲の目安になります。
用紙ガイドを使用しないときは、単票テーブルの左端に突き当たるまで寄せてください。

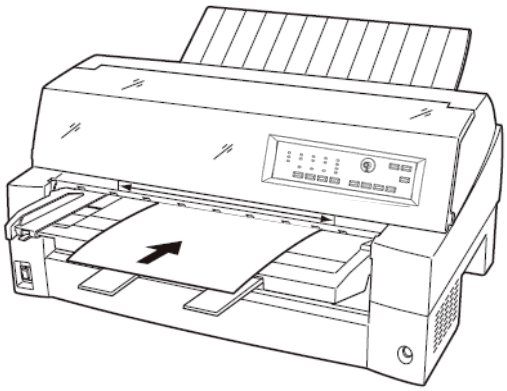
6 用紙サイズに応じてサブガイドを引き出す



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

7 用紙をセットする

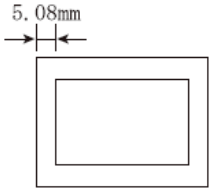
印字する面を上にし、『単票セットフリー』の用紙セット範囲に単票用紙を一枚ずつ差し込むと、自動的に吸入されます。



注 1） サブガイドを引き出して使用する場合は、上図のように 2 つのサブガイドの上に用紙を乗せ、サブガイドの長い辺から用紙がはみ出さないようにセットしてください。サブガイドからはみ出した状態で用紙をセットすると、用紙の端がサブガイドに引っかかり、正しく吸入されない場合があります。

注 2） 【機能設定】で『オートローディング』を「無効」に設定している場合は、自動的に吸入されませんので、オフラインにしてから〔用紙カット｜用紙吸入/排出〕スイッチで用紙を吸入してください。

印字開始位置は、【余白量設定】の『手差しセットフリー余白量』の設定に従います。工場出荷時は、用紙左端より 5.08mm の位置になります。



注 3） 印字開始位置を帳票に合わせて細かく設定したい場合は、単票セットフリーをオフにして用紙ガイドで調整してください。

8 オンライン状態にする

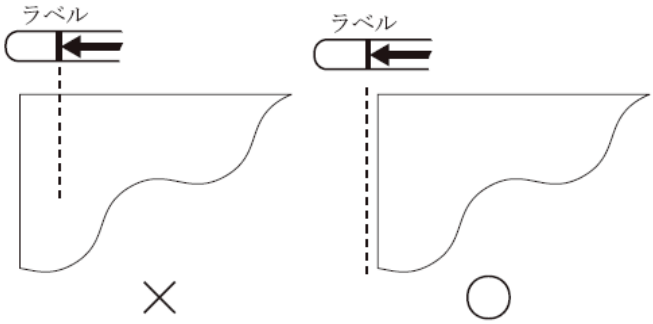
〔オンライン〕スイッチを押して、プリンターをオンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）にし、パソコンから印字データを送ります。

注） 【その他の設定】で『単票自動オンライン』が「有効」に設定されている場合は、自動的にオンライン状態になり、印字を開始します。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

◆ 用紙左端位置に関する注意

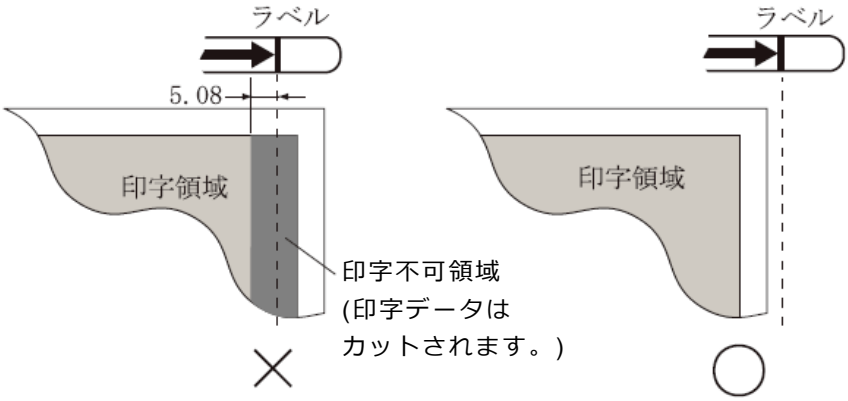
プリンターのラベル⇦部（「単票セットフリー」の用紙セット範囲）に対して、用紙の左端を下記の×で示す位置にセットした場合、用紙は吸入後排出されます。○で示す位置にセットしてください。
用紙ガイドをラベル⇦部の位置に合わせておくと用紙セット範囲の目安になります。
用紙ガイドを使用しないときは、単票テーブル左端に突き当たるまで左に寄せてください。



注) プリンターのラベル⇦部（「単票セットフリー」の用紙セット範囲）付近に用紙をセットする場合、用紙ガイドと単票テーブルの隙間に用紙の先端がもぐり込む場合がありますので注意してください。

◆ 用紙右端位置に関する注意

プリンターのラベル⇦部(「単票セットフリー」の用紙セット範囲)に対して、用紙の右端を下記の×で示す位置にセットすると、印字データがカットされることがありますので、○の位置にセットしてください。



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

◆ 用紙に関するご注意

・用紙の先端や先端のコーナー部に折れや曲がりがあると、うまく吸入できないことがあります。折れや曲がりのない用紙を使用してください。
・単票セットフリーで使用できる用紙は下記のサイズです。
この範囲にセットできる用紙をお使いください。
用紙幅　　100～364mm（はがき～B4 サイズ）
用紙長さ　　70～364mm（　　～B4 サイズ）
詳細は「4 用紙について」を参照してください。
注）赤黒リボン対応装置の単票セットフリーで使用できる用紙幅は、100～355.6mm（はがき～不定形サイズ）です。B4 横（364mm）は使用できません。
・束のりとじの単票は、とじ部分が分離しやすくジャムが発生し易いので、使用を避けてください。
束のりとじ：単票の厚み部分だけでのりとじを行っているものです。
・単票セットフリーで、宅配便伝票などの連続帳票用紙を 1 枚ずつ手で切ってご使用になる場合は、用紙先端のカールなどにより、うまく吸入できないことがあります。
用紙のカールなどを取り除いてからご使用ください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

3.1.5　単票用紙をセットする（単票セットフリーオフ時）

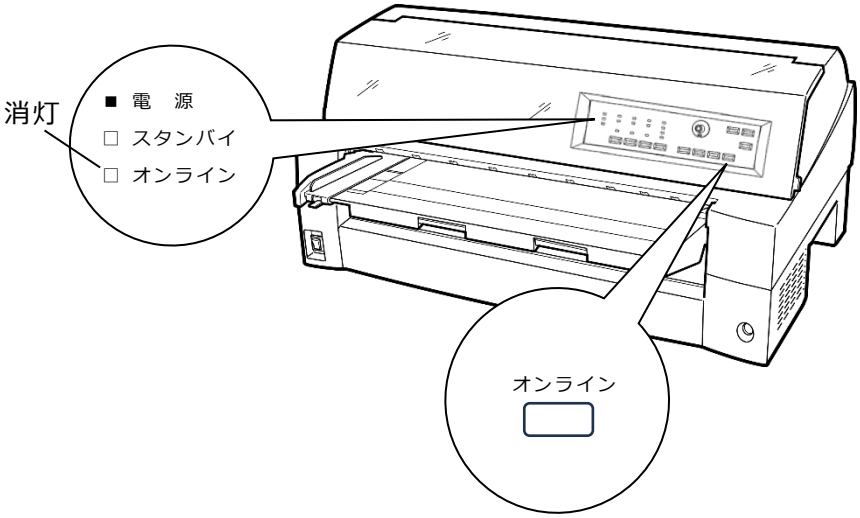
単票用紙は一枚ずつセットしてください。また、連続帳票用紙をセットしたままでもセットできます。
単票用紙のセットは、次の手順で行います。

1 プリンターの電源を入れる

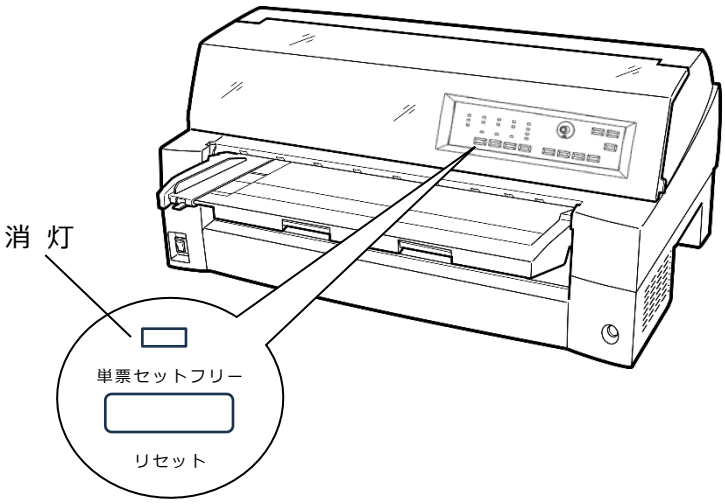
電源スイッチが「｜」側に倒れていることを確認します。

2 オフライン状態にする

〔オンライン〕スイッチを押して、プリンターをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。



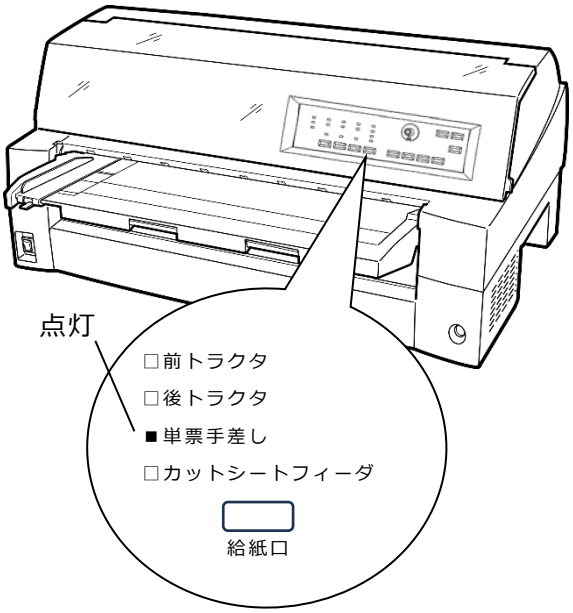
3 〔単票セットフリー｜リセット〕スイッチを押して「単票セットフリー」ランプを消灯させる



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

4 〔給紙口〕スイッチを押して「単票手差し」状態にする

「単票手差し」状態にします。
このとき連帳用紙が吸入されたままの場合は、連帳用紙の退避動作を行ってから、単票用紙に切り替わります。



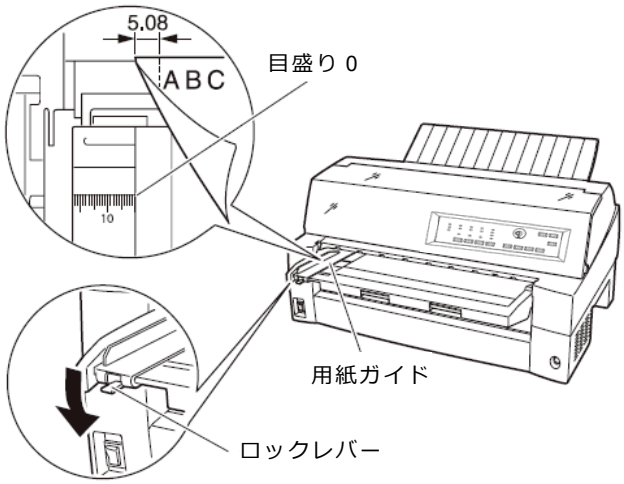
＜お願い＞

・ 連帳用紙の退避動作が終了する前に単票テーブルに用紙をセットすると、「単票手差し」状態に切り替わらない場合があります。
連帳用紙の退避動作が終了し、「単票手差し」状態に切り替わった後に単票をセットするようにしてください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

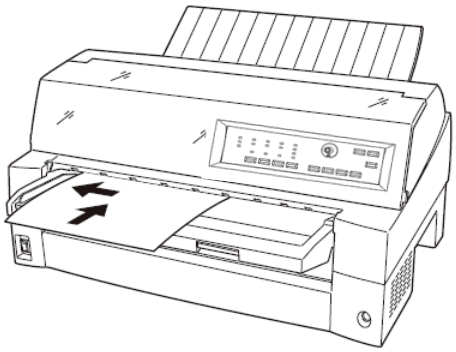
5 印字開始位置に合わせて用紙ガイドを移動する

用紙ガイドの左端を単票テーブルの目盛り 0（mm）の位置にして、ロックレバーを下側に倒してロックします（第 1 ドット目が用紙の左端より 5.08mm の位置に印字します）。



6 単票用紙をセットする

印字する面を上にし、単票用紙の左端を用紙ガイドに当てて、一枚ずつ差し込みます。用紙が奥に軽く突き当たるまで、まっすぐに差し込んでください。
用紙が自動的に印字開始位置まで送られます。



注 1) 【機能 設定】『オートローディング』が「無効」に設定している場合は、〔用紙カット｜用紙吸入/排出〕スイッチを押して用紙をセットしてください。
注 2) 幅のせまい媒体（100mm 未満の媒体）をセットする場合は、用紙ガイドを目盛り 0（mm）の位置に合わせます。
注 3) 用紙ガイドは目盛り 0（mm）の位置より右側にしないでください。
注 4) A3 用紙の場合は、用紙ガイドを目盛り 28(mm)よりも左側へ移動して用紙をセットしてください。

7 〔オンライン〕スイッチを押し、オンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）にしてパソコンから印字データを送る

送られた用紙がまっすぐセットされなかった場合は、オンライン状態にする前に〔用紙カット｜用紙吸入/排出〕スイッチを押し、一旦単票用紙を排出してから再度セットしてください。

注） 【その他の設定】で『単票自動オンライン』が「有効」に設定されている場合は、自動的にオンライン状態になり、印字を開始します。

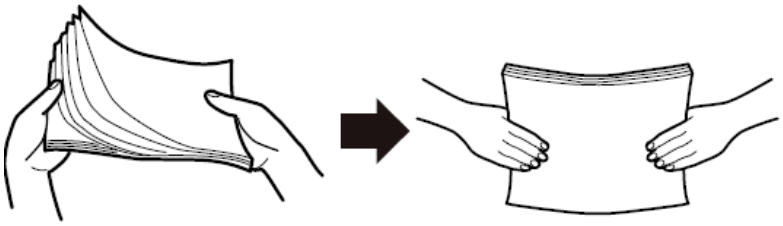
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

3.1.6　単票用紙をセットする（カットシートフィーダーを取り付けた場合）

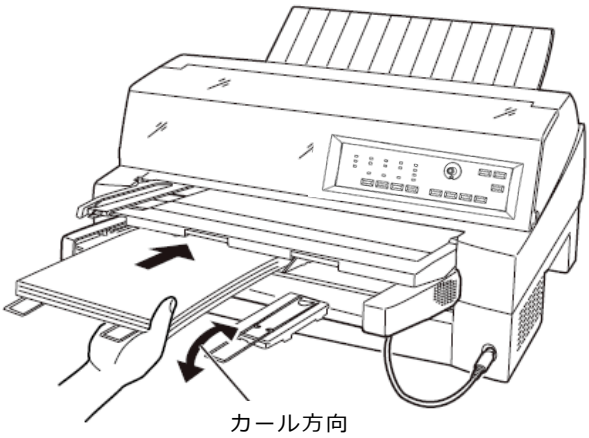
カットシートフィーダーをプリンターに取り付けた場合に用紙をセットする方法について説明します。
カットシートフィーダーの取り付けについては、「6.5 カットシートフィーダーを取り付ける」を参照してください。

<ガイド>

・セットするときは、図のように用紙をさばき、机の上などで用紙の上下、左右をきちんと揃えてください。



・用紙はカールを取り除いた上でセットしてください。
用紙は、湿度などの影響でカールしていることがあります。カールした用紙を補充する場合や別梱包の用紙を合わせてセットする場合、カールを取り除いた上、カール方向を合わせてセットしてください。(背中合わせでセットすると複数枚数が同時に吸入される場合があります。)
また、少しカールのある場合は、カール方向を下図のようにセットしてください。



・紙質は同一種類のものをセットしてください。
銘柄や連量(紙厚)などが異なるものを一緒にしてセットしないでください。

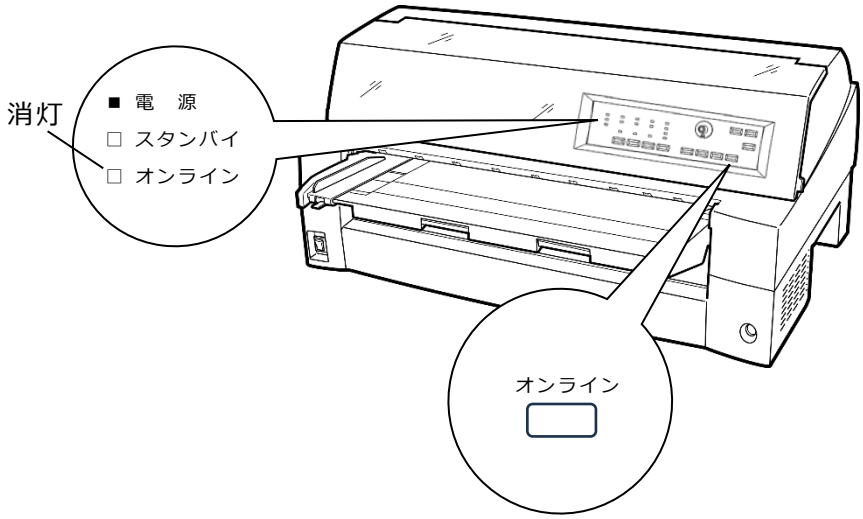
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

1 プリンターの電源を入れる

電源スイッチが「｜」側に倒れていることを確認します。

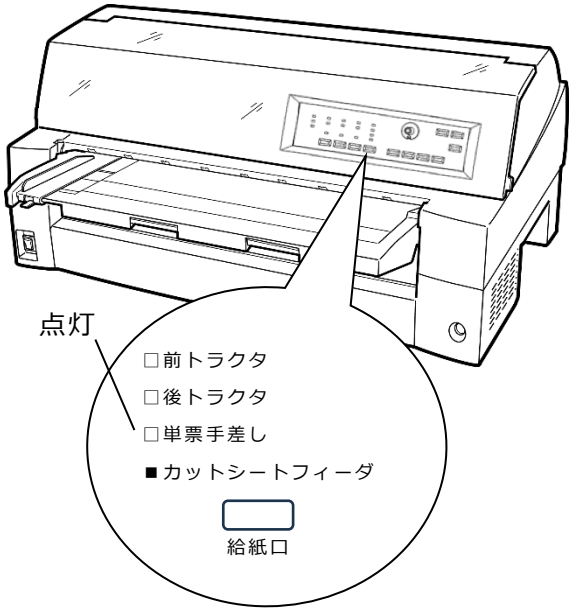
2 オフライン状態にする

〔オンライン〕スイッチを押して、プリンターをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。



3 〔給紙口〕スイッチを押して「カットシートフィーダ」ランプを点灯させる

「カットシートフィーダ」状態にします。

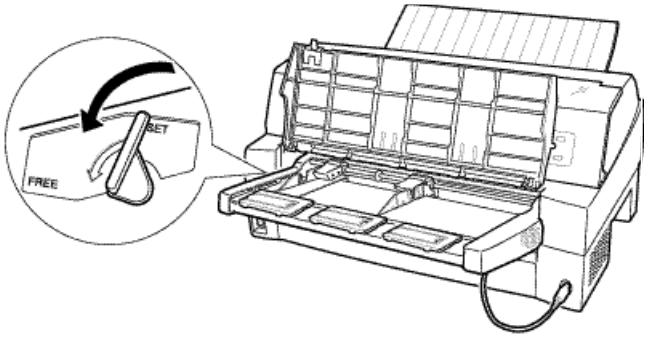


4 カットシートフィーダーがプリンター前部に取り付けられている場合は単票テーブルを、プリンター後部に取り付けられている場合はリアスタッカーを開く

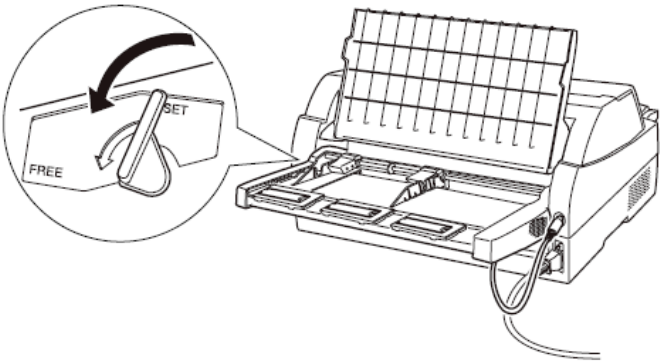
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

5 カットシートフィーダーのセットレバーを「FREE」の位置にする

【カットシートフィーダーがプリンター前部に取り付けられている場合】



【カットシートフィーダーがプリンター後部に取り付けられている場合】



6 用紙ガイドに沿って用紙を載せる

用紙を揃え、用紙の高さを示す赤線がある側の用紙ガイドに沿って用紙を載せます。赤線が一度にセットできる用紙の高さを示します。

＜お願い＞

- 用紙の高さを示す赤線がある側の用紙ガイドは通常の場合、「▽」の位置(最も内側)に寄せてご使用ください。
- A3 用紙を横にセットするときは、「←」の位置に用紙ガイドを移動してください。

＜ガイド＞

- 55kg 紙の場合、総枚数が 120 枚となります。

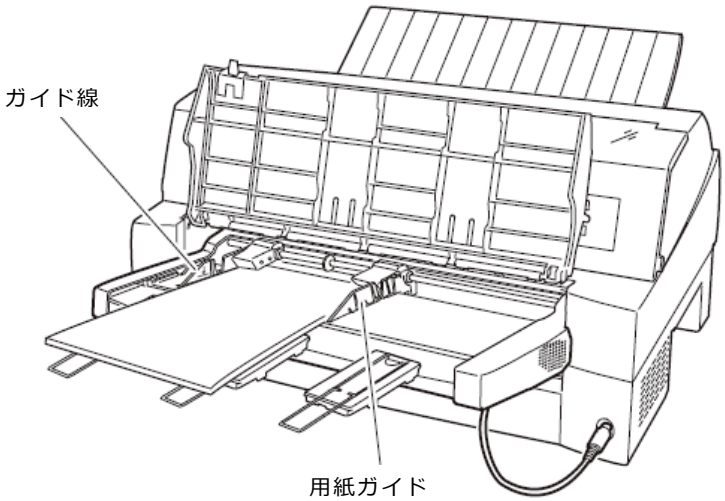
7 長い用紙をセットする場合は、エクステンションおよびエクステンションワイヤを展開する

(「6.5 カットシートフィーダーを取り付ける」参照)

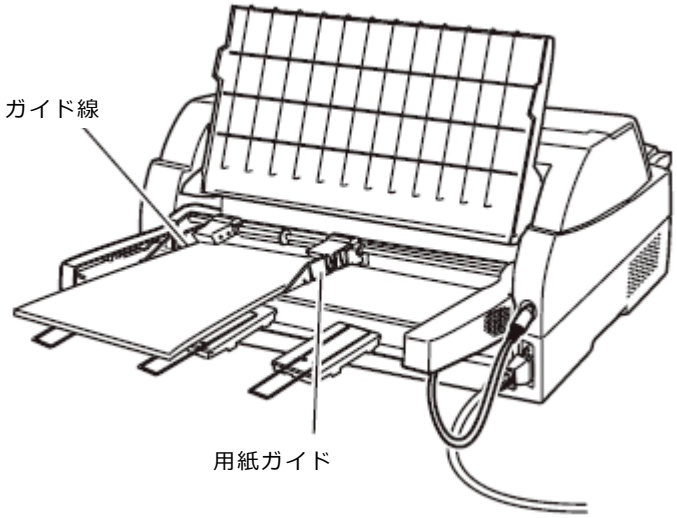
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

8 右側用紙ガイドの位置を、セットする用紙に合わせる

【カットシートフィーダーがプリンター前部に取り付けられている場合】



【カットシートフィーダーがプリンター後部に取り付けられている場合】



<ガイド>

・用紙と用紙ガイドとの間に隙間がある場合は、右側用紙ガイドを左へ動かして隙間をなくしてください。なお、ガイドを用紙に押しつけ過ぎますと、吸入不良を起こすことがありますのでご注意ください。

9 カットシートフィーダーのセットレバーを「SET」の位置に戻し、単票テーブル、リアスタッカーを元に戻す

10 オンライン状態にする

〔オンライン〕スイッチを押して、プリンターをオンライン状態(「オンライン」ランプ点灯)にし、パソコンから印字データを送ります。

<お願い>

・ リアスタッカーへ印字後の用紙をスタックしすぎると用紙づまりなどが発生します。スタック可能枚数は 120 枚（上紙 55kg 用紙でカットシートフィーダーにセット可能な枚数）を目安に適度に取り除いてください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

3.1.7　単票用紙をセットする（ＣＳＦセットフリーオン時）

ＣＳＦセットフリー機能を有効にすると、単票の左端を検出し、横方向の印字位置を自動的に調整し、印字することができます。この機能で使用できる用紙幅は、100～364mm(B4 の長手方向)です（詳細は「4 用紙について」を参照）。364mm を超える単票は、印字カットが発生しますので、ＣＳＦセットフリー機能を無効にして使用してください。
ここで説明するカットシートフィーダーへの用紙のセット方法と注意点は、前カットシートフィーダーおよび後カットシートフィーダーに共通する内容です。

注）赤黒リボン対応装置の単票セットフリーで使用できる用紙幅は、100～355.6mm（はがき～不定形サイズ）です。

◆ 用紙のセットに関する注意

ＣＳＦセットフリー機能は、つぎの方法により使用します。

まず、「2 プリンターの機能とその使い方」の「2.7 機能設定を変える」に従い、【装置機能設定】で『前 CSF セットフリー』、または『後 CSF セットフリー』が「有効」になっていることを確認します。『前 CSF セットフリー』、または『後 CSF セットフリー』が「無効」になっているは、「機能設定を変える」の手順に従い、『前 CSF セットフリー』、または『後 CSF セットフリー』を「有効」に設定してください。

カットシートフィーダーへの単票のセットは、ＣＳＦセットフリー機能が無効のときと同様に「3.1.6 単票用紙をセットする（カットシートフィーダーを取り付けた場合）」に従いセットして下さい。

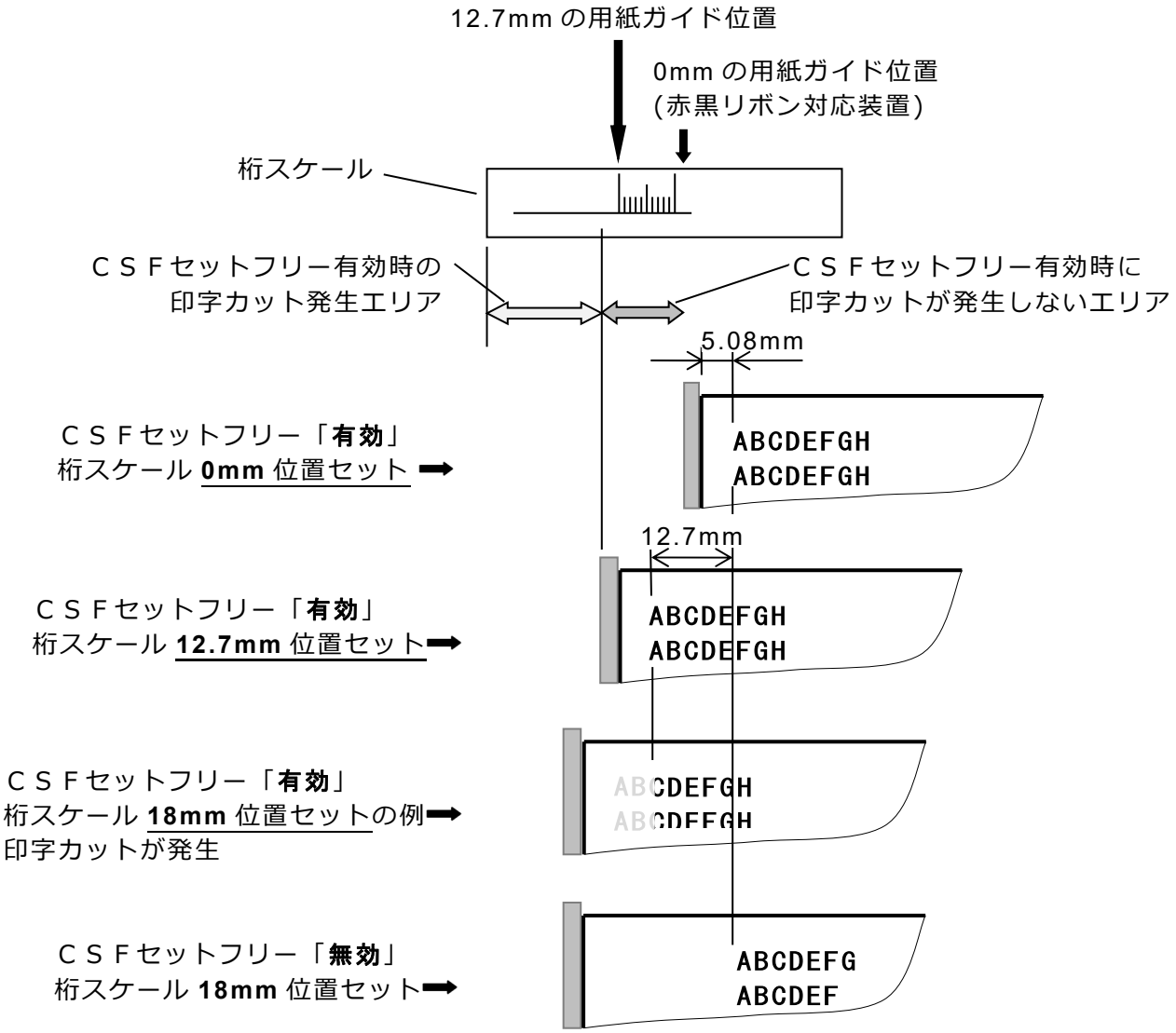
印字開始位置は、機能設定【余白量設定】の『前 CSF セットフリー余白量』、または、『後 CSF セットフリー余白量』により設定します。工場出荷時は、用紙左端より 5.08mm の位置になります。

注）　印字開始位置を頻繁に変更したいときは、CSF セットフリー機能を使わず用紙ガイドの位置で調整してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

◆ 用紙左端位置に関する注意

左側の用紙ガイドを用紙基準位置（桁スケール）の 0～12.7mm の位置に合わせて固定してください。
12.7mm の位置より左側にセットすると、印字データによっては、印字がカットされます。
赤黒リボン対応装置では、左側の用紙ガイドを用紙基準位置（桁スケール）の 0mm の位置に合わせて固定してください。
0mm の位置より左側にセットすると、印字データによっては、印字がカットされます。



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

3.2　用紙厚を調整する

用紙厚の調整とは、印字ヘッドとプラテンの間隔を使用する用紙の厚みに合わせることです。
本プリンターは、使用する用紙の厚さ、枚数に応じて自動的に印字ヘッドの位置を上下に調整する自動紙厚調整機能を装備しており、通常は紙厚調整の必要はありません。
宅配便伝票などの段差のある用紙に印字するときに、自動紙厚調整ではうまく印字できない場合に、以下の手順で手動紙厚調整を設定してください。

1) プリンタードライバーのプロパティで用紙厚を指定します。
   このとき、操作パネルの自動紙厚調整は「オン」のままにしておいてください。
2) 操作パネルの自動紙厚調整を「手動」にし、ダイヤル設定を行います。
   このとき、紙厚に関するプリンタードライバーの設定は無視し、ダイヤル設定に従います。ダイヤル設定は印字が開始するときに作動します。

用紙厚を調整するときは、次表を参考にしてください。
操作パネルの手動紙厚調整ダイヤルが“1”の位置にあるとき、印字ヘッドとプラテンの間隔は最も狭くなり、“R"の位置のとき最も広くなります。

手動紙厚調整

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

用紙の種類と厚さ			手動紙厚調整ダイヤルの位置													
1 枚紙	複写紙	推奨厚さ (mm)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	R
連量 45～70kg	一般的な 1P (連量 34kg)	0.08	○													
連量 70～110kg	一般的な 2P	0.13		○												
連量 110～135kg	一般的な 3P	0.18			○											
はがき 各種封筒 特殊紙 など	一般的な 4P	0.23				○										
	一般的な 5P	0.28					○									
	一般的な 6P	0.33						○								
	一般的な 7P	0.38							○							
	一般的な 8P	0.43								○						
	一般的な 9P	0.48									○					
	各種宅配伝票 (ゆうパック など)	0.53										○				
		0.58											○			
		0.63												○		
		0.68													○	
リボン交換時（注）																○

<ガイド>

・手動でお使いになる場合は、用紙の厚さに対して上記の目安に沿って手動紙厚調整ダイヤルをセットしてください。
手動紙厚調整は数字 1～9、英字 A～D、R の 14 段階あり、ダイヤルの回転によってレンジ 1 番から 1 目盛増す毎に約 0.05mm 単位で用紙と印字ヘッドの間隔が広くなります。おおよその目安として 1～2 番の設定で 1 枚、1 目盛増すごとに用紙 1 枚分間隔が広くなります。
使用する用紙の複写枚数、厚さに応じて適切な印字品質となるように手動紙厚調整ダイヤルを設定してください。
使用する用紙に対して、手動紙厚調整ダイヤルのセットが適切でないときは、次のような現象が起こることがあります。

用紙厚に対して手動紙厚調整ダイヤルの設定が広すぎるとき
・印字抜けが生じることがあります。

用紙厚に対して手動紙厚調整ダイヤルの設定が狭すぎるとき
・印字中にリボンがはずれたり、たるんだりして印字ヘッドの故障の原因になることがあります。
・用紙の端面が切れたり、しわになったりすることがあります。
・リボンによって用紙が汚れることがあります。
・用紙の送りが悪くなることがあります。
・キャリッジが正常に動かなくなることがあります。

◆ 紙厚調整の動作タイミング

・ 自動紙厚調整モードのとき
印字動作を開始するときに、自動的に用紙厚が調整されます。
・ 手動紙厚調整モードのとき
ダイヤル操作後、次の印字動作を開始するときに、設定した用紙厚に調整されます。
また、印字中にダイヤルを回すと、次の改行時に変更した用紙厚に調整されます。

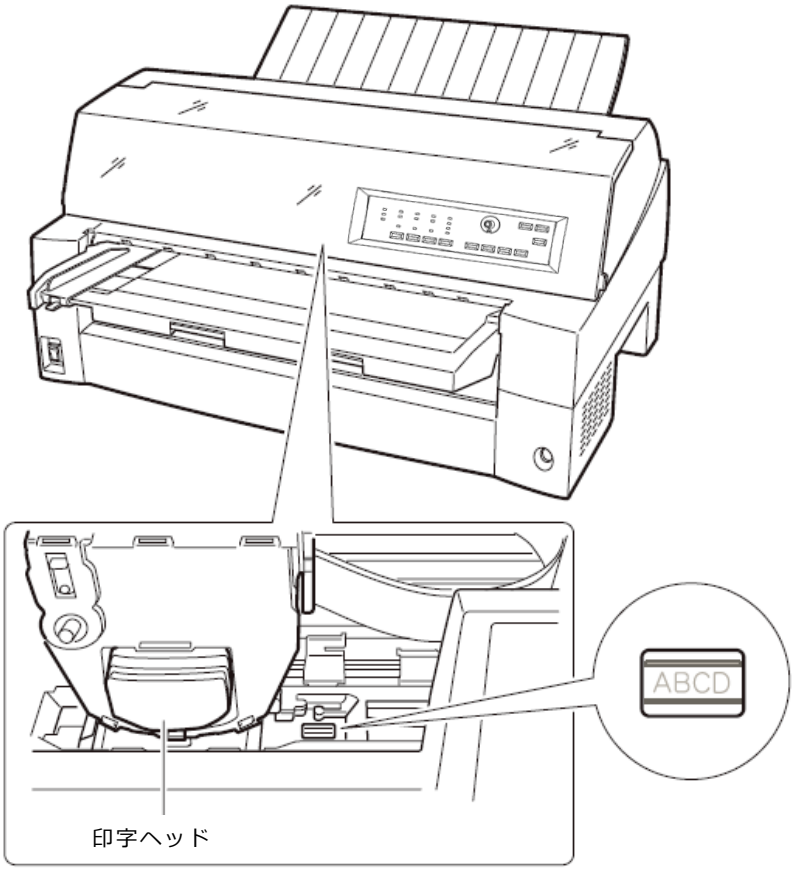
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

3.3　印字開始位置について

必要に応じてセットした用紙の行方向の印字開始位置を変えます。

注）　用紙セット直後はプリンタードライバーの上端余白に対応するため、上端余白が最小値となる位置に仮吸入されます。最初に〔手前排出｜改行〕スイッチを押したとき、機能設定で設定した上端余白量に移動した後、スイッチ操作分用紙を移動します。

印字開始位置を調整するとき、カードガイドの右側窓のラインが文字の上下端を示していますので、これを目安にして用紙を合わせます。



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

3.3.1　印字開始位置（行方向）を微調整する

操作パネルの操作で行方向の印字位置を微調整できます。トップカバーを開いているとプリンターが動作しませんので、トップカバーを閉じてから操作してください。

◆ 正方向（用紙を送り出す方向）に微調整するとき

〔微小改行 ▲〕スイッチを押します。
単票用紙、前カットシートフィーダーの用紙、および前トラクターの用紙は、正方向に1/180 インチ改行します。
押し続けると連続して正改行します。
後カットシートフィーダーの用紙、および後トラクターの用紙に対しては、逆改行となります。

◆ 逆方向（用紙を戻す方向）に微調整するとき

〔微小改行 ▼〕スイッチを押します。
単票用紙、前カットシートフィーダーの用紙、および前トラクターの用紙は、逆方向に1/180 インチ改行します。
押し続けると連続して逆改行します。
後カットシートフィーダーの用紙、および後トラクターの用紙に対しては、正改行となります。

＜ガイド＞

・連続帳票用紙の印字開始位置を〔微小改行 ▲〕スイッチ、または〔微小改行 ▼〕スイッチを押して変更した場合は、変更した分が次ページでも加減されます。また、「連続帳票用紙をカット位置に送る」でも、用紙を送り出す際に、変更した分が加減されます。さらに、カット位置に用紙を送り出した状態で〔微小改行 ▲〕スイッチ、または〔微小改行 ▼〕スイッチを押した場合は、その位置から印字が開始されます。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

3.4　実力値について

本装置の能力を最大に引き出してご使用いただくために、本装置の実力値を充分理解したうえでご使用ください。
印字位置精度は、媒体、環境により影響を受けます。推奨媒体を常温常湿の環境で使用した場合に、以下の各項目に示す範囲で印字されるように設計されています。以下に示す数値はあくまでも参考値であり保証するものではありません。

3.4.1　印字位置精度について

推奨媒体（連帳帳票）、常温常湿、印字保証領域において弊社測定値は以下のとおりです。
（この数値は参考値であり保証値ではありません）

(1) 吸入斜行

連帳（推奨紙：1P、55kg、上質）	±0.5mm/345mm（印字の傾き）
カット紙（推奨紙:A4）	±0.9mm/345mm（印字の傾き）

(2) 累積斜行(頁内)

連帳（推奨紙：1P、55kg、上質）	±0.6mm/345mm（印字の傾き）

(3) 累積改行(頁越え)

連帳（推奨紙：1P、55kg、上質）	±0.7mm（吸入後、1 文字目を基準とした用紙送り方向の印字位置）

<ガイド>

・紙厚（複写枚数）が厚くなるほど、実力値は低下します。
・ 帳票印字の運用に際しては印字確認の上ご使用ください。
・ 印字位置に関する以下の項目については調整が可能です。用紙の種類や長期稼動などでずれが生じたときは調整してください。

上端余白(用紙吸入)　：「2.9 用紙吸入量を調整する」を参照してください。
累積改行　：「2.7 機能設定を変える」の【補正機能】-『手差し改行補正量』から、『後トラクタ改行補正量(最終頁)』を参照してください。
行間ズレ(両方向)　：「2.8 行間ズレを直す」を参照してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

4 用紙について

この章では、使用できる用紙と取り扱い上の注意点について説明します。

4.1 用紙使用上のご注意

4.1.1 連続帳票普通紙

［使用できる用紙］

本プリンターでは、PPC 用紙および普通紙を使用することができます。
詳細は「4.2 連続帳票用紙」を参照願います。
一般の市販品には本プリンターに適さないものもありますので、仕様内の連続帳票用紙をご使用ください。
用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印字をし、支障がないことを確認することをお奨めします。

［使用できない用紙］

・ 連量が 45kg 未満の薄い用紙(複数つづりの構成用紙は除きます)
・ 連量が 70kg 以上の厚い用紙
・ 全体の用紙厚さが 0.65mm 以上の厚い用紙
・ 用紙のとじ方法が線のりとじ、紙ホチキスとじ、束のりとじ、片のりとじの複写用紙
・ ミシン目の入れ方が「ミシン目の入れ方」記載以外のミシン目を入れた用紙
・ 湿っている用紙や濡れている用紙
・ 一度印字した用紙（裏紙等）
・ 貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などがついている用紙
・ 印字領域内にとじ穴がある用紙
・ 反り（カール）、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
・ ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
・ ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
・ 裁断部のバリが大きい用紙
・ 紙粉の多い用紙

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

［使用できない用紙を使用したとき］

- 連量が 70kg 以上の厚い用紙や全体の用紙厚さが 0.65mm 以上の用紙を使用すると、給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、給紙ローラーがすべってしまうことによりローラーが磨耗し、本プリンターに適している用紙までも給紙できなくなり、装置故障の原因となります。
- 用紙のとじ方法が線のりとじ、束のりとじ、片のりとじの複写用紙を使用すると用紙づまりや印字ズレが発生し、装置故障の原因となります。
- 連量が 45kg 未満の薄い用紙や湿っている用紙などに印字した場合は、紙詰まりやシワなどが発生しやすくなります。
- 一度印字した用紙(裏紙)を使用すると用紙搬送ローラーなどへの用紙巻きつきなどの不具合が発生する場合があります。
- 貼りあわせた用紙や、糊のついている用紙に印字すると糊の成分等が装置内部に付着し、印字不良や装置故障の原因となることがあります。
- 印字領域内にとじ穴やミシン目がある用紙を使用すると印字ヘッドピンが折れ装置故障の原因となります。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

4.1.2　連続帳票特殊紙

［使用できる用紙］

本プリンターでは、はがき用紙およびタック紙等の特殊連続帳票用紙を使用することができます。
詳細は、「はがき用紙」、「タック用紙」を参照願います。
特殊連続帳票用紙の印字品質は、普通紙より劣ることがありますので、用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印字をし、支障がないことを確認することをお奨めします。

◆ **はがき用紙**

［使用できない用紙］

・ 連量が 135Kg 以上の厚い用紙
・ ミシン目の入れ方が「ミシン目の入れ方」記載以外のミシン目を入れた用紙
・ 湿っている用紙や濡れている用紙
・ 一度印字した用紙（裏紙等）
・ 貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などがついている用紙
・ 印字領域内にとじ穴がある用紙
・ 反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
・ カールしている用紙
・ ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
・ ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
・ 裁断部のバリが大きい用紙
・ 紙粉の多い用紙

［使用できない用紙を使用したとき］

・ 連量が 135Kg 以上の厚い用紙を使用すると給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、給紙ローラーがすべってしまうことにより、ローラーが磨耗し、本プリンターに適している用紙まで給紙できなくなります。
・ 貼りあわせた用紙や、糊のついている用紙に印字すると糊の成分等が装置内部に付着し、印字不良や装置故障の原因となることがあります。
・ 印字領域内にとじ穴やミシン目がある用紙を使用すると印字ヘッドピンが折れ装置故障の原因となります。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

◆ タック用紙

［使用できない用紙］

・ 用紙(ラベル＋台紙)の厚さ 0.2mm 以上の厚いラベル紙
・ 台紙の厚さ 0.1mm 以上の厚いラベル紙
・ ラベルの厚さ 0.1mm 以上の厚いラベル紙
・ 湿っている用紙や濡れている用紙
・ 一度印字した用紙
・ 貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などがラベルからはみ出してついている用紙
・ 印字領域内にとじ穴がある用紙
・ 反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
・ カールしている用紙
・ ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
・ ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
・ 裁断部のバリが大きい用紙
・ 紙粉の多い用紙
・ ラベルの貼り付け強度の弱い用紙（「ラベルの貼り付け強度」参照）

［使用できない用紙を使用したとき］

・ 用紙の厚さ 0.2mm 以上の厚いラベル紙を使用すると給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、ラベルが台紙から剥がれやすくなり、用紙搬送ローラーへの巻きつきや、装置内部への貼りつきにより装置故障の原因となります。
・ ラベルの貼り付け強度の弱い用紙を使用すると、ラベルが台紙から剥がれやすくなり、用紙搬送ローラーへの巻きつきや、装置内部への貼りつきにより装置故障の原因となります。
・ 一度印字した用紙(裏紙)を使用すると用紙搬送ローラーなどへの用紙巻きつきなどの不具合が発生する場合があります。
・ 印字領域内にとじ穴がある用紙を使用すると印字ヘッドピンが折れ装置故障の原因となります。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

4.1.3 単票普通紙

［使用できない用紙］

・ 連量が 45kg 未満の薄い用紙(複数つづりの構成用紙は除きます)
・ 連量が 135kg 以上の厚い用紙
・ 全体の用紙厚さが 0.65mm 以上の厚い用紙
・ 用紙のとじ方法が横のりとじの複写用紙
・ 湿っている用紙や濡れている用紙
・ 一度印字した用紙（裏紙等）
・ 貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などがついている用紙
・ 印字領域内にとじ穴がある用紙
・ 反り（カール)、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
・ ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
・ ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
・ 裁断部のバリが大きい用紙
・ 紙粉の多い用紙

［使用できない用紙を使用したとき］

・ 連量が 135kg 以上の厚い用紙や全体の用紙厚さが 0.65mm 以上の用紙を使用すると、給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、給紙ローラーがすべってしまうことによりローラーが磨耗し、本プリンターに適している用紙までも給紙できなくなり、装置故障の原因となります。
・ 用紙のとじ方法が横のりとじの複写用紙を使用すると斜行印字が発生することがあります。
・ 連量が 45kg 未満の薄い用紙や湿っている用紙などに印字した場合は、紙詰まりやシワなどが発生しやすくなります。
・ 一度印字した用紙(裏紙)を使用すると用紙搬送ローラーなどへの用紙巻きつきなどの不具合が発生する場合があります。
・ 貼りあわせた用紙や、糊のついている用紙に印字すると糊の成分等が装置内部に付着し、印字不良や装置故障の原因となることがあります。
・ 印字領域内にとじ穴やミシン目がある用紙を使用すると印字ヘッドピンが折れ装置故障の原因となります。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

4.1.4　単票特殊紙

［使用できる用紙］

本プリンターでは、郵政はがき（公社製はがき/官製はがき）、タック紙および宅配伝票等の特殊単票用紙を使用することができます。
詳細は、「はがき用紙」、「タック用紙」を参照願います。
特殊単票用紙の印字品質は、普通紙より劣ることがありますので、用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印字をし、支障がないことを確認することをお勧めします。

◆ はがき

［使用できない用紙］

・ 郵政はがき（公社製はがき/官製はがき）でないもの
・ 折り目をつけた往復はがき
・ 湿っている用紙や濡れている用紙
・ 一度印字した用紙（裏紙等）
・ 貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などがついている用紙
・ 印字領域内にとじ穴がある用紙
・ 反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
・ カールしている用紙
・ ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
・ ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
・ 裁断部のバリが大きい用紙
・ 紙粉の多い用紙

［使用できない用紙を使用したとき］

・ 郵政はがき（公社製はがき/官製はがき）以外を使用すると給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、給紙ローラーがすべってしまうことにより、ローラーが磨耗し、本プリンターに適している用紙まで給紙できなくなります。
・ 折り目をつけた往復はがきを使用すると用紙吸入不良や斜行印字が発生します。
・ 一度印字した用紙(裏紙)を使用すると用紙搬送ローラーなどへの用紙巻きつきなどの不具合が発生する場合があります。
・ 貼りあわせた用紙や、糊のついている用紙に印字すると糊の成分等が装置内部に付着し、印字不良や装置故障の原因となることがあります。
・ 印字領域内にとじ穴やミシン目がある用紙を使用すると印字ヘッドピンが折れ装置故障の原因となります。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

◆ タック用紙

［使用できない用紙］

・ 用紙(ラベル＋台紙)の厚さ 0.2mm 以上の厚いラベル紙
・ 台紙の厚さ 0.1mm 以上の厚いラベル紙
・ ラベルの厚さ 0.1mm 以上の厚いラベル紙
・ 湿っている用紙や濡れている用紙
・ 一度印字した用紙
・ 貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などがラベルからはみ出してついている用紙
・ 印字領域内にとじ穴がある用紙
・ 反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
・ カールしている用紙
・ ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
・ ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
・ 裁断部のバリが大きい用紙
・ 紙粉の多い用紙
・ ラベルの貼り付け強度の弱い用紙（「ラベルの貼り付け強度」参照）

［使用できない用紙を使用したとき］

・ 用紙の厚さ 0.2mm 以上の厚いラベル紙を使用すると給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、ラベルが台紙から剥がれやすくなり、用紙搬送ローラーへの巻きつきや、装置内部への貼りつきにより装置故障の原因となります。
・ ラベルの貼り付け強度の弱い用紙を使用すると、ラベルが台紙から剥がれやすくなり、用紙搬送ローラーへの巻きつきや、装置内部への貼りつきにより装置故障の原因となります。
・ 一度印字した用紙(裏紙)を使用すると用紙搬送ローラーなどへの用紙巻きつきなどの不具合が発生する場合があります。
・ 印字領域内にとじ穴やミシン目がある用紙を使用すると印字ヘッドピンが折れ装置故障の原因となります。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

◆ 封筒

［使用できない用紙］

・ フラップなどがのり付け加工された用紙
・ 窓付き封筒
・ 二重封筒
・ 湿っている用紙や濡れている用紙
・ 一度印字した用紙
・ 貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などがついている用紙
・ 反り（カール）、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
・ ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
・ ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
・ 裁断部のバリが大きい用紙
・ 紙粉の多い用紙

［使用できない用紙を使用したとき］

・ 窓付きの用紙を使用すると給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、給紙ローラーがすべってしまうことによりローラーが磨耗し、本プリンターに適している用紙までも給紙できなくなり、装置故障の原因となります。
・ 貼りあわせた用紙や、糊のついている用紙に印字すると糊の成分等が装置内部に付着し、印字不良や装置故障の原因となることがあります。

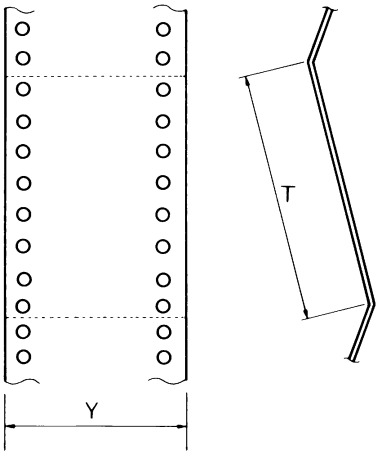
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

4.2 連続帳票用紙

このプリンターで使用できる連続帳票用紙は、次のとおりです。

◆ 用紙の寸法

連続帳票用紙の寸法を下図に示します。



単位:mm

記号	寸法
Y （用紙幅）	101.6～406.7 (4～16 インチ)
T （折り畳み長さ）	101.6 以上 (4 インチ以上)

◆ 用紙の構成枚数

オリジナルを含む用紙の構成枚数と用紙の厚さ（連量）の組合わせは、下表のとおりです。下表以外の用紙の組み合わせでは、用紙送り精度の乱れなどがより発生しやすくなります。

用紙の構成枚数

用紙種類	枚数	連帳（kg）	備考
一枚用紙	1P	45,55,70	
ノンカーボン紙	2P 3P 4P 5P 6P 7P 8P	34,43,55,(70) 34,43,(55,70) 34,(43,55,70) 34,(43,55) 34,(43,55) 34,(43,55) 34,(43,55)	（　）内の連量の用紙は、複数つづりの一番下の用紙のみ使用可能です。
裏カーボン紙	2P 3P 4P 5P 6P 7P 8P	34,45,55,(70) 34,45,(55,70) 34,(45,55,70) 34,(45,55) 34,(45,55) 34,(45,55) 34,(45,55)	
中カーボン紙	2P 3P 4P	30,40,45,(55,70) 30,40,(45,55) 30,40,(45,55)	

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

連量 70kg を超える用紙については、はがき用紙を参照してください。（「4.2.2 はがき用紙（前トラクター）」参照）

注 1) 連量とは、四六判(788×1091mm）の用紙 1000 枚の重量を kg で示した値です。

注 2) ノンカーボン紙および裏カーボン紙の連量は、用紙メーカーによって多少異なる場合があります。その場合、表の数値に近いものを選んでください。なお、裏カーボン紙は、多湿環境で使用しないでください。

注 3) 中カーボン紙は、間に挿入されるカーボン紙を用紙 1 枚に相当するものとして数え、複写枚数は 4P までです。（後トラクターは 3P までです。）
中カーボン紙に使用するカーボン紙の厚さは、0.03mm 以下としてください。

注 4) 用紙の種類および保管状況により、印字品質に差が出る場合があります。不具合が発生する用紙については、その度合いが容認できるものであるかどうか判断の上ご使用ください。

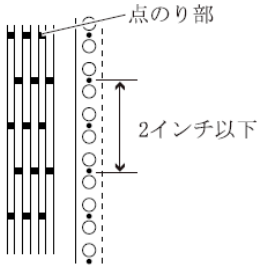
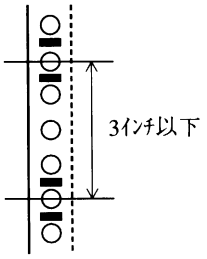
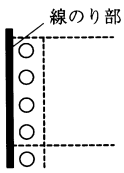
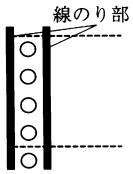
注 5) 全体の用紙厚さは、0.57mm 以下にしてください。

注 6) とじられた用紙の大きさは、各層とも互いに同一になるようにしてください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

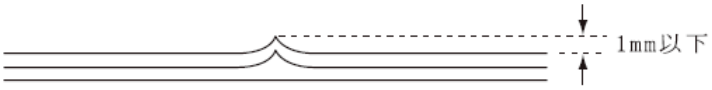
◆ 用紙のとじかた

連続帳票用紙の重ね合わせのとじ方は、「点のりとじ」にしてください。のり付け方法にはいろいろありますが、折り曲げやすいように点のりで、各層間で交互の位置にのり付けする方法をおすすめします。

綴じ方法			適用する用紙枚数	備考
点のりとじ			8 枚まで	本プリンターに最も適したとじ方です。
ダブルギャザー			8 枚まで	用紙枚数が多くなるほど、用紙層ズレが出やすくなります。
線のりとじ	一列	二列	8 枚まで	用紙のしなやかさが失われ堅くなってしまうので、用紙ジャム等が出やすくなります。
				

注 1) 上記説明図では帳票の片側のみ示していますが、実際には両側をのり付けしてください。

注 2) 完成した用紙の折畳み部分を平らに伸ばしたときのふくらみは、下図に示すように 1mm 以下になるようにしてください。



注 3) プリンター故障の原因になるので、金属ホチキスとじは使用しないでください。

注 4) 帳票の用紙送り穴の層間でのズレは、0.4mm 以下のものを使用してください。

注 5) 用紙綴じ部でリボンがズレて印字の上下が欠ける場合は、機能設定【その他の設定】の『連帳改行時リボン保護制御』を「有効」にしてください。

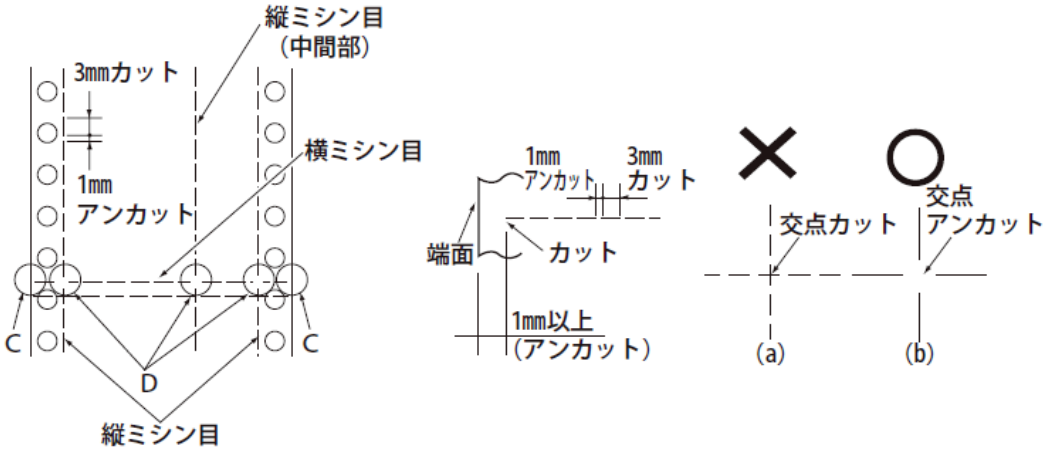
注 6) 赤黒リボン対応装置で、ダブルギャザー綴じの連帳を使用するときは、試し印字を行って、紙引っかけや、印字汚れなどが発生しないこと確認してからご使用ください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

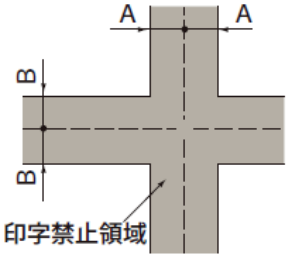
◆ ミシン目の入れ方

ミシン目の入れ方によっては、用紙送りに悪影響を与えることがあります。特に 1 枚用紙の場合、ミシン目を強く入れると使用中にミシン目から破けることがあります。
ミシン目の入れ方は、次のようにしてください。

- 1 枚用紙のミシン目（縦、横ミシン目共）のカット（切る部分）およびアンカット（切らない部分）の比率は、約 3：1 にしてください。
- 横ミシン目の端面アンカット寸法（両端部 C）は、1mm 以上にしてください。
- 縦ミシン目と横ミシン目の交点（D）部は交点アンカット（b）の方法にしてください。交点カット（a）は、行わないでください。
- 複写用紙についても同様の注意が必要です。あらかじめ確認の上、使用してください。



注 1) ミシン目上に印字すると、用紙にキズがついたりプリンターの故障となることがありますので、下の図に示す斜線部には印字しないでください。



単位 mm

記号	A	B
寸法	3以上	3以上

注 2) 印字を伴わない印字ヘッドの移動の際にも悪影響が発生しますので紙面全体に上記のミシン目の入れ方を適用してください。

注 3) 縦ミシン目と横ミシン目の交点がカットされていない（交点アンカット（b））ときは、印字禁止領域の制限はありません。

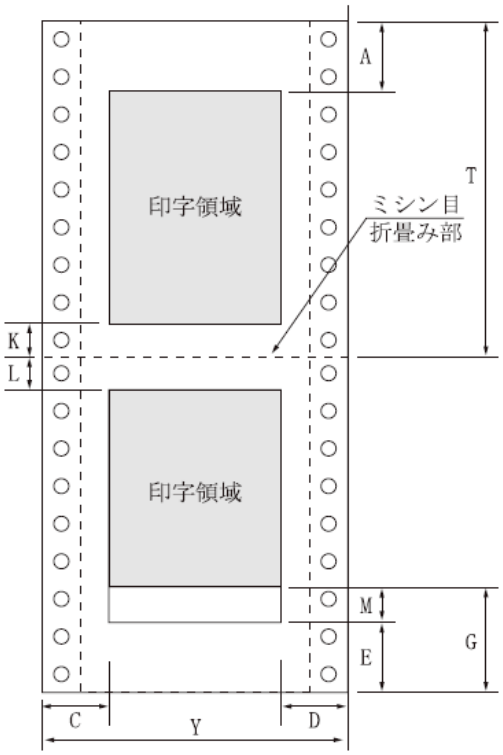
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

4.2.1　一般用紙（前・後トラクター）

連続帳票用紙の印字領域を下図に示します。

◆ 用紙サイズ

連続帳票用紙の印字領域を下図に示します。



記号	項目	寸法（mm）	
		前 トラクター	後 トラクター
A	上端余白	4.2 以上	
C	横打ち出し	11.43 以上 (注 1)	
D	最終印字	(注 2)	
E	下端余白	約 20	
G	PE 検出 (注 3,4)	4.2	
		約 101	約 157
K	下端余白	4.2 以上	
L	上端余白	4.2 以上	
M	オーバーライド印字	(注 5)	
T	用紙長さ	101.6 (4 インチ以上)	
Y	用紙幅	101.6 ～ 406.4 (4～16 インチ)	

注 1) C 値は用紙幅 381.0mm（15 インチ）以下の場合です。406.4mm（16 インチ）の場合は、14～30mm となります。

注 2) D 値については用紙幅と印字桁数によりますが、最小 11.43mm とします。

注 3) E 検出位置は、機能設定【余白量設定】の『前トラクタ下端余白量』、『後トラクタ下端余白量』によりそれぞれ変更できます。初期設定は 4.2mm です。この設定を変更すると、トラクターの位置（前トラクター約 101mm、後トラクター約 157mm）で PE 検知を行うようになります。
トラクターから外れた後の改行がうまく行かない場合や、逆改行を行う場合は、トラクターの位置で PE を検知するように設定変更してください。

注 4) G 値領域への印字は、印字品質が低下する場合があります。

注 5) 左右の印字余白（C,D）が 16mm 未満となる場合は、以下のセットアップ項目により印字カット量を適切な値に変更して使用してください。変更しない場合、左右端から約 14mm の範囲に入る印字データがデータカットされ、データが正しく印字されなくなるので注意してください。
・前トラクター使用時：『前トラクタ印字カット量 L』,『前トラクタ印字カット量 R』
・後トラクター使用時：『後トラクタ印字カット量 L』,『後トラクタ印字カット量 R』

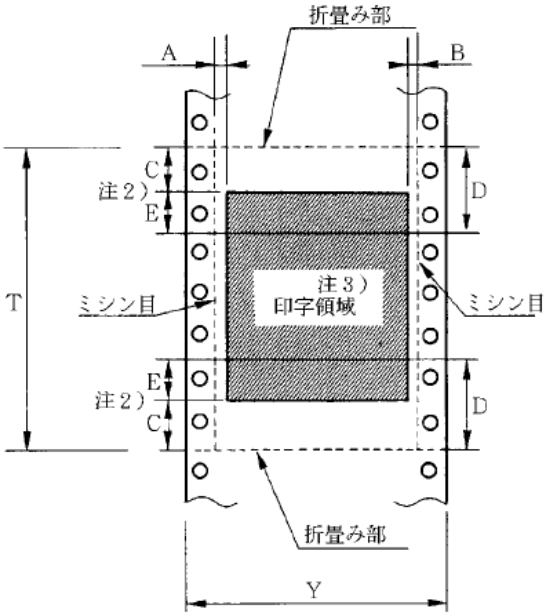
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

4.2.2 はがき用紙（前トラクター）

このプリンターで連続帳票のはがき用紙を使用できます。はがき用紙を使用する場合は、前方（操作パネル側）から用紙をセットします。

◆ 用紙サイズ

連続帳票用紙の印字領域を下図に示します。



記号	項目	寸法（mm）
A	横打ち出し	5.08 (1/5 インチ)以上
B	最終印字	5.08 (1/5 インチ)以上
C	上下端余白 (注 1)	8.46 (1/3 インチ)以上
D	印字品質 低下領域	25.4 (1 インチ) (注 2)
E	印字可能領域	16.94 (2/3 インチ) (注 2)
T	用紙長さ	203.2～355.6 (9～13 インチ)
Y	用紙幅	228.6～330.2 (9～13 インチ)

注 1) C 値内では印字ユニットの横移動はさせないでください。
（用紙のふくらみなどにより、リボン汚れおよび用紙引っ掛けの原因になります。）
注 2) D、E 値内では、多少改行が乱れることがあります。
注 3) 印字領域内にミシン目がある場合、印字はそのミシン目から 5.08mm 以上離してください。ただし、折畳み部以外のミシン目は、カットおよびアンカット比を 2：1 にしてください。

◆ 連量紙

135kg 以下とし、枚数は 1 枚のみとします。

◆ ミシン目の入れ方

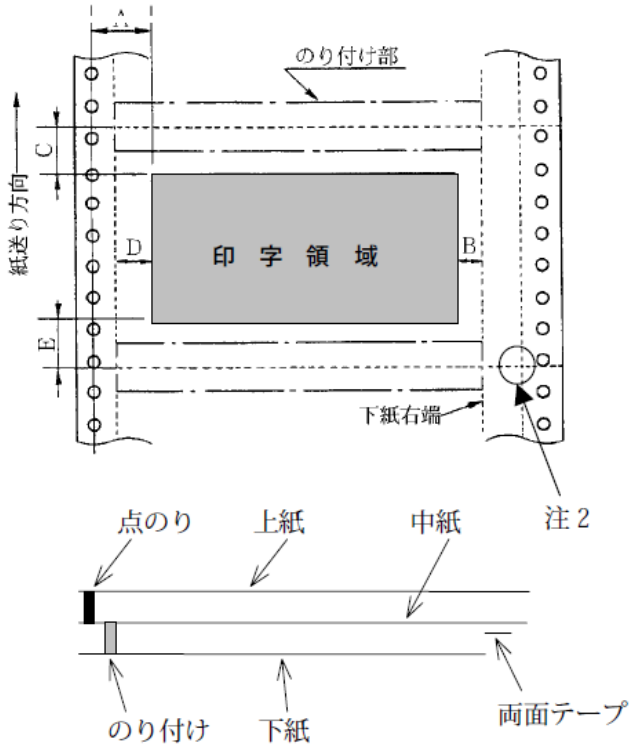
一般連続帳票用紙と同様です。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

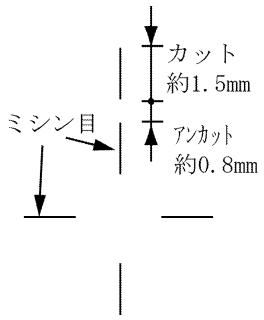
4.2.3　封筒用紙（前・後トラクター）

◆ 用紙サイズ

連続帳票用紙の印字領域を下図に示します。



記号	寸法（mm）
A	19.0 (3/4 インチ)以上
B	1.0 (1/25 インチ)以上
C	8.46 (1/3 インチ)以上
D	5.08 (1/5 インチ)
E	21.7 (5/6 インチ)



注 1) 改行精度の保証範囲は、25.4mm 以上です。
注 2) ミシン目の寸法は、右図をおすすめします。
（ミシン目の強い場合は、破れやすくなります。）
縦ミシン目と横ミシン目の交点部は交点アンカットの方法にしてください。
（「ミシン目の入れ方」参照）
注 3) のり付けの幅は、4.23mm（1/6 インチ）以下とします。
注 4) のり付けによる厚み増加は、0.1mm 以下とします。
注 5) 穴ズレは、0.3mm 以下とします。

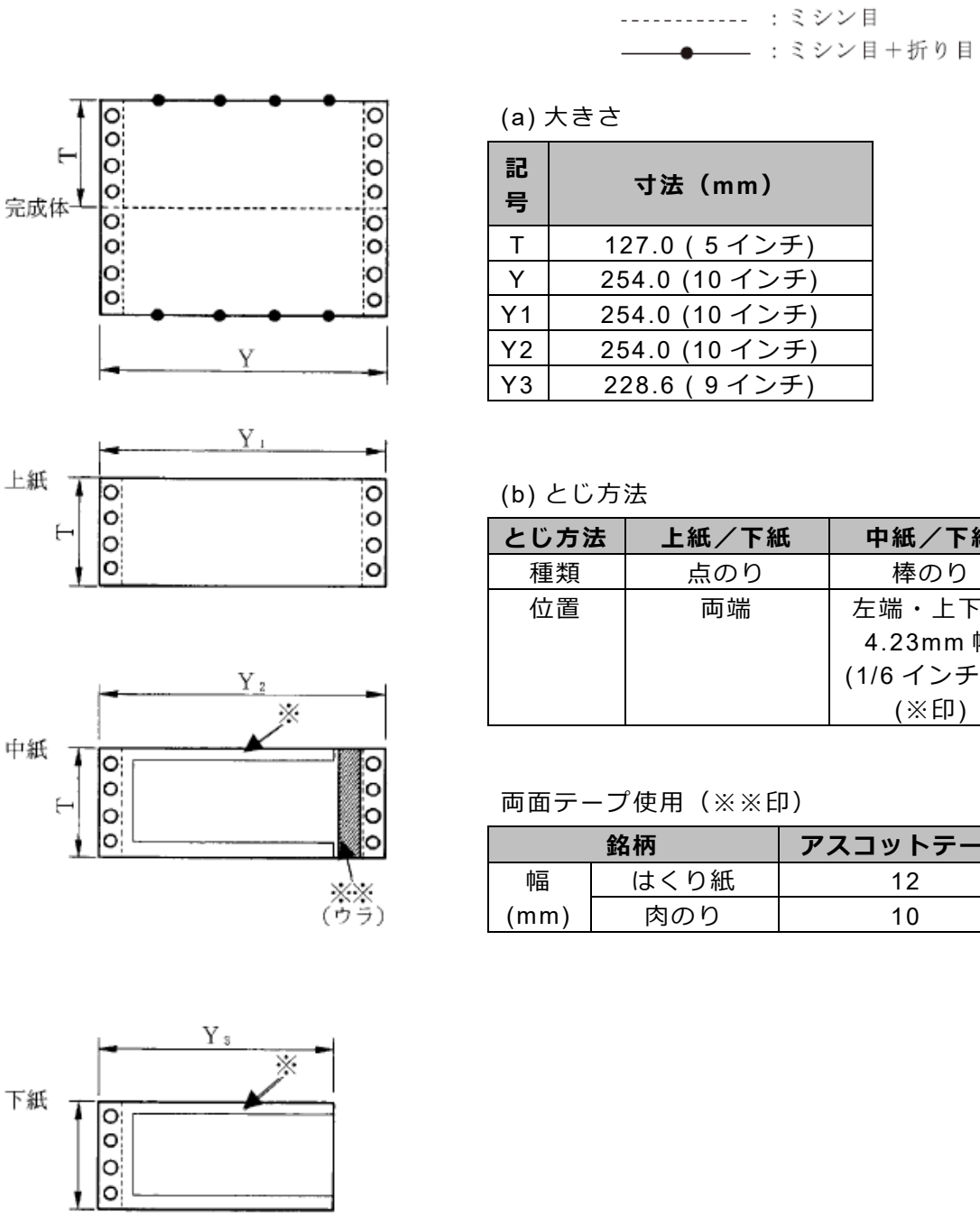
◆ 紙質構成および鎌量

連続帳票用紙の印字領域を下図に示します。

	上紙	中紙	下紙
紙質	裏カーボン紙	ノンカーボン紙	ノンカーボン紙
連帳（kg）	33.5	70	70

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

◆ 形状および構造



(a) 大きさ

記号	寸法（mm）
T	127.0 (5 インチ)
Y	254.0 (10 インチ)
Y1	254.0 (10 インチ)
Y2	254.0 (10 インチ)
Y3	228.6 (9 インチ)

(b) とじ方法

とじ方法	上紙／下紙	中紙／下紙
種類	点のり	棒のり
位置	両端	左端・上下端 4.23mm 幅 (1/6 インチ幅) (※印)

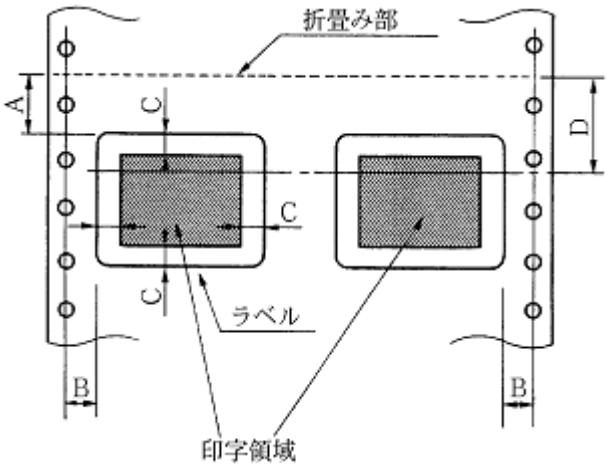
両面テープ使用（※※印）

銘柄		アスコットテープ
幅 (mm)	はくり紙	12
	肉のり	10

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

4.2.4　タック用紙（前・後トラクター）

◆ 用紙サイズ



記号	寸法（mm）
A	2.54 (1/10 インチ)以上
B	6.35 (1/4 インチ)以上
C	2.54 (1/10 インチ)以上
D	25.4 (1 インチ) (注)

用紙サイズ（台紙）は、一般連続帳票用紙と同じです。

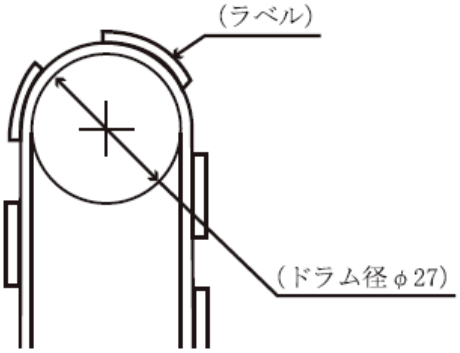
注）D 範囲内での印字領域では、多少改行が乱れる場合があります。
（改行量が 1/6 インチ以上の場合は、となり合う印字行の文字同士が重なり合うことは有りません。）

◆ 用紙厚さ

・用紙厚さは、ラベル＋台紙が 0.2mm 以下となるようにしてください。
・台紙の厚さは、0.1mm 以下としてください。
・ラベルの厚さは、0.1mm 以下としてください。

◆ ラベルの貼付け強度

・次の条件で、ラベルが台紙からはがれないものを使用してください。
ラベルのめくれのあるもの、折れ曲がりのあるものは使用しないでください。



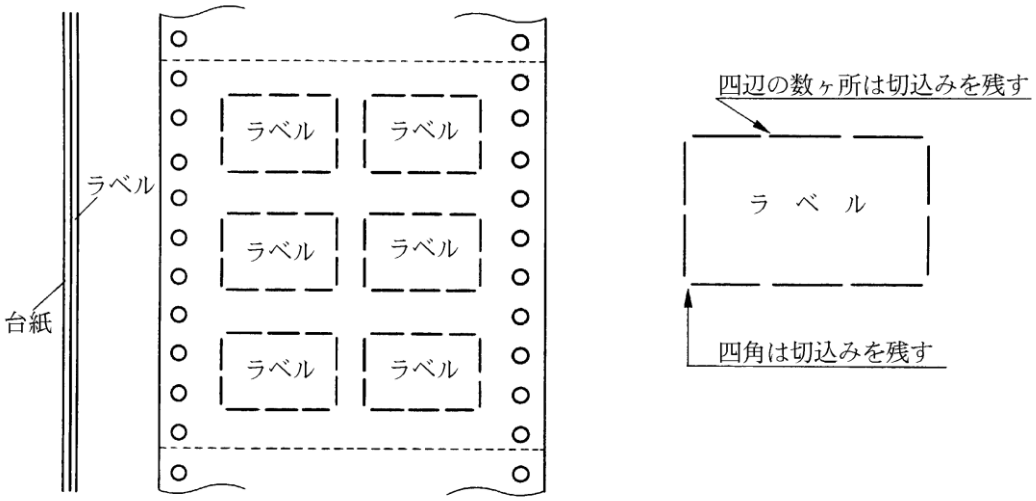
項目	条件
巻付ドラム径	φ27
巻付角度	180°
巻付時間	24 時間
周囲温度	40℃
周囲湿度	30%RH

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

◆ 用紙の形態

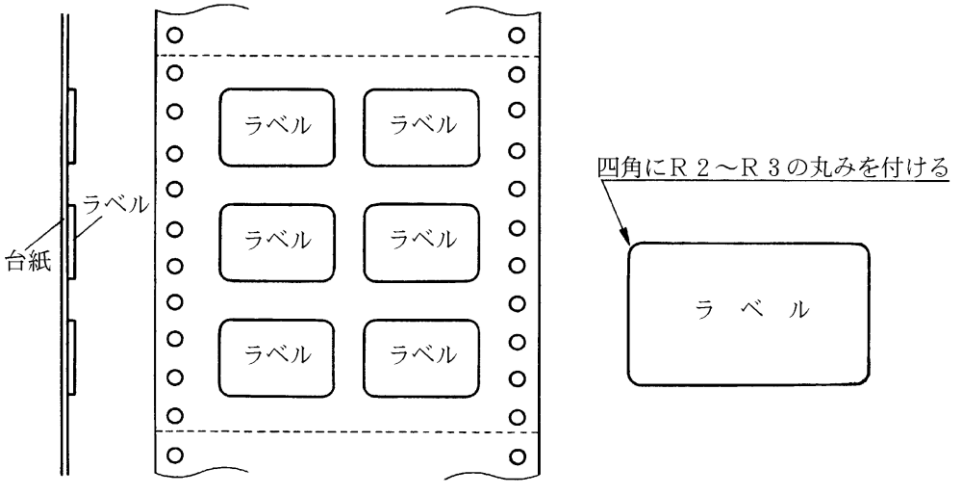
・ラベルのはがれによる用紙送行不能、または印字ヘッドの損傷など、重大なトラブルを防止するために下記用紙形態をおすすめいたします。

1) カストリは行わず、ラベルの四角および他の四辺に切込みを残した用紙。
※ カストリとは、台紙全体に張られた粘着シールをラベルの部分だけを残してはぎ取ることを言います。



※ この形態は、ほぼ完全にラベルのはがれを防止することができ、最もおすすめするものです。できる限りこの形態を使用するようにしてください。

2) カストリを行う場合、必ずラベルの四角に丸みを付ける。



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

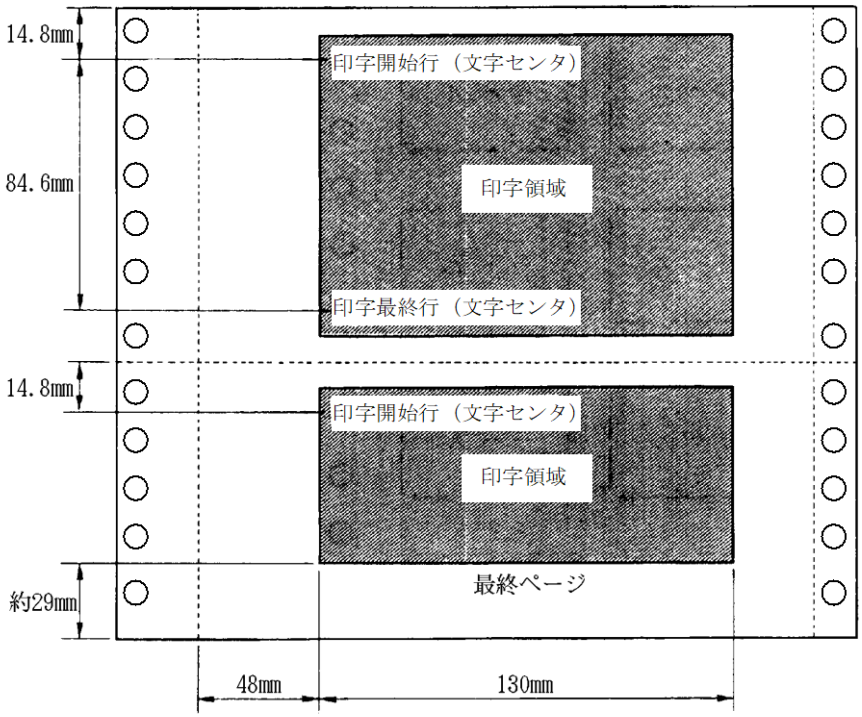
4.2.5　宅配伝票（前トラクター）

ここでは宅配伝票としての代表的な郵便小包ラベル（ゆうパック B、B-2、B-3）について規定します。
他の宅配伝票を使用する場合は、十分確認の上ご使用ください。

◆ 印字領域

連続帳票用紙の印字領域を下図に示します。

郵便小包ラベル



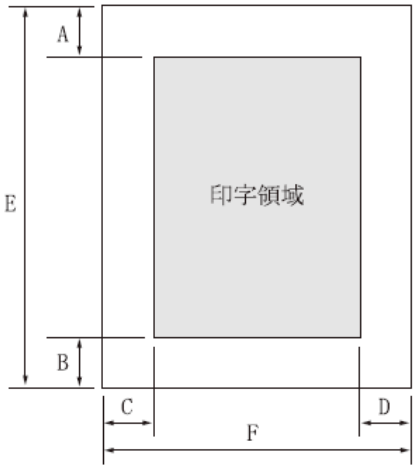
注 1) 印字領域内の用紙段差は、最大 0.15mm 以下としてください。
注 2) 用紙厚段差のある伝票を印字すると、自動用紙厚調整機構(APTC)の故障の原因となりますので、手動紙厚調整に切り替えて使用してください。
注 3) 印字領域外への印字は禁止します。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

4.3　手差しで使用する単票用紙

4.3.1　一般用紙

◆ **用紙の寸法**



記号	項目	寸法（mm）		
		単票セットフリーオフの場合	単票セットフリーオンの場合	
			標準装置	赤黒リボン対応装置
A	上端余白 (注 2)	4.2 以上	4.2 以上	4.2 以上
B	下端余白 (注 2)	4.2 以上	4.2 以上	4.2 以上
C	左端余白	5.08 以上 (注 3, 4)	5.08 (注 4)	5.08
D	右端余白	5.08 以上 (注 3)	5.08 以上	5.08 以上
E	用紙長さ	70～420 (注 5)	70～364	70～364
F	用紙幅	55～420	100～368 (注 6)	100～335.5

注 1) 印字領域以外への印字は禁止します。
注 2) A、B 値は、ドットピッチが 1/180 インチのときの値です。
注 3) B4 横より幅の大きな用紙を使用する場合は、C 値と D 値は同時に実現できません。
注 4) A3 横を使用する場合は、C 値は 33～38.5mm となります。
【余白量設定】の『セットフリー無効時の左端位置』で印字領域を「左寄せ」に設定している場合は、C 値は 23.7～29.2mm となります。
注 5) 単票セットフリーオフの場合は、用紙長さが 90mm 以下の用紙は、セットしにくくなります。
また、前カットシートフィーダーを取り付けたとき、用紙長さは 90～420 mm となります。
注 6) 用紙をセットできる範囲は 368mm です。
この範囲にセットできる用紙をお使いください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

◆ 用紙枚数

用紙種類	枚数	連帳（kg）(注 1)	備考
一枚用紙	1P	45,55,70,90,110,135	
ノンカーボン紙 (注 2)	2P 3P 4P 5P 6P 7P 8P	34,43,55,(70) 34,43,(55,70) 34,(43,55,70) 34,(43,55) 34,(43,55) 34,(43,55) 34,(43,55)	（　）内の連量の用紙は、複数つづりの一番下の用紙のみ使用可能です。
裏カーボン紙 (注 2)	2P 3P 4P 5P 6P 7P 8P	34,44,55,(70) 34,44,(55,70) 34,(44,55,70) 34,(45,55) 34,(45,55) 34,(45,55) 34,(45,55)	

注 1) 連量とは、四六判（788mm×1091mm）の用紙 1000 枚の重量を kg で示します。

注 2) ノンカーボン紙および裏カーボン紙の連量は、メーカーによって多少異なる場合がありますが、その場合は表の数値に近いものを選んでください。

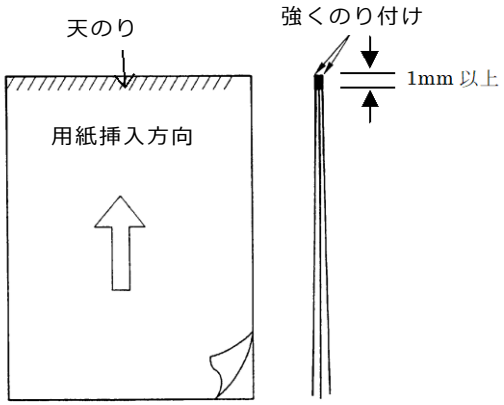
注 3) 中カーボン紙は、単票用紙の場合使用しないでください。

注 4) 単票用紙で用紙の排出方向を手前排出（テーブル側）にしたとき、用紙下端部の角折れが発生する場合には、排出方向を後方排出（スタッカー側）に切り替えてご使用してください。
切り替えるには、操作パネルの〔手前排出｜改行〕スイッチを押して「手前排出」ランプを消灯します（「2.3.2 単票用紙の排出方向を切り替える（手前排出）参照」）。または、機能設定の【装置機能設定】の『手差し排出方向』を「後方排出」に設定します。
（用紙下端部の印字デューティーが高い時に、角折れが発生する場合があります。）

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

4.3.2　用紙のとじ方法

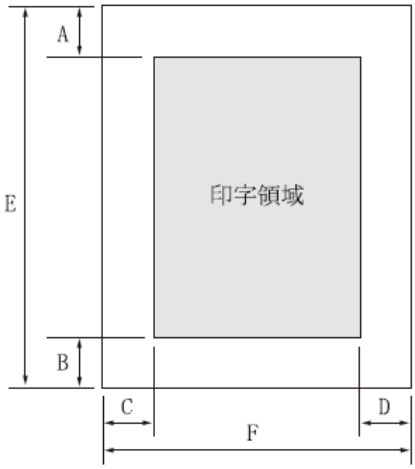
とじ方法は、必ず下図のように天のりとじにしてください。



注 1）　のり付け部が波打ったり硬くなったりしないように、のりの量と種類に注意してください。
注 2）　束のりとじの用紙はとじ力が弱いことから分離したり、のりがはみ出したりしてジャムが発生する可能性がありますので、使用を避けてください。

4.3.3　はがき

◆ 用紙サイズ



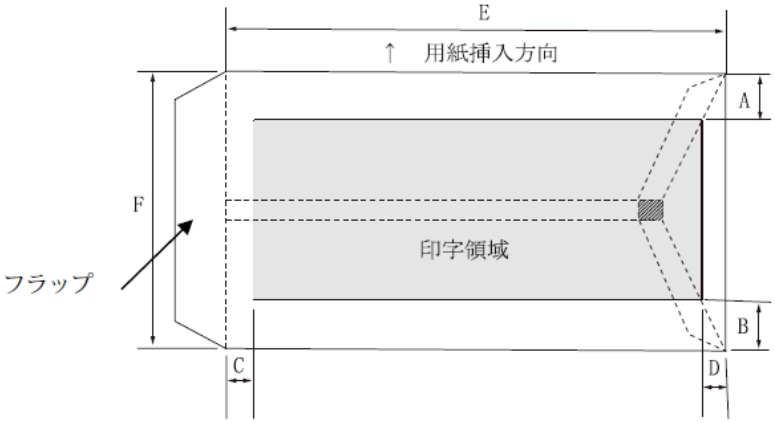
記号	項目	寸法（mm）
A	上端余白	4.2 以上
B	下端余白	4.2 以上
C	左端余白	5.08 以上
D	右端余白	5.08 以上
E	用紙長さ	100，148，200
F	用紙幅	100，148，200

注１）　はがきは、郵政はがき（公社製はがき/官製はがき）を指します。
注 2）　往復はがきは、折り目のないものを使用してください。
私製はがきを使用する場合は、十分に確認を行ってから使用してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

4.3.4　封筒

◆ 用紙サイズ



記号	項目	寸法（mm）
A	上端余白	7.38 以上
B	下端余白	7.38 以上
C	左端余白	12 以上
D	右端余白	12 以上
E	用紙長さ	90～240
F	用紙幅	148～332

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

◆ 封筒サイズおよび坪量

封筒の種類	寸法（mm）		坪量（g/m2）		最大用紙厚（mm）
	E	F	クラフト紙	その他の紙	
長形 2 号	277	119	70,85	70 以上 85 以下	0.48
長形 3 号	235	120	50，60，70，85	55 以上 85 以下	0.48
長形 4 号	205	90			
長形 5 号	185	90			
角形 2 号	332	240	70,85	70 以上 85 以下	0.48
角形 3 号	277	216			
角形 4 号	267	197			
角形 5 号	240	190			
角形 6 号	229	162			
角形 7 号	205	142			
角形 8 号	197	119	50,60,70,85	55 以上 85 以下	0.48
洋形 1 号	176	120	50，60，70，85	70 以上 85 以下	0.46
洋形 2 号	162	114			
洋形 3 号	148	98			
洋形 4 号	235	105			
洋形 5 号	217	95			
洋形 6 号	190	98			
洋形 7 号	165	92			
US10	239	105	81 以下	81 以下	0.46
ジャーマンタイプ	220	111			

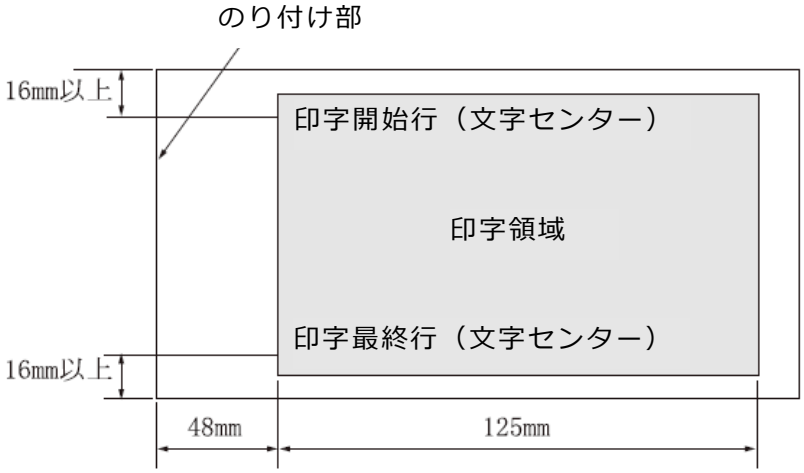
注 1) 印字領域以外への印字を禁止します。
注 2) 封筒印字時は、印字汚れ・かすれなどが発生しやすくなりますので、十分確認の上使用してください。また、自動紙厚調整機構（APTC）の故障の原因となりますので、手動紙厚調整に切り替えて使用してください。（「3.2 用紙厚を調整する」参照）
注 3) 印字領域内の用紙の段差は、最大 0.15mm 以下としてください。
注 4) のり付け部の上およびその周辺 5mm 以内への印字を禁止します。
注 5) フラップ部破線の食込みが封筒肩より 12mm 以上の場合は、破線部の右側で印字してください。
注 6) フラップ部などがのり付け加工された封筒は、使用しないでください。
注 7) 切手およびシールなどを貼付けた封筒は、使用しないでください。
注 8) 斜線部への印字は、リボン汚れが発生し易いのでさけてください。
注 9) 封筒は、単票セットフリーをオフにして印字してください。単票セットフリーをオンで印字すると、封筒のフラップ部(斜めの部分)を用紙端面と判断し、印字開始位置がズレることがあります。
注 10) 封筒のフラップ部（斜めの部分）は第 1 ドットの左側となるように用紙ガイドを移動して使用してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

4.3.5 宅配伝票

ここでは宅配伝票としての代表的な郵便小包ラベル（ゆうパック 普通用 A、C）について規定します。他の宅配伝票を使用する場合は、十分確認の上ご使用ください。

◆ 印字領域



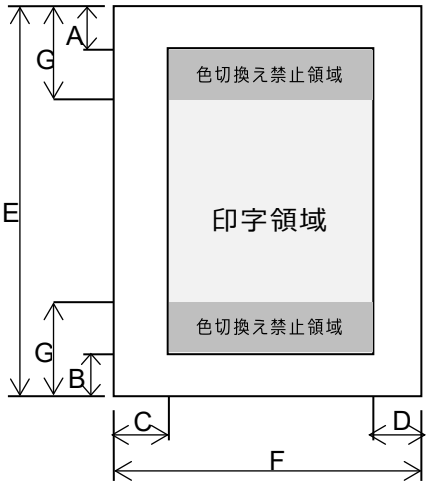
注 1) 印字領域以外の印字は禁止します。
注 2) 用紙厚段差のある伝票を印字すると、自動用紙厚調整機構(APTC)の故障の原因となりますので、手動紙厚調整に切り替えて使用してください。（「3.2 用紙厚を調整する」参照）
注 3) 印字領域内の用紙の段差は、最大 0.15mm 以下としてください。
注 4) 用紙の最大厚さは、ゆうパック伝票（Max 0.6mm）以下としてください。
注 5) 折れ曲がりのある用紙は、斜行、角折れ、および用紙づまりの原因になります。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

4.4　カットシートフィーダー（オプション）で使用する単票用紙

4.4.1　一般用紙

◆ **用紙サイズ**



記号	項目	寸法（mm）			
		標準装置		赤黒リボン対応装置	
		CSF セット フリーオフ	CSF セット フリーオン	CSF セット フリーオフ	CSF セット フリーオン
A	上端余白	4.2 以上	4.2 以上	4.2 以上	4.2 以上
B	下端余白	4.2 以上	4.2 以上	4.2 以上	4.2 以上
C	左端余白	5.08～37.3	5.08 以上	5.08 以上	5.08 以上
D	右端余白	5.08 以上	5.08 以上	5.08 以上	5.08 以上
E	用紙長さ	70～420	100～420	70～420	100～420
F	用紙幅	100～420	100～368	100～420	100～355.8
G	色切替え禁止	-	-	25.4	25.4

注 1) 上記は、前・後カットシートフィーダーに共通の値です。
ただし、後カットシートフィーダーで使用可能な最小用紙長さ（E 値）は、100mm となります。
注 2) 印字領域以外への印字は禁止します。
注 3) A、B 値は、ドットピッチが 1/180 インチのときの値です。
注 4) B4 横より幅の大きな用紙を使用する場合は、C 値と D 値は同時に実現できません。
注 5) A3 横を使用する場合は、C 値は約 37.3mm となります。
機能設定【余白量設定】で『セットフリー無効時の左端位置』（58 ページ）を「左寄せ」に設定している場合は、C 値は約 28mm となります。
注 6) カットシートフィーダーで複写紙を使用する場合、F 値は 182mm 以上のものを使用してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

◆ 用紙枚数

用紙種類	枚数	連帳（kg）(注 1)	備考
一枚用紙	1P	45,55,70,90,135	
ノンカーボン紙 (注 2)	2P 3P 4P 5P	34,43,55,(70) 34,43,(55,70) 34,(43,55,70) 34,(43,55)	（　）内の連量の用紙は、複数つづりの一番下の用紙のみ使用可能です。
裏カーボン紙 (注 2)	2P 3P 4P 5P	34,44,55,(70) 34,44,(55,70) 34,(44,55,70) 34,(45,55)	

注 1) 連量とは、四六判（788mm×1091mm）の用紙 1000 枚の重量を kg で示します。

注 2) ノンカーボン紙、裏カーボン紙の連量は、メーカーによって多少異なる場合がありますが、その場合表の数値に近いものを選んでください。

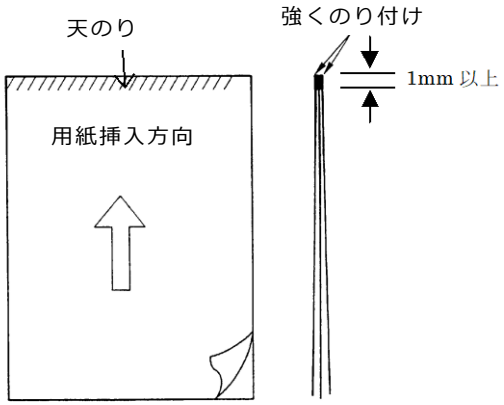
注 3) 中カーボン紙は、単票用紙の場合使用しないでください。

注 4) 単票用紙で用紙の排出方向によっては、用紙下端部の角折れが発生する場合があります。この場合、後カットシートフィーダーの場合は手前排出（単票テーブル側）に、前カットシートフィーダーの場合は後方排出（スタッカー側）に、排出方向を切り替えてご使用ください。（用紙下端部の印字デューティーが高い時に、角折れが発生する場合があります。）
排出方向の切り替えは、操作パネルの〔手前排出｜改行〕スイッチを押す(「手前排出」ランプを点灯させると手前排出になり、消灯させると後方排出になります。)か、機能設定【装置機能設定】の『前 CSF 排出方法』、または『後 CSF 排出方向』を、「手前排出」または「後方排出」に設定します。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

4.4.2　用紙のとじ方法

とじ方法は、必ず下図のように天のりとじにしてください。



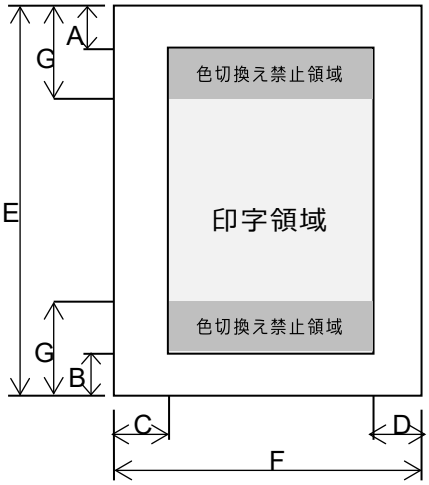
注 1）　のり付け部が波打ったり硬くなったりしないように、のりの量と種類に注意してください。
注 2）　束のりとじの用紙はとじ力が弱いことから分離したり、のりがはみ出したりしてジャムが発生する可能性がありますので、使用を避けてください。

◆ ホッパ容量

一般用紙（55kg、1P）	120 枚
5P（34kg）用紙	25 枚
郵政はがき（公社製はがき/官製はがき）	40 枚

4.4.3　はがき

◆ 用紙サイズ



記号	項目	寸法（mm）
A	上端余白	4.2 以上
B	下端余白	4.2 以上
C	左端余白	5.08 以上
D	右端余白	5.08 以上
E	用紙長さ	100，148，200
F	用紙幅	100，148，200
G	色切替え禁止	25.4

注 1 ）　はがきは、郵政はがき（公社製はがき/官製はがき）を指します。
注 2）　往復はがきは、折り目のないものを使用してください。
　　私製はがきを使用する場合は、十分に確認を行ってから使用してください。
注 3)　色変え禁止（G 値）は、赤黒リボン対応装置のみです。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

4.4.4 封筒

◆ 用紙サイズ

手差しの場合と同様です。”4.3.4 封筒”を参照してください。

◆ 封筒サイズおよび坪量

封筒の種類	寸法（mm）		使用可否（注 1）		坪量（g/m2）		最大用紙厚（mm）
	E	F	前 CSF	後 CSF	クラフト紙	その他の紙	
長形 3 号	235	120	○	○	50,60,70	55 以上 70 以下	0.40
長形 4 号	205	90	○	×			
長形 5 号	185	90	○	×			
角形 6 号	229	162	○	○	70	70 以下	0.40
角形 7 号	205	142	○	○			
角形 8 号	197	119	○	○	50,60,70	70 以下	0.40
洋形 3 号	148	98	○	○	50,60,70	70 以上 81 以下	0.46
洋形 4 号	235	105	○	○			
US10	239	105	○	○	81 以下	81 以下	0.46
ジャーマンタイプ	220	111	○	○			

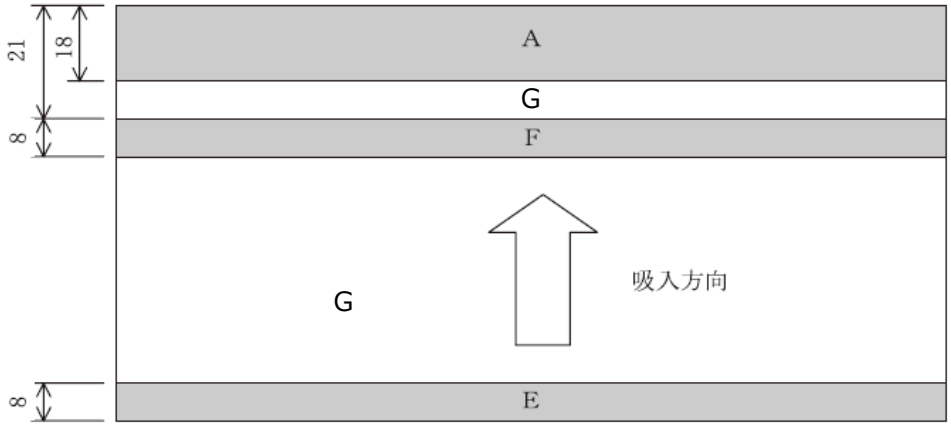
注 1) 「前 CSF」は「前カットシートフィーダー」、「後 CSF」は「後カットシートフィーダー」を表します。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

4.5　プレプリント用紙を使用するとき

あらかじめ文字や枠などを印字してある用紙（プレプリント用紙）を作成したり、使用したりするときは、次の点に注意してください。

◆ 単票セットフリー オン時の手差し単票のプレプリント禁止領域

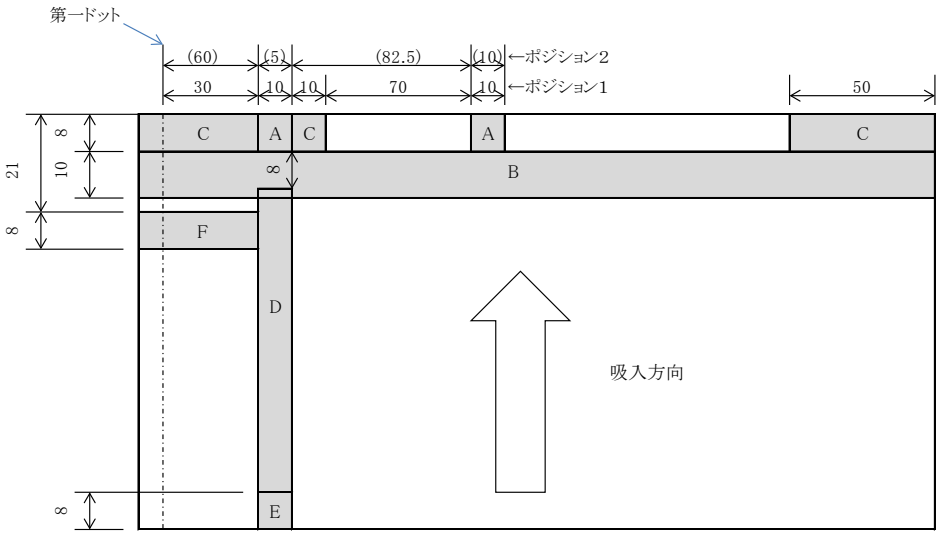


(単位：mm)

注 1)　斜行補正機能をご使用の際は、全面にわたり、光反射率 60%以下の色(例えば黒)は使用しないでください。
注 2)　A、E、F 部は光反射率 60%以下の色(例えば黒)は使用しないでください。
注 3)　G 部に反射率 60%以下の色(例えば黒)を使用する場合は、「プレプリント禁止領域に印字するとき」に示す幅の条件に従ってください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

◆ 単票セットフリーオフ時の手差し単票、カットシートフィーダーで使用する単票、連帳の場合のプレプリント禁止領域



(単位：mm)

注 1) A、B、C、E、F 部は光反射率 60%以下の色(例えば黒)は使用しないでください。

注 2) D 部に反射率 60%以下の色(例えば黒)を使用する場合は、「プレプリント禁止領域に印字するとき」に示す幅の条件に従ってください。

注 3) B、C 部は機能設定【その他の設定】の『用紙吸入時の斜行検出』と『用紙外印字防止』を無効にすると、プレプリントの制約はなくなります。

注 4) F 部は機能設定【装置機能設定】の『オートローディング』を「無効」にすると、プレプリントの制約はなくなります。また、連帳使用時は適用外です。

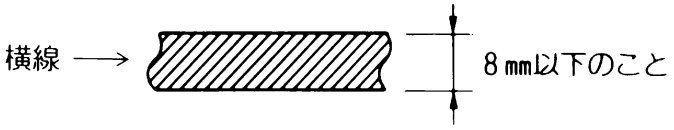
注 5) ポジション 1、2 は機能設定【その他の設定】の『前用紙吸入時のキャリア位置』と『後用紙吸入時のキャリア位置』で設定できます。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

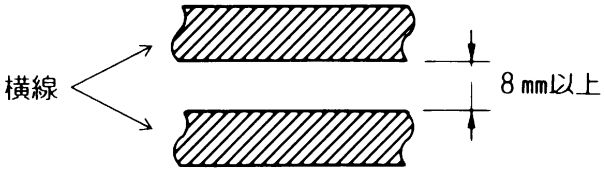
◆ プレプリント禁止領域に印字するとき

やむを得ず D 部内に印字するときは、次のようにしてください。

(1) 斜線内に印字する横線の太さは、下図に示すように 8mm 以下にしてください。



(2) (1)の横線が連続するときは、下図に示すようにすきまを 8mm 以上あけてください。



注) 線の太さが 0.5mm 以下のときは、すきまが 4mm 以上でも可能です。

(3) 斜線内に縦線を入れるときは、線の太さを 0.5mm 以下とし、斜線内に 1 本までとしてください。

やむを得ず A、B、C、E、F 部内に印字するときは、線の太さを 0.5mm 以下とし、すきまを 4mm 以上あけてください。

4.6 とじ穴の開けかた

印字領域内にとじ穴をあけないでください。やむを得ず印字領域内にとじ穴をあけるときは、とじ穴部と印字が重ならないようにしてください。

また下記の制限事項があります。

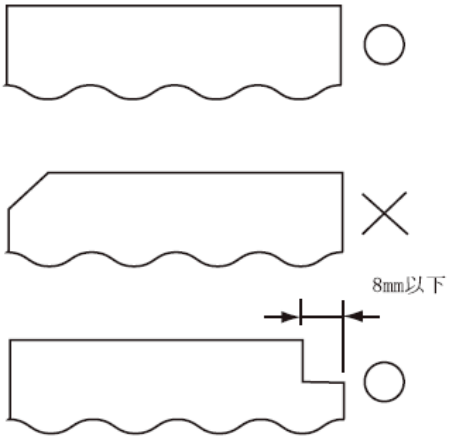
- 綴じ穴部付近への印字は、穴の周囲 5.08mm を避けて印字してください。
- 綴じ穴の径は 8mm 以下 にしてください。
  長円穴の場合は長径側を 8mm 以下 にしてください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

4.7　用紙の形状について

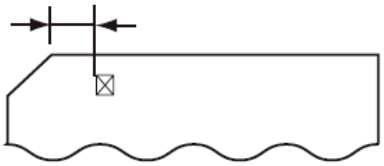
印字領域内にとじ穴をあけないでください。やむを得ず印字領域内にとじ穴をあけるときは、とじ穴部と印字が重ならないようにしてください。

◆ 単票セットフリー オン時の用紙上端について



このような用紙はセット位置によって打ち出し位置がズレることがありますので、単票セットフリーオフで使用してください。
用紙右上部の切り欠きは 8mm 以下としてください。

◆ 単票セットフリー オフ時の用紙上端について



左端部の面取は第 1 ドットの左側となるように用紙ガイドを移動して使用してください。

用紙上端の切り欠きや面取が 8mm を越える場合は、機能設定【その他の設定】の『用紙吸入時の斜行検出』を無効にして、使用してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

4.8　取り扱い上のご注意

◆ 用紙の保管および取扱いについて

用紙を保管したり、取り扱ったりするときは、変形、破損が生じないように注意してください。湿気の多い所での保管は、絶対に避けてください。

◆ 特殊用紙について

・この章に記述した仕様と異なる特殊用紙を使用するときは、用紙づまりなどのトラブルを予防するため、サンプルを作成して十分なためし印字を行い、使えることを確認してから使用してください。
・再生紙の種類によっては、インクリボンの寿命が短くなったり、用紙づまりが起きたりすることがあります。このときは、使用を中止し、紙質の良いものに変更してください。
・用紙厚段差のある用紙に印字すると、自動紙厚調整機構(APTC)の故障の原因となりますので、手動紙厚調整に切り替えて、使用してください(「3.2 用紙厚を調整する」参照) 。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

5 保守と点検

この章では、リボンカセットの交換、用紙づまりやプリンターがうまく動かないときの処置、テスト印字のしかた、清掃のしかた、輸送のしかたおよびアフターサービスについて説明します。

5.1 リボンカセットを交換する

◆ リボンカセットの種類

このプリンターの純正リボンカセットは、下表のとおりです。

商品名	サプライ番号	備考
リボンカセット SDM-11 黒	0327110	黒色インクリボンが入ったリボンカセットです。
サブリボンカセット SDM-11 黒	3127120	つめかえ用インクリボンです。
リボンカセット SDM-11 カラー	0327130	赤黒の２色インクリボンが入ったリボンカセットです。 カラー印字対応機で使用できます。

上記製品のご購入については、プリンターをご購入頂いた販売店にお問い合わせください。
注) リボンカセット(SDM-11 カラー)のサブカセットはありません。

⚠ 注意	誤　飲　インクリボンをお子様が口に入れたりなめたりしないようにしてください。 健康を損なう原因となることがあります。

＜お願い＞

- リボンカセットは、純正品の使用をお奨めします。
  純正品は製品とともに開発し、製品の性能および品質を発揮する最適な仕様となっております。
- インクリボンがたるんだ状態で使用しないでください。たるんだまま印字を開始すると、インクリボンがからまったり、巻きとりがロックすることがあります。
- 使用済みのリボンカセットは、不燃物として地方自治体の条例または規則に従って処理してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

◆ 交換のしかた

リボンカセットの交換は、次の手順で行います。

1 印字ヘッドをリボン交換位置に移動する

トップカバーを閉じて、電源を投入すると、印字ヘッドがリボン交換位置に移動します。

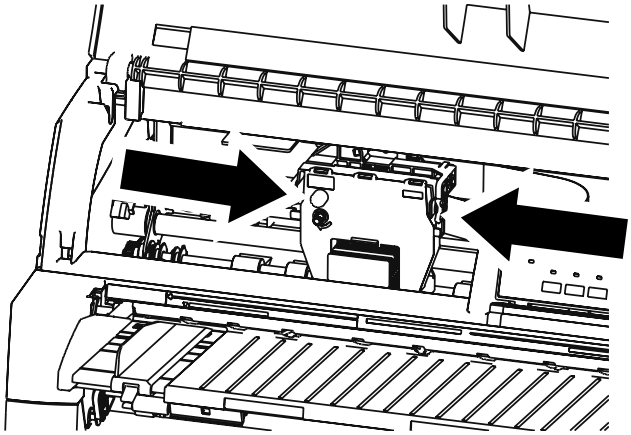
⚠ 注意	
高　温	印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。 温度が下がったことを確かめてから、リボンを交換してください。 やけどの原因となることがあります。

2 電源を切る

（電源スイッチが（○）側に倒れた状態になります。）

3 トップカバーを開ける

4 リボンカセットの両脇を押して、プリンターから取り外す



5 新しいリボンカセットを取り付ける

新しいリボンカセットの取り付けは、「1.7 リボンカセットを取り付ける」を参照してください。

◆ サブカセットの交換のしかた

サブカセットの交換方法は、サブカセットに添付してある交換要領書を参照してください。

・ サブカセットは 1 つのリボンカセットに対して 4 回まで交換可能です。
　サブカセットを 4 回交換したら、リボンカセットを交換してください。

注) リボンカセット(SDM-11 カラー)のサブカセットはありません。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

5.2　用紙づまりのとき

5.2.1　連続帳票用紙がつまったとき

用紙づまりを起こしたときは、用紙を無理に引っ張らず、ゆっくり取り除きます。
まず、はじめに取り出しやすいように連続帳票用紙をミシン目でカットします。
その後、用紙づまりの状態に合わせて次の手順で用紙を取り除きます。

◆ 前トラクターから吸入した用紙がつまったとき

1　オフライン状態にする

〔オンライン〕スイッチを押して、プリンターをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。
動作が停止し、印字ヘッドとプラテンとのすきまが最大となります。

⚠ 注意	高　温	印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンター内部が高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。 やけどの原因となることがあります。

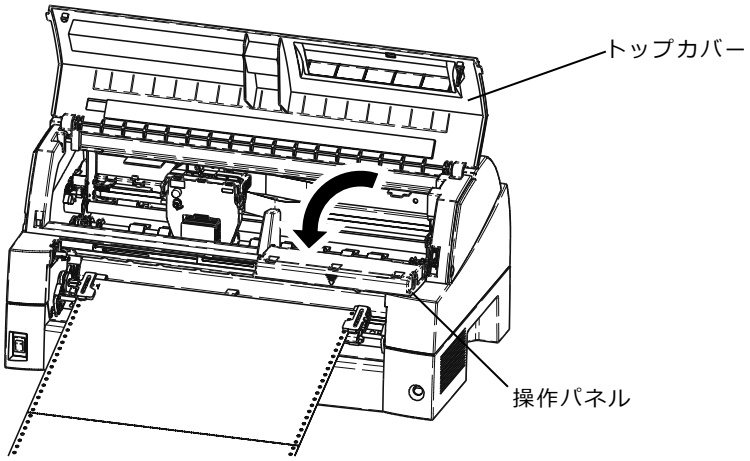
2　プリンターの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

3　トップカバーを開く

トップカバーを開き、装置内部の用紙づまりの状況を確認します。

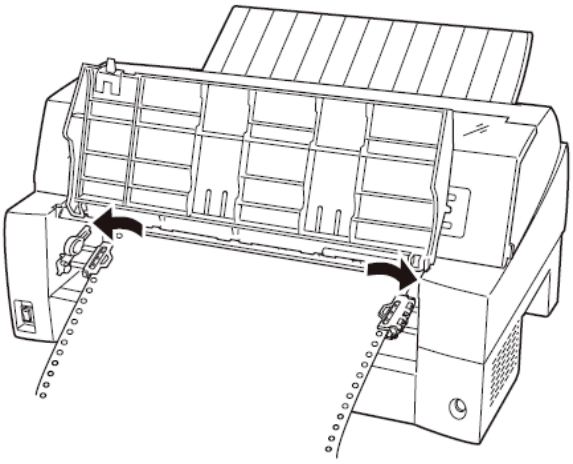
4　必要に応じて操作パネルを手前に倒す



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

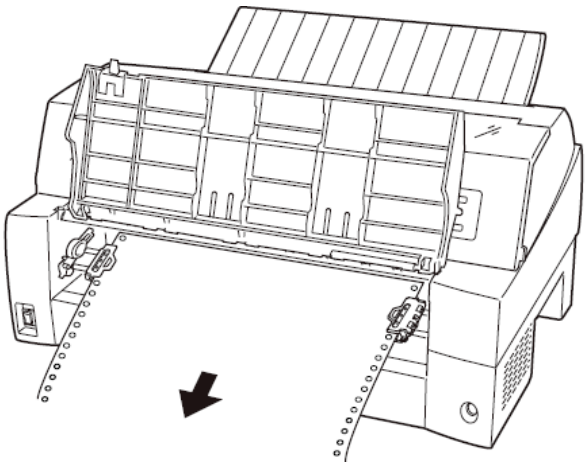
5 トラクターの左右の用紙押さえを開き、トラクターから用紙を外す

単票テーブルを上側に開き、用紙送りトラクターの左右の用紙押さえを開いて、トラクターから用紙を外します。



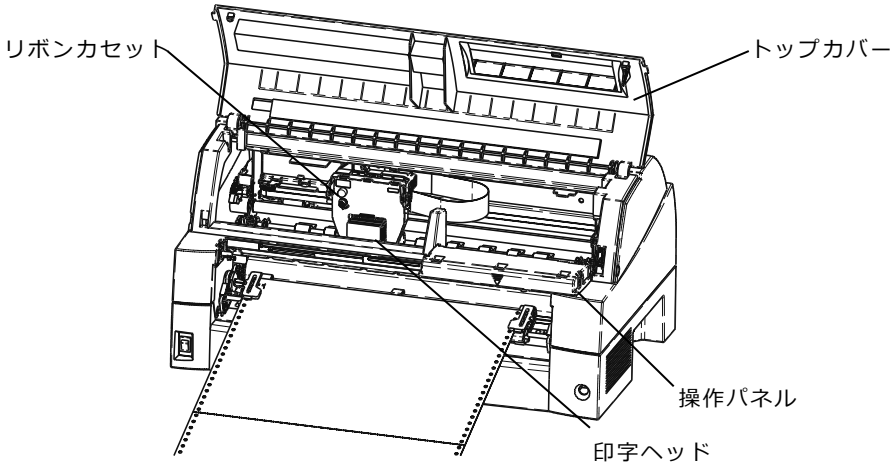
6 用紙を取り除く

プリンターの前もしくは後から出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

用紙が印字部につまってうまく取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適当な位置に手で動かし（下図参照）、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取り外してから用紙を取り除きます（取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください）。



7　操作パネルを手前に倒した場合は元に戻し、トップカバーを閉じる

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

◆ 後トラクターから吸入した用紙がつまったとき

1 オフライン状態にする

〔オンライン〕スイッチを押して、プリンターをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

⚠ 注意	
高　温	印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンター内部が高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。 やけどの原因となることがあります。

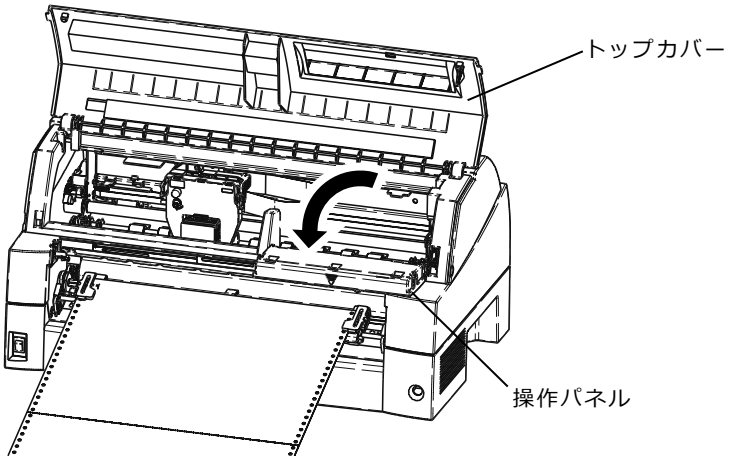
2 プリンターの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

3 トップカバーを開く

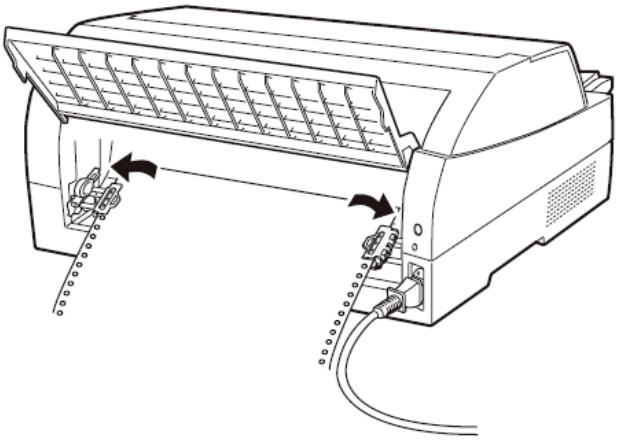
トップカバーを開き、装置内部の用紙づまりの状況を確認します。

4 必要に応じて操作パネルを手前に倒す



5 トラクターの左右の用紙押さえを開き、トラクターから用紙を外す

用紙送りトラクター左右用紙押さえを開いて、トラクターから用紙を外します。



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

6 用紙を取り除く

プリンターの前もしくは後から出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。

用紙が印字部につまってうまく取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適当な位置に手で動かし、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取り外してから用紙を取り除きます（取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください）。

7 操作パネルを手前に倒した場合は元に戻し、トップカバーを閉じる

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

5.2.2 単票用紙がつまったとき

用紙づまりを起こしたときは、用紙を無理に引っ張らず、ゆっくり取り除きます。
用紙づまりの状態に合わせて、次の手順で用紙を取り除きます。

◆ 手差しで吸入した単票用紙がつまったとき

1 オフライン状態にする

〔オンライン〕スイッチを押して、プリンターをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。
動作が停止し、印字ヘッドとプラテンとのすきまが最大となります。

⚠ 注意	
高　温	印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンター内部が高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。 やけどの原因となることがあります。

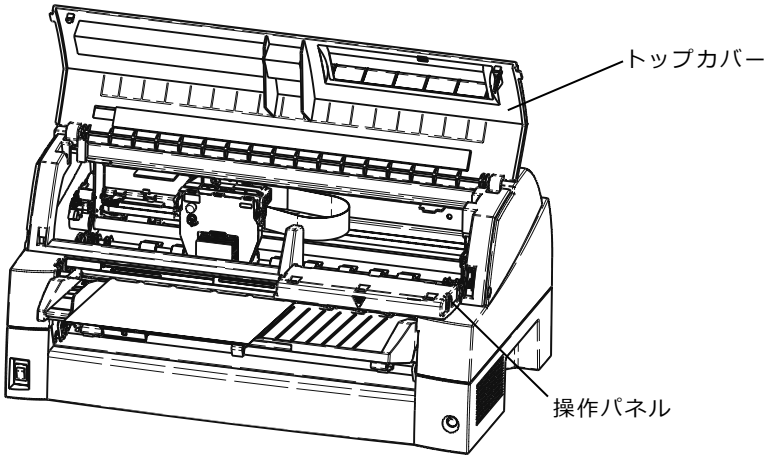
2 プリンターの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

3 トップカバーを開く

トップカバーを開き、装置内部の用紙づまりの状況を確認します。

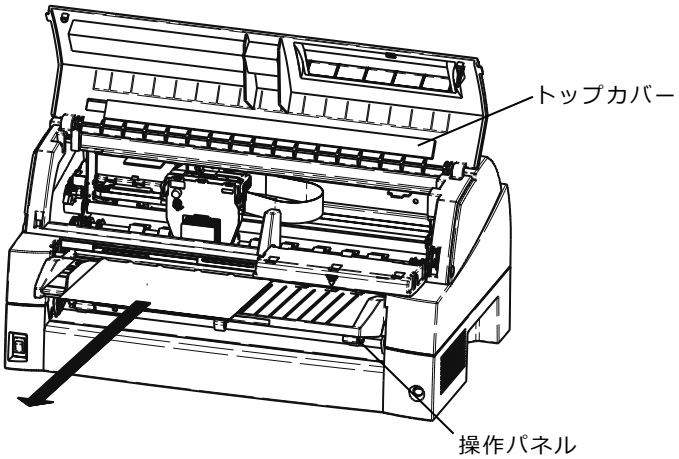
4 必要に応じて操作パネルを手前に倒す



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

5 用紙を取り除く

プリンターの前もしくは後から出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。



用紙が印字部につまってうまく取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適当な位置に手で動かし、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取り外してから用紙を取り除きます（取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください）。

6 操作パネルを手前に倒した場合は元に戻し、トップカバーを閉じる

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

5.2.3　リアスタッカー部に用紙がつまったとき

1　オフライン状態にする

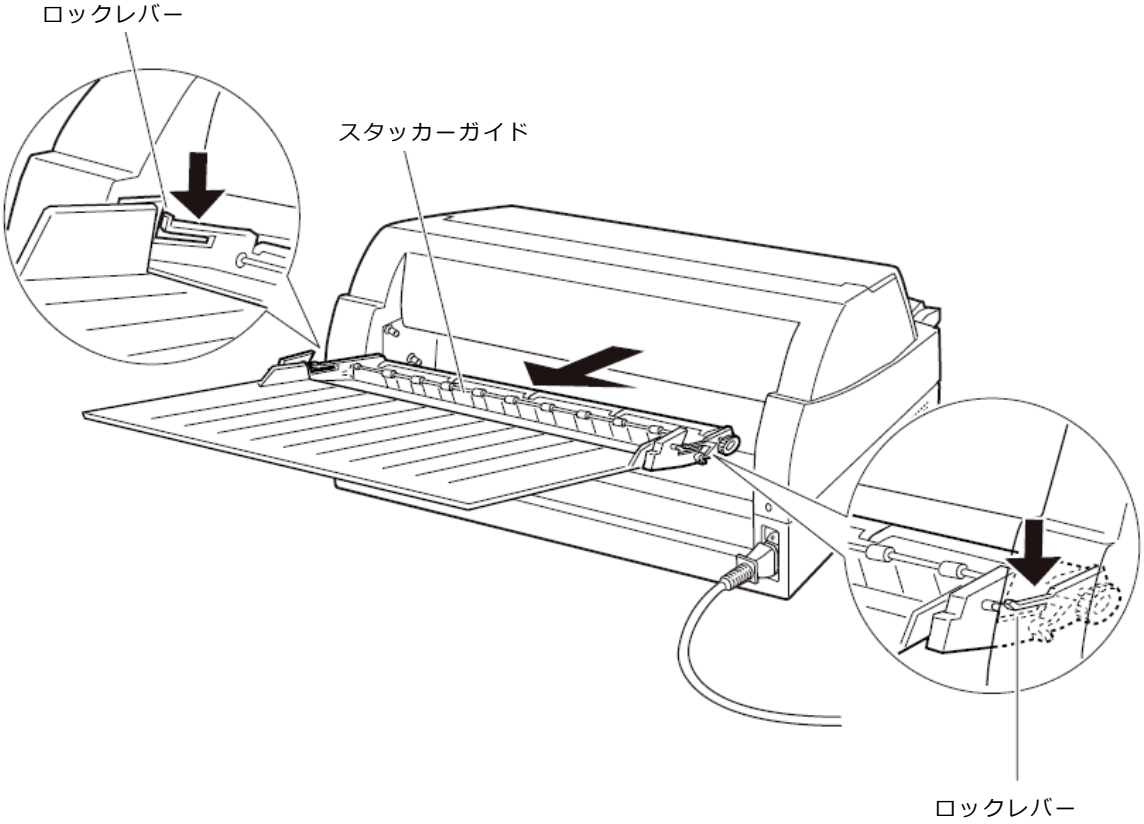
〔オンライン〕スイッチを押して、プリンターをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。
動作が停止し、印字ヘッドとプラテンとのすきまが最大となります。

2　プリンターの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

3　スタッカーユニットを取り外す

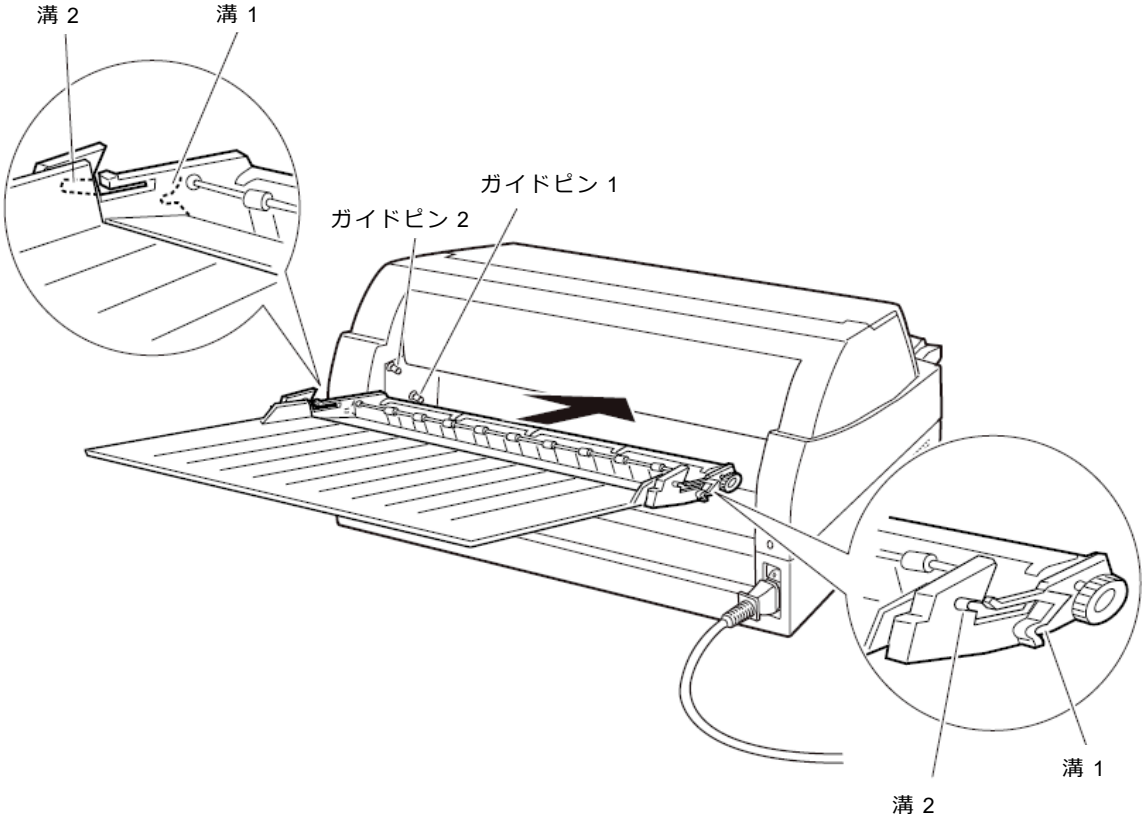
スタッカーガイドのロックレバーを押し下げながら、後方に取り外します。
装置内部の用紙づまりの状況を確認します。



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

4 スタッカーユニットを取り付ける

スタッカーユニット左右の溝 1 をガイドピン 1 に合わせ、ガイドピン 2 が溝 2 にロックされるまでスタッカーユニットを押し込みます。



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

5.2.4 カットシートフィーダーから吸入した用紙がつまったとき

1 オフライン状態にする

〔オンライン〕スイッチを押して、プリンターをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

2 プリンターの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

3 トップカバーを開く

トップカバーを開き、装置内部の用紙づまりの状況を確認します。

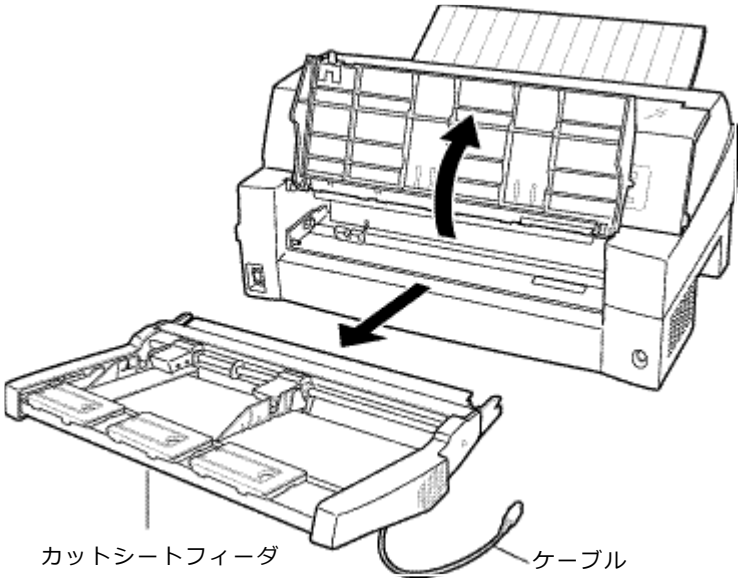
◆ カットシートフィーダーユニット内での用紙づまりの場合

1 カットシートフィーダーをプリンター本体から取り外す

〔カットシートフィーダーのケーブルをプリンター本体のコネクターから抜いて、カットシートフィーダーをプリンター本体から取り外します。

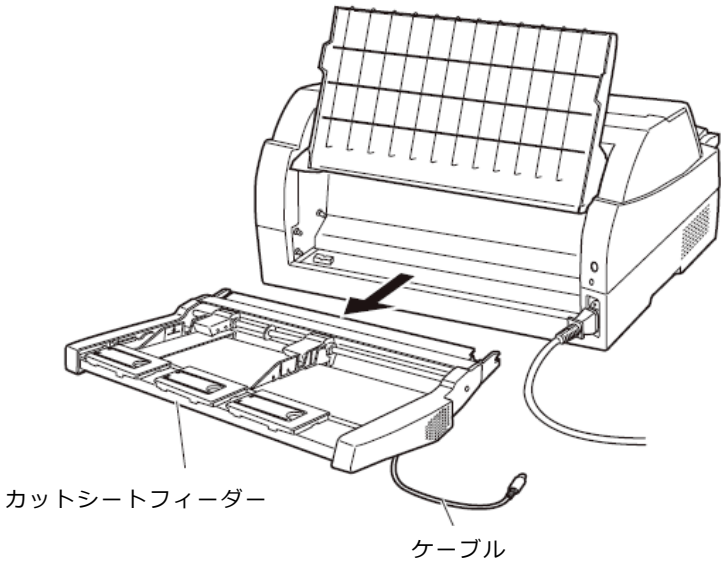
⚠ 注意	感　電　ケーブルを外すときは必ず電源を切ってください。電源を切らずに作業すると感電の原因となることがあります。

プリンター前部から取り外す場合



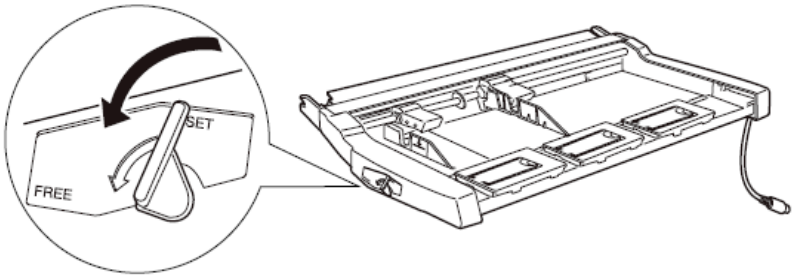
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

プリンター後部から取り外す場合



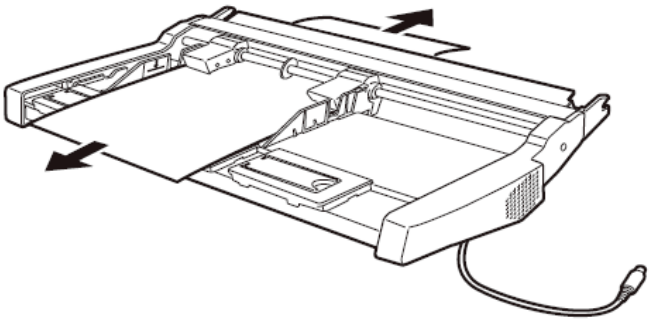
2 セットレバーを「FREE」の位置にする

カットシートフィーダー側面のセットレバーを「FREE」の位置にします。



3 用紙を取り除く

カットシートフィーダーの前もしくは後から用紙の端をゆっくり引いて取り除きます。



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

◆ プリンター装置内部まで用紙が送られた後の用紙づまりの場合

1 カットシートフィーダーをプリンター本体から取り外す

カットシートフィーダーのケーブルをプリンター本体のコネクターから抜いて、カットシートフィーダーをプリンター本体から取り外します。（「6.6 カットシートフィーダーを取り外す」参照）

【つまった用紙がカットシートフィーダー側に残った場合は…】

2 セットレバーを「FREE」の位置にする

カットシートフィーダーの側面のセットレバーを「FREE」の位置にします。

3 用紙を取り除く

カットシートフィーダーの前もしくは後から用紙の端をゆっくり引いて取り除きます。

【つまった用紙がプリンター装置に残った場合は…】

2 用紙を取り除く

プリンターの前もしくは後から出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。

用紙が印字部につまってうまく取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適宜な位置に手で動かし、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取り外してから用紙を取り除きます（取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください）。

⚠ 注意	高　温	印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンター内部が高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。 やけどの原因となることがあります。

＜お願い＞

・ 一度紙づまりを起こした用紙の再使用はしないでください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

5.3 プリンターがうまく動かないとき

プリンターが動かなくなったり、きれいに印字できなくなったりした場合の処置方法を説明します。
処置を行っても機能が回復しない場合は、当社 プリンター相談窓口にご相談ください。

5.3.1 エラーメッセージが表示されている

プリンターに異常が発生すると、操作パネルの各ランプの点滅でアラーム内容を通知します。
エラー発生時に点滅するランプによりアラーム内容を下表のように識別できます。対処方法については、本章の「電源投入後「用紙切れ」ランプが点滅する。」を参照してください。

ランプ / アラーム名	用紙切れ	低騒音	単票セットフリー	高複写	自動紙厚調整	前トラクタ	後トラクタ	単票手差し	カットシートフィーダ	手前排出	高速	用紙抜取	データ	オンライン	発生条件
LRES アラーム	●	●					●								スペースイニシャル動作実行中に LRES 検出ができませんでした
スペース脱調アラーム	●	●						●							LRES センサーの遮蔽板検出が正常に検出できませんでした
斜行補正アラーム	●		●				●								斜行補正ローラー回転時に基準位置が正常に検出できませんでした
HCPP(連単切り換え機構)アラーム	●		●					●							連帳/単票の切り替えができませんでした
オーバーロード(過負荷)アラーム	●			●			●								印字中に過負荷となり 3 分割印字となったが電源電圧が復旧しませんでした
低電圧アラーム	●			●				●							印字中以外に電源電圧が所定のレベルより低下しました
過電圧アラーム	●			●					●						電源電圧が所定のレベルより高くなりました
SP モーターアラーム	●	●				●									スペースモータードライバが所定の時間より長く駆動しました。
LF モーターアラーム	●		●			●									改行モータードライバが所定の時間より長く駆動しました。
印字ヘッドアラーム	●			●		●									印字ヘッドドライバが所定の時間より長く駆動しました。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

ランプ / アラーム名	用紙切れ	低騒音	単票セットフリー	高複写	自動紙厚調整	前トラクタ	後トラクタ	単票手差し	カットシートフィーダ	手前排出	高速	用紙抜取	データ	オンライン	発生条件
APTC ギャップアラーム	●				●	●									APTC 動作において、アプローチ動作開始直後すぐに媒体を検出した、または媒体を検出できませんでした
APTC ホームポジションセンサアラーム	●				●		●								APTC 動作において基準位置が検出されませんでした
ROM/RAM アラーム	●				●			●							以下のエラーが発生しました ・サムチェックエラー ・リード/ライトエラー ・CG-ROM 未搭載

※　●は、ランプ点滅を表します。
　　空白は、消灯を表します。

⚠ 注意	高　温　　使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

5.3.2 電源投入時の不具合

電源を投入すると、操作パネルのランプが点灯し、各部機構の位置決め動作と自己診断を行います。
その際の異常動作に対する処置方法を説明します。

現象	原因	処理
電源を投入後「電源」ランプが点灯せず、プリンターが動作しない。	電源コードの接続が正しくありません。	プリンターの電源を切り、電源コードの接続を確かめてください。(「1.5.7 電源コードセットの接続」参照)
電源を投入後、いったん「電源」ランプが点灯するが消灯する。	電圧異常を検出し、電源が自動的に停止しました。	電源を切って、5 分間放置後、再度電源を投入し、再現する場合は、修理を依頼してください。
電源投入後「用紙切れ」ランプが点滅する。	用紙やリボンが印字ヘッドにひっかかっているため、電源投入時の印字ヘッドの左右動作(イニシャル動作)が正常にできません。	電源を切って、印字ヘッドにひっかかているものを取り除いてください。
	印字ヘッドを固定している輸送用固定材が取り外されていないため、電源投入時の印字ヘッドの左右動作(イニシャル動作)が正常にできません。	電源を切って、輸送用固定材を取り外してください。(「1.5.2 輸送用固定材の取り外し」参照)
	モーターやセンサー、回路の故障、その他を検出しました。	電源を切って、修理を依頼してください。
操作パネルのランプは点灯するが、プリンターが動作しない。	トップカバーが開いているため、動作を停止しています。	トップカバーを閉じてください。
電源投入時「オンライン」ランプが点滅する	印字ヘッドの交換時期が近づいています。	早めに印字ヘッドを交換してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

5.3.3 単票用紙吸入時の不具合

単票用紙吸入がうまくできない場合の、処置方法を説明します。

現象	原因	処理
吸入しない。	トップカバーが開いているため、動作を停止しています。	トップカバーを閉じてください。
	給紙口の選択が、「前トラクタ」または「後トラクタ」になっています。	〔給紙口〕スイッチを押して、「単票手差し」または「カットシートフィーダ」を選択してください。
	「用紙抜取」ランプが点滅しています(用紙抜き取り待ち状態となっています)。	一度用紙を抜き取り、1 秒待ってから再吸入してください。
	前回吸入した用紙を、手で引き抜いたため、プリンターの状態が紙有り状態となっています。	〔用紙カット｜用紙吸入/排出〕スイッチを押し、一度排出動作をさせてから、再吸入してください。
	機能設定で『オートローディング』が「無効」になっています。	〔用紙カット｜用紙吸入/排出〕スイッチを押して吸入させるか、機能設定を変更してください。
吸入途中で排出される。	プラテン直前直後の用紙ガイド(斜面)上に紙粉がたまり、センサーが誤検出しています。	紙粉を清掃してください。(「5.6 清掃のしかた」参照)
	単票セットフリーオフのときに、用紙のセットをゆっくり行なったため、規定時間内に吸入動作が完了しませんでした。	より素早く用紙をセットしてください。
吸入後キャリアが移動した後に排出される。	用紙が斜めに給紙された(吸入斜行)ことを検出しました。	用紙を傾かない様に再セットしてください。
	プレプリントによりセンサーが誤検出しています(プレプリントのない用紙は問題無い)。	プレプリントに関しては、「4.5 プレプリント用紙を使用するとき」を参照してください。
	単票セットフリーオンのとき、用紙幅に問題があります。	幅 100～364mm(はがき～B4)の用紙を使用してください。
		幅 55～99mm 未満、365～420mm の用紙は単票セットフリーオフにして使用してください。
	単票セットフリーオンのとき、セット位置に問題があります。	「3.1.4 単票用紙をセットする（単票セットフリーオン時）」を参照し、セット位置を修正してください。
	用紙の形状に問題があり、吸入斜行を誤検出しています。	用紙の形状に関しては、「4.7 用紙の形状について」を参照してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

5.3.4 単票用紙排出時の不具合

単票用紙排出がうまくできない場合の、処置方法を説明します。

現象	原因	処理
用紙の排出方向を手前排出（テーブル側）した場合に用紙下端が角折れする。	用紙下端部の印字デューティーが高いため、用紙がカールした状態で排出されるためです。	〔手前排出｜改行〕スイッチを押して、「手前排出」ランプを消灯し、排出方向を後方排出（スタッカー側）にしてください。(「2.3.2 単票用紙の排出方向を切り替える（手前排出）」参照)、または機能設定の【装置機能設定】の『手差し排出方向』を「後方排出」に設定してください)

5.3.5 連帳用紙吸入時の不具合

連帳用紙がうまく吸入できない場合の処置方法を説明します。

現象	原因	処理
吸入しない。	トップカバーが開いているため、動作を停止しています。	トップカバーを閉じてください。
	プリンターがオンライン状態です。	〔オンライン〕スイッチを押してオフライン状態にしてから、〔用紙カット｜用紙吸入/排出〕スイッチを押してください。
	給紙口が正しく選択されていません。	〔給紙口〕スイッチを押して、正しい給紙口(「前トラクタ」または「後トラクタ」)を選択してください。
	「用紙抜取」ランプが点灯しています(単票テーブル上に放置された用紙を検出しています)。	単票テーブル上に放置された用紙を取り除いてください。
	前回吸入した用紙を、手で引き抜いたため、プリンターが紙有り状態となっています。	〔用紙カット｜用紙吸入/排出〕スイッチを押し、一度排出動作をさせてから、再吸入してください。
吸入途中で排出される。	プラテン直前直後の用紙ガイド(斜面)上に紙粉がたまり、センサーが誤検出しています。	紙粉を清掃してください。(「5.6 清掃のしかた」参照)
吸入途中で用紙づまりとなる。	左右のトラクター間で用紙が弛んでいます。	左右のトラクター間隔を軽く用紙が張る程度に調整してください。
	フロントトラクター給紙時、単票テーブルを開いています。	単票テーブルを閉じてください。
	用紙の上端部に損傷、折れ曲がりがあります。	損傷したり、折れ、曲がりのある連帳を使用しないでください。
	トラクターへのセットで、左右で穴がズレています。	正しくセットし直してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

5.3.6 印字中の問題点

印字中の問題点に対する対処方法を説明します。

現象	原因	処理
プリンターが動作しない。	トップカバーが開いているため、動作を停止しています。	トップカバーを閉じてください。
印字が始まらない。	「オンライン」ランプが消えています。	〔オンライン〕スイッチを押して、「オンライン」ランプを点灯させてください。
オンライン状態であるのに、印字できない。	プリンターケーブルの接続に問題があります。	プリンターケーブルを正しく接続してください。
印字開始前に用紙パスが切り替わってしまう。	プリンタードライバーのプロパティで設定した用紙パスに誤りがあります。	プリンタードライバーのプロパティで正しく設定してください。
印字音はするのに印字しない。	リボンカセットを取り付ていません。	リボンカセットを取り付けてください。
プリンター動作中に「用紙切れ」ランプが点滅し、プリンターが停止した。	印字ヘッドの左右動作に異常が発生しました。 <要因> 1. 段差のある用紙を使用しています。 2. 紙厚設定が正しくありません。 3. 用紙つまりが発生しました。 4. リボンが印字ヘッドにひっかかっています。	電源を切って、用紙仕様、紙厚設定を見直してください。
印字開始直前にアラームとなる。	用紙が厚過ぎます。	「4 用紙について」を参照し用紙を確認してください。
	段差のある用紙を使用しているため、正常に自動紙厚検出ができません。	手動紙厚調整で印字するか、プリンタードライバーのプロパティで用紙厚さを設定してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

5.3.7 印字結果の問題点

印字結果の問題点に対する処置方法を説明します。

現象	原因	処理
リボン汚れが出る。	手動紙厚調整のとき、ダイヤル設定が適正値に対して狭くなっています。	広めに設定し直して(ダイヤルを時計方向にリボン汚れが出なくなるまで回して)ください。
	プリンタードライバーのプロパティで設定した用紙厚さが、適正値に対して狭くなっています。	プリンタードライバーのプロパティ設定値(枚数)を、リボン汚れが出なくなるまで多くしてください。
	段差のある用紙を使用しています。	手動紙厚調整にて印字してください。(「3.2 用紙厚を調整する」参照)
	自動紙厚調整機構が故障しています。	応急処置として、手動紙厚調整に切り替えて使用することができます。
	リボンカセットの交換時期が近づいています。 リボン生地の波うちが激しくなっています。	新しいリボンカセットと交換してください。(「5.1 リボンカセットを交換する」参照) カラーリボンは、どちらか一方の色帯が波打ったときも交換時期です。
縦線のつなぎの左右方向にズレが大きい(行間ズレが大きい)。	手動紙厚調整のとき、ダイヤル設定が適正値に対して狭いため、印字ヘッドの左右動作の精度が悪くなっています。	広めに設定し直してください。
	プリンタードライバーのプロパティで設定した用紙厚さが、適正値に対して狭いため、印字ヘッドの左右動作の精度が悪くなっています。	プリンタードライバーのプロパティ設定値(枚数)を、リボン汚れが出なくなるまで多くしてください。
	段差のある用紙の段差部分で印字ヘッドの左右動作の精度が悪くなっています。	手動紙厚調整にて印字してください。(「3.2 用紙厚を調整する」参照)
	行間ズレ調整が正しくありません。	「2.8 行間ズレを直す」を参照し、行間ズレを直してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

現象	原因	処理
印字が薄い。	手動紙厚調整のとき、ダイヤル設定が適正値に対して広くなっています。	狭めに設定し直してください。(ダイヤルを反時計方向に印字が濃くなるまで回します、狭くし過ぎると故障の原因となるので注意してください。)
	プリンタードライバーのプロパティで設定した用紙厚さが適正値に対して広くなっています。	プリンタードライバーのプロパティ設定値(枚数)を印字が濃くなるまで少なくしてください。
	段差のある用紙を使用しています。	手動紙厚調整にて印字してください。(「3.2 用紙厚を調整する」参照)
	自動紙厚調整機構が故障しています。	応急処置として、手動紙厚調整に切り替えて使用することができます。
	リボンカセットの交換時期が近づいています（リボン生地の印字跡部の黒さが薄くなっています）。	新しいリボンカセットと交換してください。(「5.1 リボンカセットを交換する」参照)
	印字ヘッドの交換時期が近づいています。	印字ヘッドを交換してください。
印字を構成するドットが横一列に欠ける。	印字ヘッドのピンが折れています。	印字ヘッドを交換してください。
前給紙の場合、印字の上側が欠ける。	リボンカセットが正しく取り付けられていません。	印字を中止して、リボンカセットを正しく取り付けてください。(「1.7 リボンカセットを取り付ける」参照)
後給紙の場合、印字の下側が欠ける。		
印字が所々でよじれたように欠ける(用紙を変えても発生する)。	リボンがたるんだり、よじれたりしています。	印字を中止して、リボンカセットを点検してください。(リボンつまみを回してリボンのよじれが無いか確認します)
印字行の左端部や右端部で印字の上下が欠ける。(連帳用紙のみ発生する)	連帳改行時に用紙の綴じ部や用紙送り穴の影響でリボンがズレて、印字左右端部が欠けるときがあります。	機能設定【その他の設定】の『連帳改行時リボン保護制御』を「有効」にして使用してください。
カラーリボン使用時、混色する。	リボンが汚れています。	新しいリボンに交換してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

5.3.8 印字位置の問題点

印字位置に問題点がある場合の処置方法を説明します。

現象	原因	処理
印字開始位置が上、または下にズレる。	プリンタードライバーの余白設定に対してプリンターの設定が正しくありません。	機能設定【余白量設定】の『上端余白量指定』を「ドライバ優先」にしてください。
	プリンタードライバーでの給紙方法選択、余白の設定、プリンターの上端余白の設定がアプリケーションに適合していません。	アプリケーションに合わせて、プリンタードライバーの給紙方法、余白量設定、プリンターの機能設定を正しく設定してください。
	ソフトウェアによっては上端余白の設定を変更する必要があります。	アプリケーションソフトの説明書で確認してみてください。
	用紙上端のプレプリント禁止領域にプレプリントがあります。	プレプリントを修正するか、吸入後用紙の位置合わせを行なって印字してください。
単票セットフリー使用時に印字の左右の位置がズレる。	機能設定の単票左端余白量とアプリケーションソフトの余白設定が異なっています。	プリンターとアプリケーションソフトの設定を合わせてください。
	用紙の左端部に面取、プレプリントがあるために、用紙左端を正しく認識できません。	用紙を修正するか、単票セットフリーをオフにして使用してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

5.3.9 印字位置がページによってズレる

印字位置がページによってズレる場合の処置方法を説明します。

現象	原因	処理
連続用紙の印字位置がページによってズレる。	仕様外用紙を使用しているため、正しく搬送できません。	「4 用紙について」を参照し、仕様にあった用紙を使用してください。
	連続用紙の置きかたが悪く、正しく搬送できません。	連続用紙は給紙口の下に置き、斜めになったり、途中に引っかかりのない様にしてください。また、箱からスムーズに引きだされない用紙は、箱から出して設置してください。
	用紙のページ長さと、ソフトウェア、またはプリンタードライバーのページ長設定値が異なっています。	ソフトウェア、またはプリンタードライバーのページ長指定に合う用紙を使用してください。
	用紙の特性により、吸入位置に対してわずかながら印字位置がずれることがあります。	機能設定で補正してください。 補正の行いかたについては、「2.7 機能設定を変える」を参照してください。
	機能設定の【その他の設定】の『トラクタ給紙制御』が「速度優先」に設定されています。	機能設定で【その他の設定】の『トラクタ給紙制御』を「精度優先」にしてください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

5.3.10　カットシートフィーダー使用時の不具合

カットシートフィーダー使用時の不具合点に対する処置方法を説明します。

現象	原因	処理
カットシートフィーダーが動作しない。	カットシートフィーダーのコネクターがプリンターに接続されていません。	プリンター本体の電源を切断し、コネクターを接続してください。
用紙が吸入しない。	左右の用紙ガイドで用紙をきつくはさんでいます。	用紙に対して適正なゆとりを持って、用紙ガイドをセットしてください。
	用紙が厚すぎます。	仕様にあった用紙を使用してください。
	セットした用紙が多すぎます（赤線を越えています）。	用紙ガイドの赤線以内にセットしてください。
	用紙つまりが発生しています。	つまった用紙を取り除いてください。
	セットレバーが「FREE」になっています。	セットレバーを「SET」にしてください。
	操作パネルの「給紙口」ランプの表示が「前トラクタ」、「後トラクタ」または「単票手差し」になっています。	操作パネルの〔給紙口〕スイッチを操作し「カットシートフィーダ」にセットしてください。
	カットシートフィーダーがプリンターにきちんとセットされていません。	正しくセットし直してください。 (「6.5 カットシートフィーダーを取り付ける」参照)
複数枚の用紙が同時に送られてしまう。	用紙を十分にさばいていません。	用紙を十分にさばいてからセットしてください。
	用紙が薄すぎます。	仕様にあった用紙を使用してください。
	用紙に折れ曲がりがあります。	折れ曲がりの無い用紙を使用してください。
	左右の用紙ガイドの隙間が狭すぎるか、広すぎます。	用紙カイドを用紙幅に合わせて正しくセットしてください。
	紙置台内の用紙が不揃いの状態でセットされています。	用紙を揃えて紙置台内に正しくセットしてください。
	種類の異なった用紙が混在しています。	用紙の種類は一種類にして紙置台へセットしてください。
紙づまりが起きる。	左右の用紙ガイドの隙間が狭すぎるか広すぎます。	用紙ガイドを用紙幅に合わせて正しくセットしてください。
	仕様以外の用紙を使用しています。	仕様にあった用紙を使用してください。
	用紙に折れ曲がりがあります。	折れ曲がりの無い用紙を使用してください。
	種類の異なった用紙が混在しています。	用紙の種類は一種類にして紙置台へセットしてください。
	セットした用紙が多すぎます（赤線を越えています）。	用紙ガイドの赤線以内にセットしてください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

現象	原因	処理
用紙排出を手前排出（テーブル側）した場合に用紙下端が角折れする。	用紙下端部の印字デューティーが高いため、用紙がカールした状態で排出されるためです。	〔手前排出｜改行〕スイッチを押して、「手前排出」ランプを消灯し、排出方向を後方排出（スタッカ側）にしてください。(「2.3.2 単票用紙の排出方向を切り替える（手前排出）」参照)、または機能設定で【装置機能設定】の『前ＣＳＦ排出方向』または『後ＣＳＦ排出方向』を「後方排出」に設定してください

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

5.4　テスト印字をする

テスト印字は、次の手順で行います。

1　単票用紙または連続帳票用紙をセットする

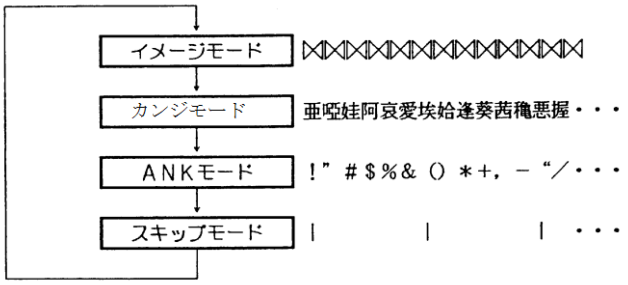
2　電源を切る

（電源スイッチが（○）側に倒れていることを確認します。）

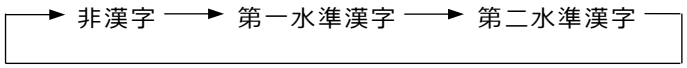
3　〔手前排出｜改行〕スイッチを押しながら電源を入れ、操作パネルのランプがすべて点灯したらスイッチを離す

用紙が無くなるまで、連続して印字します。
印字幅は、単票モードで６インチ、連帳モードで１３インチです。

[テストモードを切り替えるとき]
印字中に〔手前排出｜改行〕スイッチを押すと、印字ヘッドが左端または右端に移動したときに、順次テストモードが切り替わります。



・ 漢字モードのとき、下記の印字を繰り返します。



・ ANK モードのとき、高品位文字を印字します。

[印字速度を切り替えるとき]
印字中に〔印字モード｜改ページ〕スイッチを押すと、印字ヘッドが左端または右端に移動したときに、印字速度が切り替わります。
スイッチを押すたびに、高速印字モード、標準印字モード、低騒音モードが切り替わります。高速印字モードのときは、「高速」ランプ、低騒音モードのときは「低騒音」ランプが点灯します。

[標準印字/高複写モードを切り替えるとき]
印字中に〔高複写〕スイッチを押すと、印字ヘッドが左端または右端に移動したときに、印字密度が切り替わります。
スイッチを押すたびに、標準印字モードと高複写モードが交互に切り替わります。高複写モードのときは、「高複写」ランプが点灯します。

[明朝体/ゴシック体を切り替えるとき]
印字中に〔用紙カット｜用紙吸入/排出〕スイッチを押すと、印字ヘッドが左端または右端に移動したときに、印字の字体が切り替わります。
スイッチを押すたびに、明朝体とゴシック体が交互に切り替わります。

4　テスト印字中に〔オンライン〕スイッチを押すと、テスト印字が終了する

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

5.5 HEX ダンプ印字をする

HEX ダンプ印字は、プログラムの診断に利用してください。パソコンからプリンターへ送られてきたデータを 16 進数のまま印字します。
HEX ダンプ印字は次の手順で行います。

1 単票用紙または連続帳票用紙をセットする

2 〔手前排出｜改行〕と〔印字モード｜改ページ〕スイッチを同時に押しながら、電源を入れ、ランプがすべて点灯してからスイッチを離す

HEX ダンプを印字できる状態になります。

3 印字データを送る

パーソナルコンピューターからプリンターへ送られてきたデータは 16 進数のまま印字されます。
1 行にみたないデータは印字されず、〔オンライン〕スイッチを押してオフライン状態にすると印字されます。

4 HEX ダンプ印字を解除する

電源をいったん切ってから、もう一度投入してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

5.6　清掃のしかた

プリンターを良好な状態で使用できるように、定期的に清掃してください。

⚠ 注意

感　電	プリンターの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 電源スイッチを切らずにプリンターの清掃を行うと、感電の原因となることがあります。
高　温	印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンター内部が高温になります。温度が下がったことを確かめてから、清掃してください。 やけどの原因となることがあります。

＜お願い＞

- シンナーやベンジンなど、揮発性の薬品は使用しないでください。プリンターの表面が変質したり、変形したりする恐れがあります。
- プリンターの内部を濡らさないでください。電気回路がショートする恐れがあります。
- プリンターに潤滑油を補給しないでください。プリンターの故障の原因となる場合があります。

清掃は、次の手順で行います

1　プリンターの電源を切り、電源プラグを抜く

2　トップカバーを開ける

3　プリンターを清掃する

印字した用紙が汚れたり、カバー部が汚れたりしているときは、中性洗剤を薄めた水に清潔な軟らかい布を浸し、よく絞ってカバー表面、プラテン、およびゴムローラーの表面を拭いてください。
プリンター内の紙粉は除去してください。

＜お願い＞

- 印字ヘッドなどの壊れやすい部品には触らないように注意してください。破損の原因となります。

4　トップカバーを閉じて、電源を入れる

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

5.7　プリンターを輸送するとき

プリンターを衝撃から守るため、以下の手順で梱包してから輸送してください。

⚠ 注意	高　温　印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンター内部が高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。 やけどの原因となることがあります。

1　プリンターの電源を一旦入れた後に切る

（電源スイッチが（○）側に倒れていることを確認します。）
一旦電源を入れることで、印字ヘッドが移動し、以降の作業ができる状態になります。

2　用紙を取り去り、リアスタッカーを取り外す

3　プラグを電源プラグから抜いて、プリンターケーブルをプリンターから外す

4　リボンカセットを取り外す

（「5.1 リボンカセットを交換する」参照）

5　リアスタッカーを梱包する

6　印字ヘッドを手でゆっくりと右端まで移動する

7　印字ヘッドを保護するために、輸送用固定材を取り付ける

8　プリンターを衝撃から守るために梱包材などでくるみ、届いたときと同じ状態にして箱に入れる

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

5.8　プリンタードライバーの入手方法

プリンタードライバーは、当社ホームページからダウンロードすることができます。当社ホームページではサポートサービスなどに関するさまざまな情報も提供しています。
下記に示した URL よりプリンタードライバーをダウンロードしてください。

https://www.fujitsu.com/jp/fit/

<ガイド>

- 上記 URL は、本書発行時現在のものです。
- 当社ホームページをご利用になる際は、Web ブラウザーおよびインターネットに接続できる環境が必要です。
- 添付の CD-ROM には、製品出荷時での最新版プリンタードライバーが収められており、当社ホームページからダウンロードできるものと同一の可能性があります。お使いのプリンタードライバーのバージョンを確認してからダウンロードを行ってください。

5.9　消耗品の廃却について

使用済みの消耗品は、法令・条例に従って産業廃棄物としてお客様にて処分をお願いします。
お客様が処理業者に処理を委託する場合で、（財）日本産業廃棄物処理振興センターが発行する伝票（産業廃棄物マニュフェスト）への記載が必要となった場合、下記に本消耗品の種類・特性などを示しますので、伝票記載時の参考にしてください。

産業廃棄物処理マニュフェスト情報

消耗内訳	マニフェスト情報			
名称	種類	形状	重金属等有無	特性
リボンカセット	廃プラスチック	固形	無し	―

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

5.10 アフターサービス

- 保証書をお持ちのお客様には、次のサービスを実施させていただきます。保証書の規定による本製品の無償修理サービス(お買い上げ日より 6 ヶ月間に限ります。詳細につきましては、保証書をご覧ください。)
- プリンターのご使用にあたっては、純正サプライ用品の使用をお奨めします。非推奨品の使用が原因で不具合や故障が発生した場合は、無償保証期間内や保守契約期間内であっても有償修理となりますので、ご注意ください。
- このプリンターの保守部品の保有期間は製造打ち切り後 5 年です。
- 操作および機能についてのご不明な点や、修理につきましては、以下へご相談ください。

富士通アイソテック株式会社　プリンター相談窓口
〒960-0695　福島県伊達市保原町東野崎 135
https://www.fujitsu.com/jp/fit/

お問い合わせ電話番号	お問い合わせ受付時間
故障・修理に関するお問い合わせ 0120-106-722	月曜日 - 金曜日　9：00 - 17：00 土、日、祝祭日、夏季、年末年始は休ませていただきます。 (当社都合により、これら以外に休ませていただく場合がございます。)
その他(保守サービス申込を含む)のお問い合わせ 024-574-2263 024-574-2382(FAX)	

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

6 オプション

この章では、オプションの種類および取り付け、取り外しについて説明します。

6.1 オプションの概要

本プリンターには、次のオプションがあります。

◆ トラクターユニット

連続帳票用紙をセットする装置です。
プリンターに標準添付されているトラクター同様にプリンターの前方、後方のどちらにでも取り付けることができます。トラクターユニットを追加することにより、同時に 2 種類の連続帳票用紙をセットすることができます。
トラクターユニットの取り扱いについては、「1.8.1 トラクターユニットの着脱について」を参照してください。

◆ LAN カード（PR-LN4S）

100BASE-TX/10BASE-T のネットワーク環境に対応した LAN カードです。
TCP/IP に対応しています。
LAN カード搭載時は、USB インターフェイスとの同時接続はできません。
USB ケーブルが接続されている場合、LAN インターフェイスは無効となります。

◆ カットシートフィーダー（SF940）

単票用紙を一枚ずつ連続的に送る自動給紙装置です。プリンターの前部または後部に取り付けて使用します。
A4 普通紙 55kg での用紙セット枚数は 120 枚です。

⚠ 警告	感　電　　オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。 感電・火災または故障の原因となります。

6.2 LAN カードのご使用方法

本プリンターのオプションである別売の LAN カードをプリンター側面にとりつけて使用することにより、100BASE-TX/10BASE-T の高速ネットワーク環境でのプリンター共有が可能になります。
LAN カード搭載時は、USB インターフェイスとの同時接続はできません。USB ケーブルが接続されている場合、LAN インターフェイスは無効となります。

品名	型名	備考
LAN カード	PR-LN4S	プリンターに取り付けると、ネットワーク環境で直接印字できます。

⚠注意	一般禁止	LAN カードを取り付けたり、取り外したりするときは、必ず電源を切ってください。

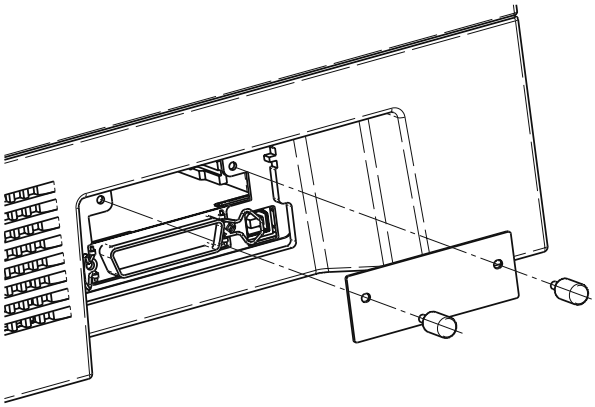
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

6.3 LAN カード搭載方法

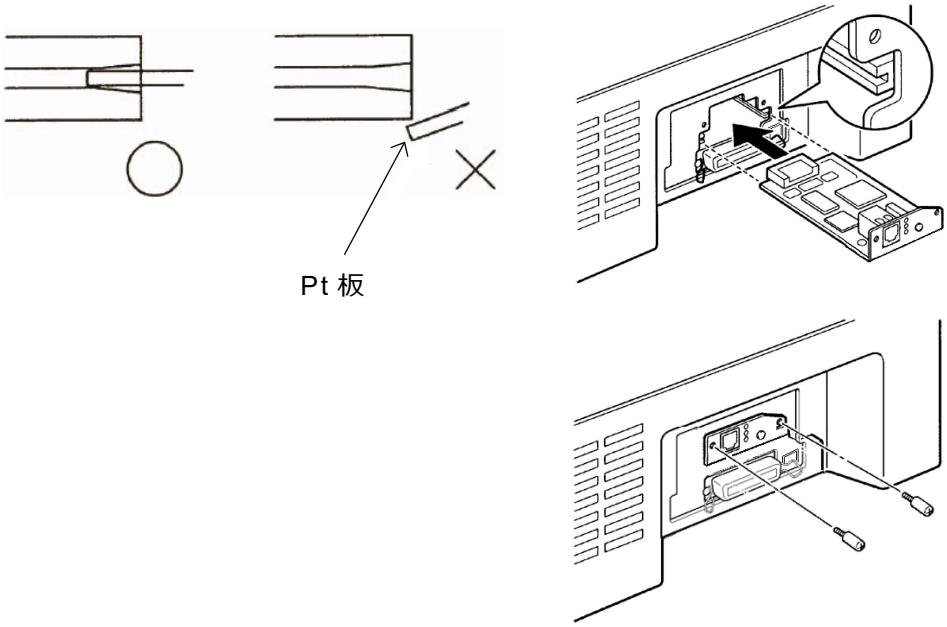
LAN カードの搭載は次の手順で行います。
なお、取り付け後のネットワーク接続については、LAN カードのソフトウェアガイドを参照してください。

1 プリンターの電源が OFF になっていることを確認する

2 プリンターのオプションインターフェイスカバーを外す



3 取り付け口のガイドに従って、本製品を差し込み、取り付ける



4 プリンターの電源が OFF になっていることを確認し、電源コードセットを差し込む

⚠注意	高温注意	プリンター本体の基板の一部が高温になっていることがありますので注意してください。 また、故障の原因になりますので基板には手を触れないでください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

6.4 LAN カード取り外し方法

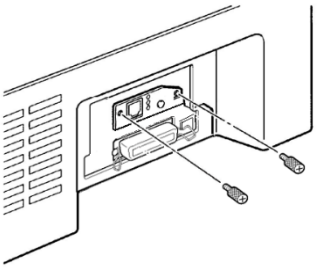
LAN カードの取り外しは次の手順で行います。

⚠注意	一般注意	電源が入っている状態で本製品を取り外すと、故障の原因になることがあります。

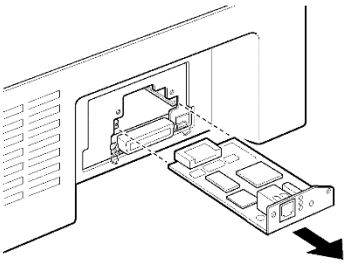
1 プリンターの電源を OFF にする

2 LAN カードの固定ネジを外す

固定ネジの取り外しはプラスドライバーで行ってください。

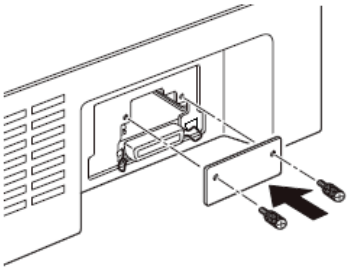


3 下図矢印付近を持って本製品を取り外す



4 プリンターのオプションインターフェイスカバーを取り付ける

固定ネジの取り外しはプラスドライバーで行ってください。



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

6.5　カットシートフィーダーを取り付ける

カットシートフィーダーは、プリンターの前部または後部に取り付けて使用します。前後同時に取り付けることもできます。

⚠ 警告		
	感　電	カットシートフィーダーを取り付けたり、取り外したりするときは、必ずパソコンと本プリンターの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行なってください。 感電の原因となります。

<ガイド>

- プリンターの前側にカットシートフィーダーを取り付けた場合は、トラクターユニットを全面に取る付けることはできません。
  取り外したトラクターユニットは保管しておいてください。
- カットシートフィーダーをプリンターの前後両方に取り付けた場合は、機能設定の『CSF ビン 1 選択』でどちらを優先して使用するかを設定する必要があります。

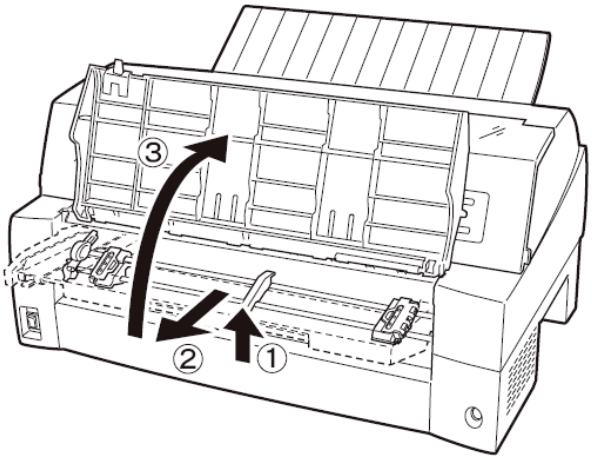
6.5.1　プリンター前部に取り付ける

1　プリンターの電源を切る

プリンターの電源が「○」側に倒れていることを確認します。

2　単票テーブルを開く

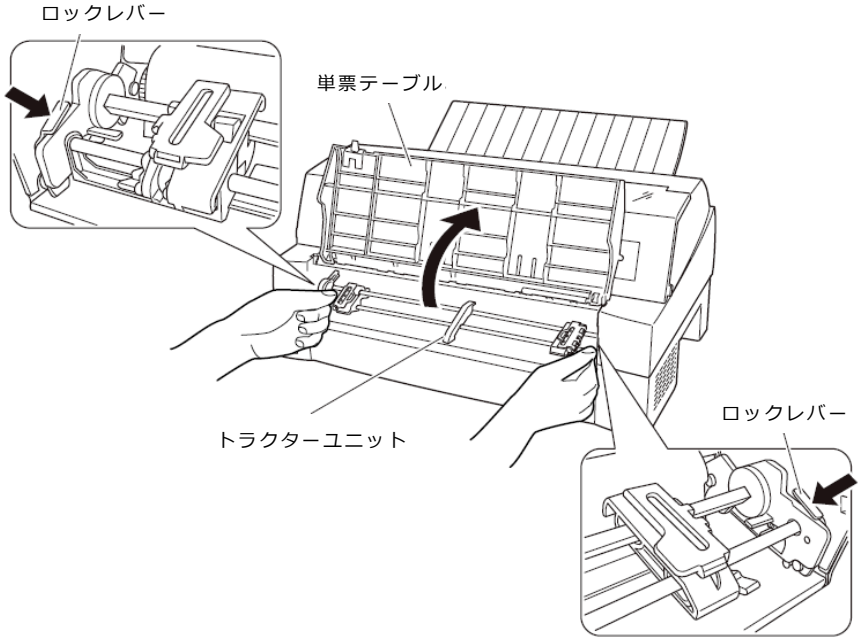
単票テーブルの先端を少し持ち上げ（①）、手前に引いた後（②）、回転させて開きます（③）。



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

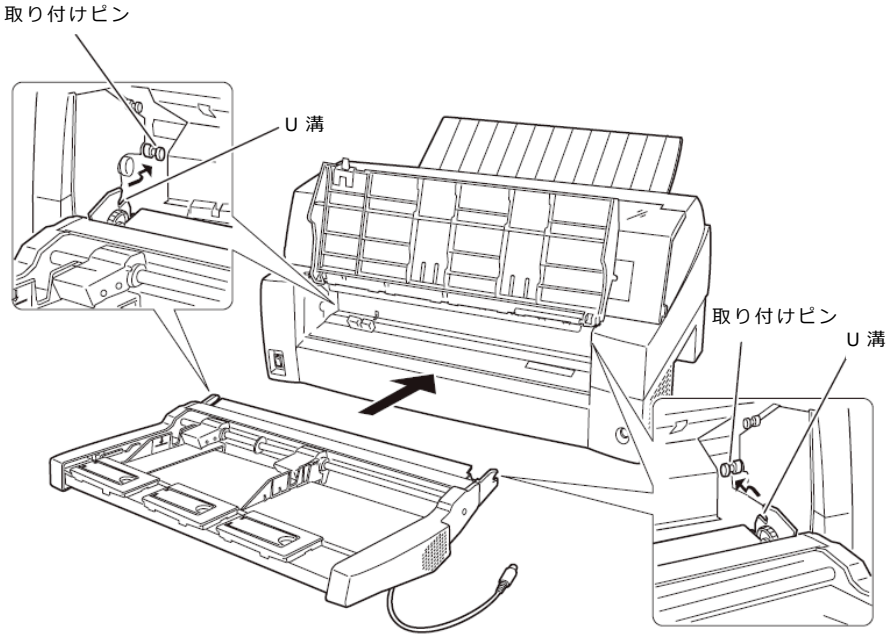
3 トラクターユニットを取り外す

トラクターユニットの左右にあるトラクターフレーム部のロックレバーを押しながら、トラクターユニットを上方に持ち上げて外します。



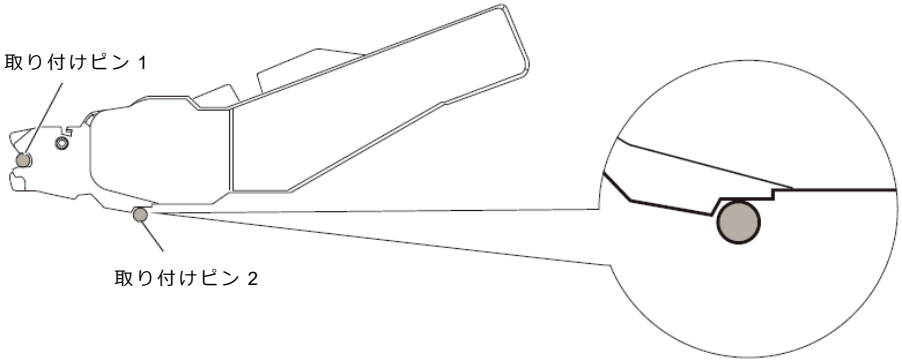
4 カットシートフィーダーを取り付ける

カットシートフィーダーの両側にある U 溝を、プリンターの奥の取り付けピンに差し込み、ゆっくりと下ろします。



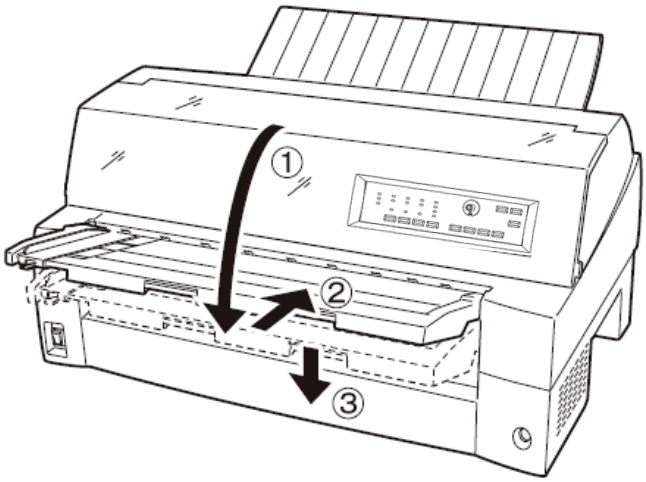
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

取り付けピン 2 にカットシートフィーダーのフレームが正しく乗っていることを確認してください。



5 単票テーブルを元に戻す

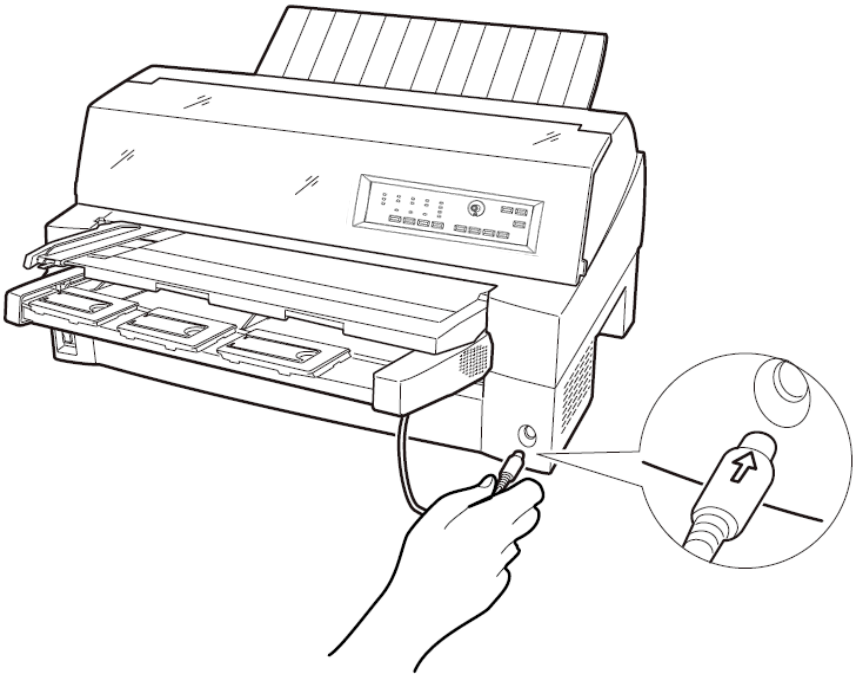
単票テーブルを下図のように回転させた（①）のち、奥に押し込んで（②）閉じます（③）。
単票テーブルのセットが正しくないと、用紙づまりの原因となります。



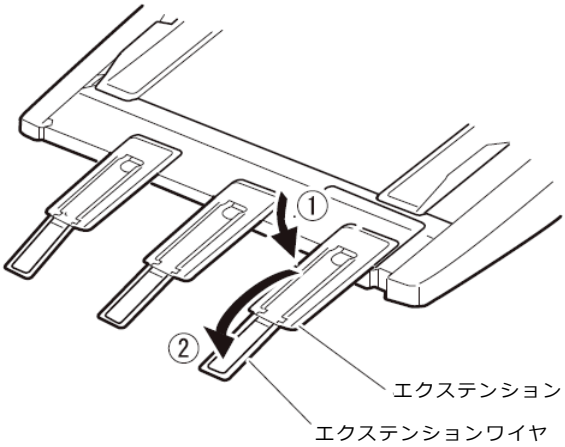
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

6 ケーブルを接続する

カットシートフィーダーのケーブルを、プリンター前面の右側にあるコネクターに接続します。コネクターの矢印を上にして挿入します。



7 使用する用紙サイズに合わせ、エクステンションおよびエクステンションワイヤを①、②の順に展開する



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

6.5.2 プリンター後部に取り付ける

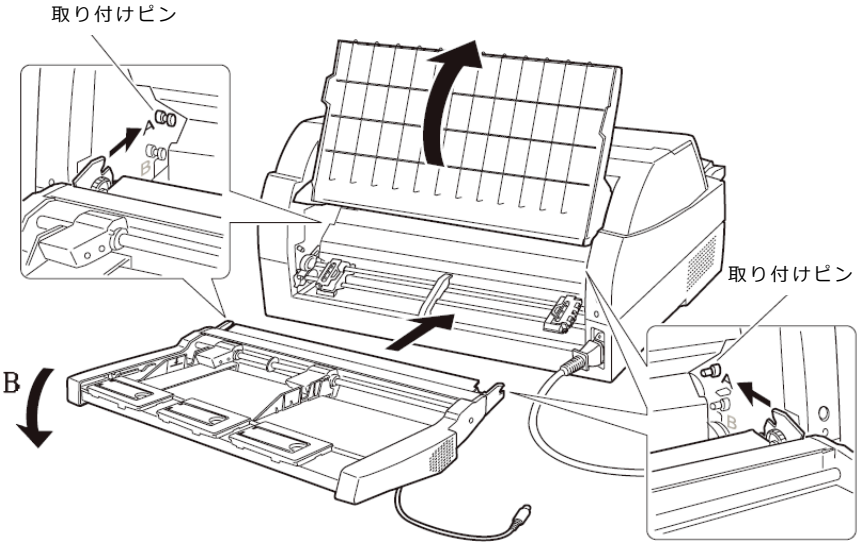
プリンター後部は、カットシートフィーダーとトラクターユニットの同時搭載が可能です。
カットシートフィーダーの取り付けは、プリンターの電源を切ってから行います。

1 プリンターの電源を切る

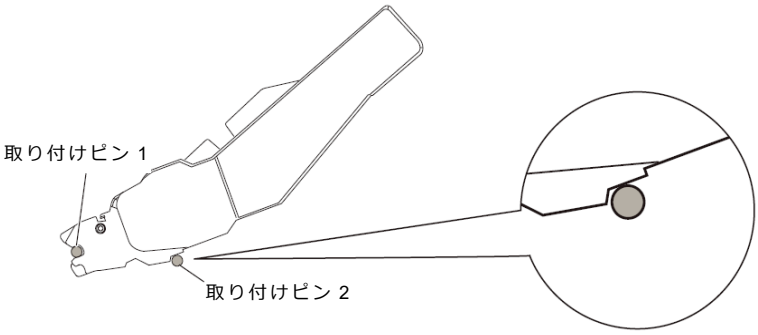
プリンターの電源が「○」側に倒れていることを確認します。

2 カットシートフィーダーを取り付ける

リアスタッカーを開きます。カットシートフィーダーの両側を持ち、カットシートフィーダーの両側にある U 溝を、プリンターの奥にある取付けピンに差し込みます。（カットシートフィーダーのラベル A をプリンター側の刻印 A に合わせて差し込みます。）そのまま取り付けピンを支点にして、矢印 B の方向に回転させるように下ろします。

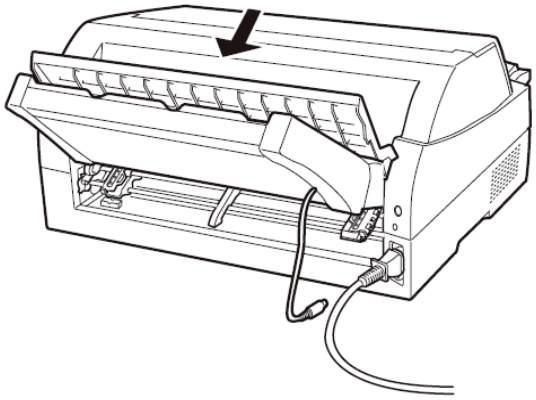


取り付けピン 2 にカットシートフィーダーのフレームが正しく乗っていることを確認してください。



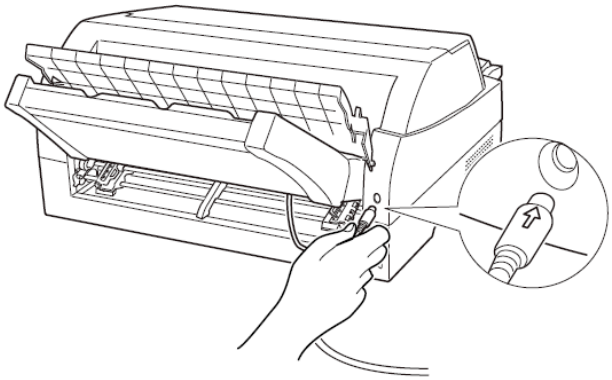
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

3 リアスタッカーを閉じる

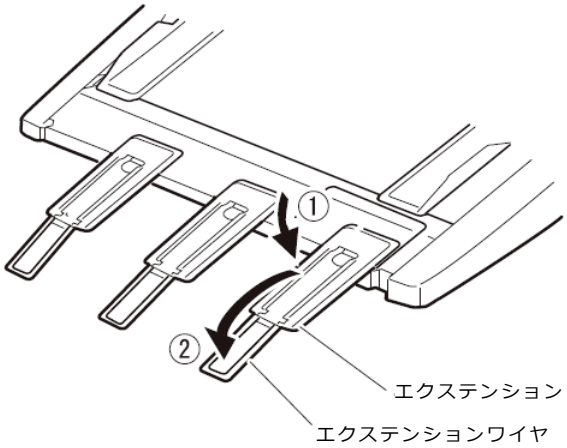


4 ケーブルを接続する

カットシートフィーダーのケーブルを、プリンター後面に向かって右側にあるコネクターに接続します。コネクターの矢印を上にして挿入します。



5 使用する用紙サイズに合わせ、エクステンションおよびエクステンションワイヤを①、②の順に展開する



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

6.6　カットシートフィーダーを取り外す

カットシートフィーダーを取り外すときは、ケーブルを抜いてから取り外してください。

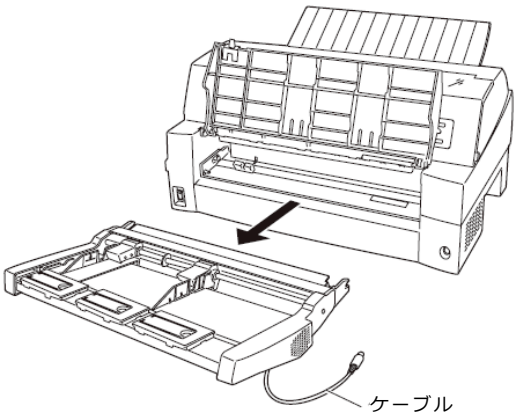
1　プリンターの電源を切る

2　カットシートフィーダーのケーブルを抜く

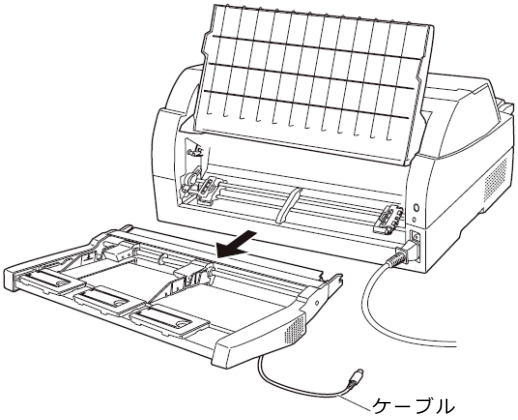
3　カットシートフィーダーを取り外す

⚠ 警告	感　電	カットシートフィーダーを取り付けたり、取り外したりするときは、必ずパソコンと本プリンターの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行なってください。 感電の原因となります。

プリンター前部に取り付けた場合



プリンター後部に取り付けた場合



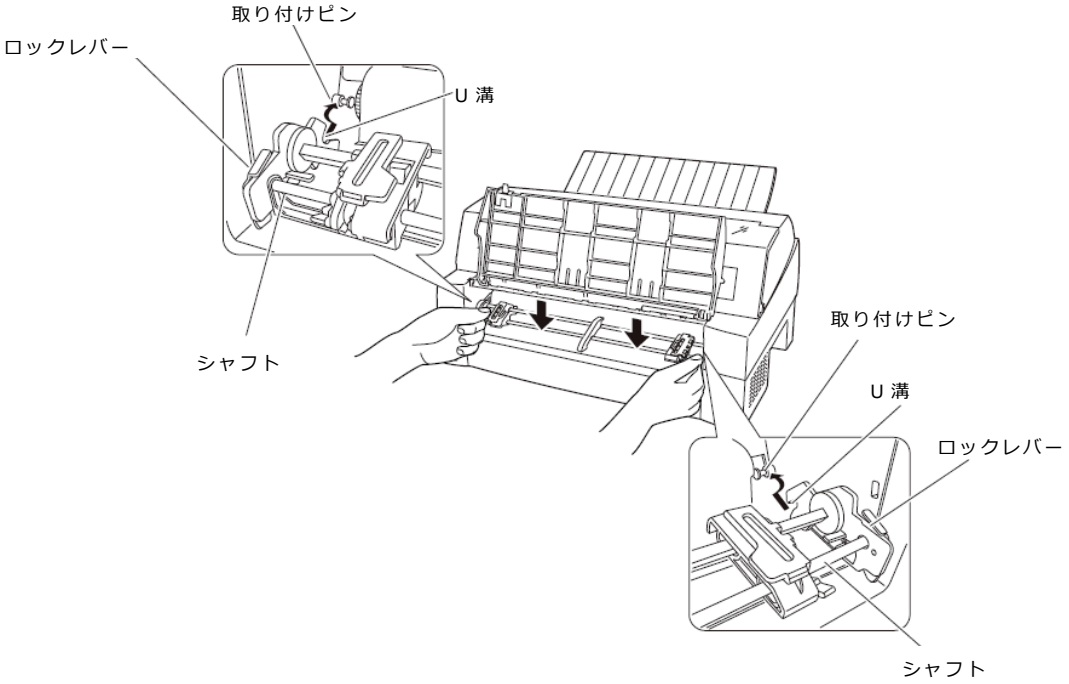
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

<ガイド>

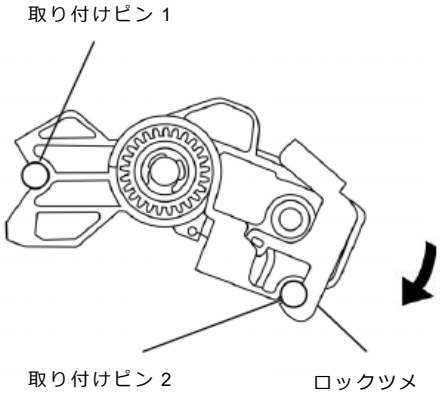
・ プリンター前部のカットシートフィーダーを取り外した後に、トラクターユニットを取り付ける方法を以下に示します。

1) トラクターユニット左右の U 溝をプリンターの取り付けピンに合わせます。（左側の取り付けピンの溝に合わせて取り付けます。右側の取り付けピンには、溝はありません。）

2) トラクターユニット手前側のシャフトをカチッと音がするまで押し下げてロックさせます。（押し下げるとき、ロックレバーを押さないでください。）



3) 下図のように取り付けピン 2 にトラクターユニットの左右のロックツメが、しっかりかかっていることを確認してください。



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

7 付録

7.1 プリンターの概略仕様

・印字方式　ワイヤドットマトリックス

・印字速度

（文字/秒）

	標準	高複写モード
漢字(27/180 インチ)	80	56
漢字高速(27/180 インチ)	160	112
ANK レギュラー(パイカ)	120	84
ANK レギュラー(エリート)	144	101
ANK ドラフト(パイカ)	360	254
ANK ドラフト(エリート)	432	305

・ドット径　0.2mm

・ドットピッチ　1/180 インチ（縦、横共）

・印字桁数

漢字全角　：90（文字/行）
半角漢字　：180（文字/行）
ANK（パイカ）　：136（文字/行）
ANK（エリート）　：163（文字/行）

・印字動作　両方向最短距離印字

・印字色　黒（単色）

注 1）赤黒リボン対応装置では、カラーリボンを搭載することで、2 色（赤/黒）印字ができます。複写紙使用時のカラー印字は、最上層のみです。

・複写能力（コピー能力）

標準モード　：オリジナル＋4P
高複写モード　：オリジナル＋7P

・イメージ印字　行ドット数　：4896

・用紙送り

用紙送り方式　：押込みトラクター方式（連続帳票用紙）
：フリクション方式（単票用紙）
改行間隔　：1/360 インチ×n（n はプログラム設定による）
改行速度　：約 60ms（1/6 インチ改行時）

・スタッカー容量（単票）　：120 枚以下（A4 サイズ、1P 用紙、連量 55kg）

注 2）用紙の種類、サイズ、カールの度合いや、印字デューティー、使用環境などにより減少しますので、ご注意ください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

・使用環境		温度	：稼動時　　5～35℃ ：非稼動時 －15～60℃ (ただし、温度勾配 15℃/H 以下)
		湿度	：稼動時　　20～80%RH (最高湿球温度 29℃以下) ：非稼動時　5～95%RH (ただし、結露しないこと。 湿度勾配 30%RH/日以下)
・インターフェイス		IEEE1248 双方向パラレルインターフェイス USB2.0 インターフェイス	
・電源仕様		入力電源種別	：商用単相
		電源電圧	：AC100V±10%
		電源周波数	：50/60 +2%, -4%
・消費電力		平均 70W (最大 165W) 待機時：1.0W 以下（LAN カード未搭載時）	
・外形寸法		600mm（幅）×350mm（奥行）×290mm（高）	
・重量		：約 18kg	
・稼動音		：60dB(A)	
・リボン	**黒**	種類	：エンドレスリボンカセット (リボンカセットインク補給型)
		リボン寿命	：500 万字 (ANK ドラフト文字)
	カラー	種類	：エンドレスリボンカセット
		リボン寿命	：30 万字 (ANK ドラフト文字)

注 3） 上記の寿命は、製造後 2 年以内のものを下記の環境で保存した場合に保証する値です。
温度：－10～50℃
湿度：20～90%RH
色　：黒単色

・耐用期間	プリンター装置	：5 年 (電源の通電条件:8 時間/日以内) または 500 万行 (いずれか早い方)

注 4) 耐用期間はプリンターの設置環境、使用頻度により大幅に変動します。
24 時間通電による運用の耐用期間は 1/3 に減少します。

印字ヘッド	：通常モード	4 億打/ピン
	：高複写モード	2 億打/ピン

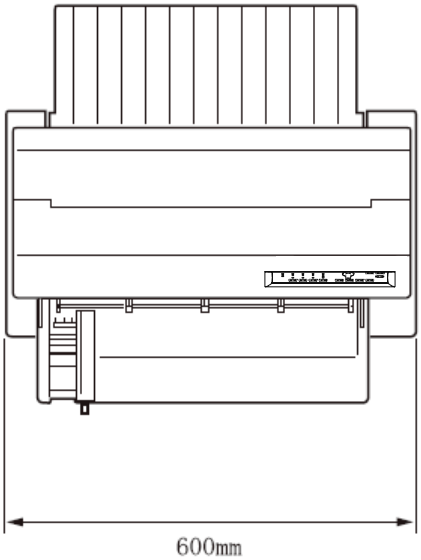
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

・制限事項	連続改行	LF モーター劣化防止のため、連続改行、連続改ページ動作は 3 分間以上行なわないでください。
	高密度印字	印字ヘッド劣化防止のため、50%デューティー以上のパターンを印字すると、3 分割印字になることがあります。
	逆改行動作	・ 逆改行動作は改行乱れの原因となる場合がありますので、十分確認の上ご使用ください。 ・ カットシートフィーダー使用の場合は 1/3 インチ以上の逆改行はできません。 ・ 連帳用紙使用時に 22 インチを越える逆改行動作は、用紙づまりや用紙ガレの原因となるため行わないでください。
	連続印字	印字ヘッドの温度上昇による劣化を防止のため、連続印字を行うと 2 分割印字になることがあります。

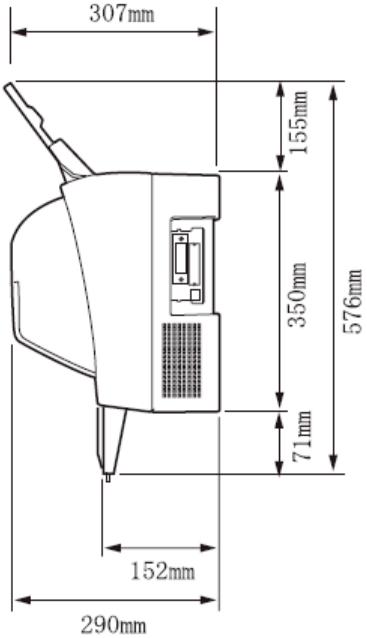
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

7.2　外観図

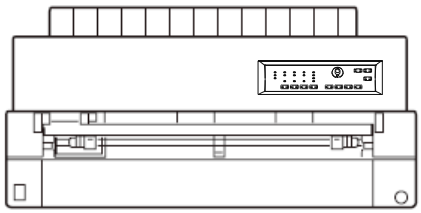
7.2.1　標準外観図



〈上面図〉



〈側面図〉

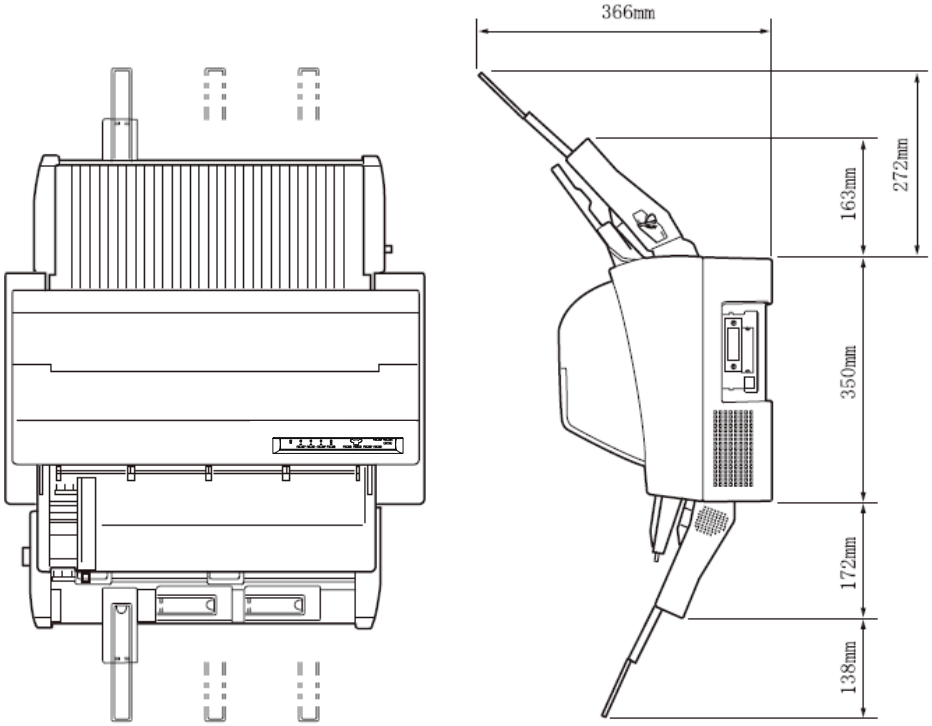


〈正面図〉

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

7.2.2　カットシートフィーダー(オプション)取り付け時の外観図

◆ カットシートフィーダーを前面と後面に取り付けたときの外観図



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

7.3　インターフェイス仕様

7.3.1　パラレルインターフェイス

◆ 基本仕様

IEEE 1284 に準拠した双方向パラレルインターフェイス

◆ インターフェイスコネクター

プリンター側　：レセプタクル：アンフェノール(DDK)57-40360 相当
ケーブル側　　：プラグ　　：アンフェノール(DDK)57-30360 相当

◆ インターフェイスケーブル

素材　　：　7/φ0.12（AWG28 相当)以上
タイプ　：　シールド
長さ　　：　フラットケーブル：1.5m 以下
　　ツイストケーブル：3.5m 以下

◆ 信号レベル

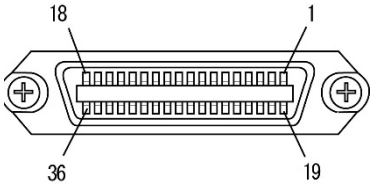
LOW　：　0.0V～+0.4V
HIGH　：　+2.4V～+5.0V

◆ データ転送方式

8 ビットパラレル

◆ コネクターピン配列

インターフェイスコネクター（36 ピン）



※ パソコンの BIOS 設定
本プリンターを接続するパソコンのパラレルポート設定は、必ず「Bidirectional（双方向）」にしてご使用ください。
確認および設定の方法については、パソコンの取扱説明書を参照してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	*STROBE	19	*STROBE-RET
2	DATA1	20	DATA1-RET
3	DATA2	21	DATA2-RET
4	DATA3	22	DATA3-RET
5	DATA4	23	DATA4-RET
6	DATA5	24	DATA5-RET
7	DATA6	25	DATA6-RET
8	DATA7	26	DATA7-RET
9	DATA8	27	DATA8-RET
10	*ACKNLG	28	*ACKNLG-RET
11	BUSY	29	BUSY-RET
12	PE	30	*INIT-RET
13	SLCT	31	*INIT
14	*AUTO FEED XT	32	*ERROR
15	NC	33	SG
16	SG	34	NC
17	FG	35	NC
18	NC	36	*SLCT IN

注 1）-RET 信号は、すべて SG に接続されています。
注 2）“*"は、負論理信号であることを示します。

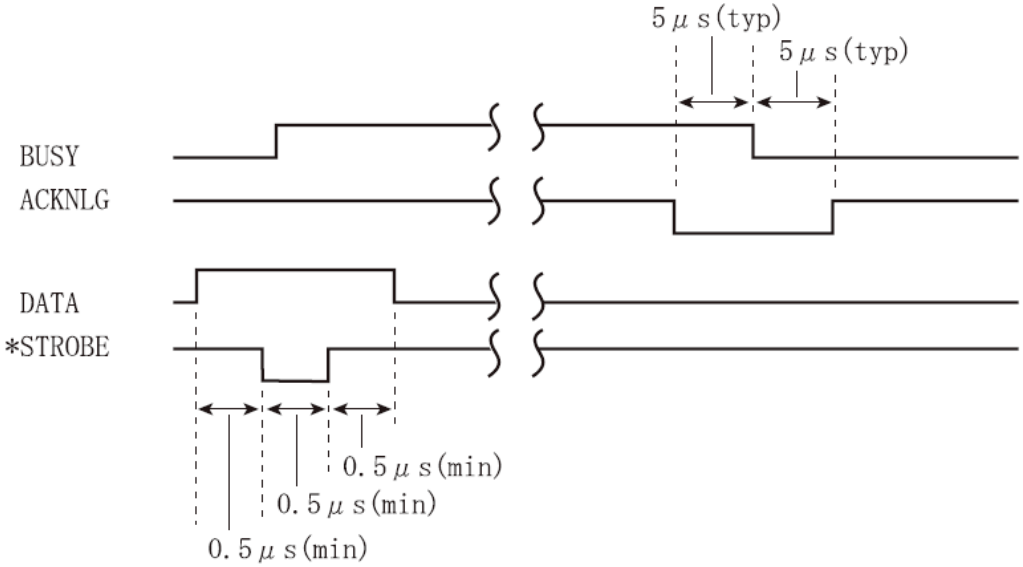
・入力信号の説明

DATA1～8	プリンターの受信データです。 “H”で信号あり、“L”で信号なしです。
*STROBE	DATA1～8 を読み込むためのパルス信号です。 定常状態では“H”です。“H”から“L”になるとき、データを読み込みます。
*INIT	プリンターを初期状態にする信号です。 “L”になるとプリンターは初期状態になります。
*SLCT IN	DC1/DC3 を無効にする信号です。 電源投入時に“L”になっていると、DC1/DC3 コードが無効になります。
*AUTO FEED XT	復帰改行する信号です。 “L”になっていると、CR コードを受信して復帰改行します。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

・出力信号の説明

*ACKNLG	*STROBE に対する応答信号です。 データ入力完了時に出力される負のパルス信号です。
PE	用紙切れを通知する信号です。 用紙が残り少なくなると、この信号は“H”になり、「用紙切れ」ランプが点灯します。
BUSY	プリンターのビジー状態を通知する信号です。 この信号が“H”のとき、プリンターはビジー状態で、データは受信できません。 以下の状態のとき、この信号は“H”です。 - 受信データ処理中 - アラーム状態 - オフライン状態 - 電源投入時または*INIT 信号を受信しての初期化動作中
SLCT	常に“H”です。
*ERROR	アラーム状態、オフライン状態を通知する信号です。 この信号が“L”のときは、アラーム状態、オフライン状態です。

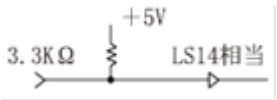


(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

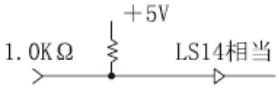
◆ インターフェイス回路

・入力信号の説明

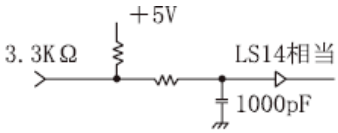
ピン No.	信号
2～9	DATA1～8



ピン No.	信号
14	*AUTOFEED XT

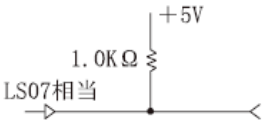


ピン No.	信号
1	*STROBE
31	*INIT
34	NC



・出力信号の説明

ピン No.	信号
10	*ACKNLG
11	BUSY
12	PE
13	SLCT
15	NC
32	*ERROR
33	SG



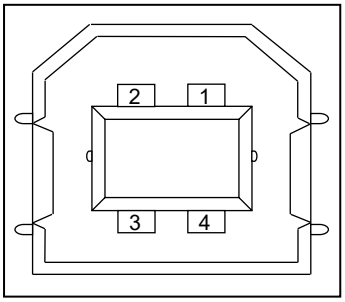
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

7.3.2 USB インターフェイス

◆ ケーブル

仕様　　：USB2.0
タイプ　：シールドタイプ
長さ　　：5m以下

◆ コネクターピン配列



No.	信号線名称	機能
1	VBUS	電源
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド
Shell	Shield	

◆ コネクター仕様

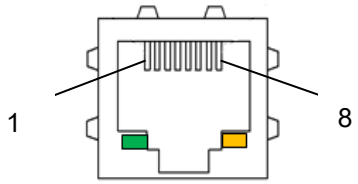
プリンター側　：typeB レセプタクル（メス） アップストリームポート
ケーブル側　　：typeB プラグ（オス）

◆ 仕様

基本仕様　：USB インターフェイス準拠
　　注意) 全ての USB デバイスとの接続を保証するものではありません。
電力制御　：セルフパワーデバイス
伝送モード　　：フルスピード（最大 12Mbps±0.25%）

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

7.3.3 LAN インターフェイス



◆ コネクターピン配列

ピン No.	信号名	方向	信号線名
1	TX+	出力	出力データ
2	TX-	出力	出力データ
3	RX+	入力	入力データ
4	N.C	-	-
5	N.C	-	-
6	RX-	入力	入力データ
7	N.C	-	-
8	N.C	-	-

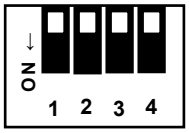
注) インターフェイスケーブルは、ストレート LAN ケーブルを使用し、Hub 経由でネットワークに接続してください。

◆ LED

表示	動作内容
S (Speed) LED (緑)	接続先を 100BASE-TX と認識したときに点灯します。 未接続のとき又は接続先を 10BASE-T と認識したときに消灯します。
L/A (Link/Act) LED (橙)	100BASE-TX 又は 10BASE-T でリンクが確定したときに点灯します。 パケットを受信したときに点滅します。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

◆ DIP スイッチ



SW	機能	動作内容
1	DHCP 切り替え	OFF のとき、DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)が有効になります。 ON (注 1) のとき、DHCP が無効になります。
2	設定初期化	SW2 をオンにしてプリンターの電源を投入すると、PR-LN4S の IP アドレスやサブネットマスクの設定を初期化します。
3	設定印字	LAN カードに設定されている IP アドレスやサブネットマスクなどの情報を印字します。
4	保守	保守機能を有効にします。保守機能のため、通常時はスイッチを ON にしないでください。

注 1) DHCP"無効"(SW1=ON)で、設定初期化(SW2=ON)したときの IP アドレス初期値は、192.168.192.168、サブネットマスクは、255.255.255.0 です。
注 2) プリンターの電源を入れたまま、DIP スイッチの操作を行わないでください。
注 3) このスイッチは保守用です。通常は、全て OFF 状態のままでご使用ください。
必要に応じて変更を行ってください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

7.4　プリンターエミュレーションの制限事項

ここでは、このプリンターがサポートしているエミュレーションの制限事項について説明します。

◆ サポートコマンド

このプリンターは、ESC/P 24-J84 に準拠していますが、印字方式、解像度の違いによりサポートしていないコマンドがあり、「コマンド一覧表」に記載されたコマンドのみをサポートします。

◆ ソフトウェアの設定

次のプリンタードライバーを使用してください。
・fit7450Pro プリンタードライバー（プリンター装置添付）

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

7.5　初期状態

電源投入時、*INIT 受信時、およびリセットコマンド受信時の初期状態を下表に示します。

	電源投入、*INIT	リセットコマンド
ページ先頭位置	初期化時に印字ヘッドのある位置	同左
印刷バッファー	クリア	〃
メカニズム	印字ヘッドをホームポジションに移動	しない
ダウンロード文字 外字定義文字	クリア	クリアしない
ページ長	11 インチ（注 1）	
ミシン目スキップ	解除（注 1）	
右マージン	136 桁(10CPI の文字幅による)	
左マージン	0	
改行量	1/6 インチ/行（注 1）	
水平タブ位置	8 文字ごとの水平タブ	
垂直タブ位置	無指定	
文字ピッチ	10 文字/インチ（注 1）	
プロポーショナル	解除	
英数カナ文字書体	クーリエ（注 1）	
文字品位	高品位（注 1）	
国際文字選択	日本（注 1）	
文字コード表	カタカナコード表（注 1）	
文字間スペース量	0	
文字装飾	解除	
縮小	解除（注 1）	
漢字モード	解除	
漢字書体	明朝体（注 1）	
縦書き/横書き	横書き	
全角文字/半角文字/・角文字	全角文字	
全角漢字の左右スペース量	左スペース量：0 右スペース量：3	
半角漢字の左右スペース量	左スペース量：0 右スペース量：2	
1/4 角文字の左右スペース量	左スペース量：0 右スペース量：2	
漢字装飾	解除	
単方向印字	解除（注 1）	
漢字高速印字	解除（注 2）	
カットシートフィーダーモード	第 1 ビン選択	
カラー選択	黒（注 3）	

注 1) 機能設定の内容により、初期状態が異なります。上記は、機能設定が出荷時の状態の場合です。
注 2) ただし、〔印字モード｜改ページ〕スイッチにより高速印字モードにしていた場合、リセットコマンド受信では高速印字を解除しません。
注 3) リボンシフトは、初期化時では無く、次に印字を実行するときに行います。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

7.6　コマンド一覧表

本プリンターで使用できるコマンドについて、簡単に説明します。

＜お願い＞

・ 本プリンターでは、1 インチ以上の逆改行を行わないでください。
これを行うと、印字が乱れたり、用紙づまりの原因になったりします。

＜ガイド＞

・ カットシートフィーダー給紙の場合、逆改行のトータル量は 1/3 インチ以下とします。

◆ 表の見方

・ ＜　　＞$_{16}$ 内の文字は 16 進表記です。
・ コマンド欄の記号は、次のコードを意味します。
ESC ＝ ＜1B＞$_{16}$
FS ＝ ＜1C＞$_{16}$
・ ＋は、＋前後のコマンドが連続していることを示します。
・ ␣は、スペース（空白<20>$_{16}$）を示します。
・ P_a、P_1、P_2、…、P_n はパラメーターを示します。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

本プリンターで使用できるコマンドは、下表のとおりです。

機能名称		名称	コマンド	機能
書式設定・実行	印字領域設定	行単位ページ長設定	ESC＋C＋P_a	行単位でページ長を設定します。
		インチ単位ページ長設定	ESC＋C＋NUL＋P_a	インチ単位でページ長を設定します。
		ミシン目スキップ設定	ESC＋N＋P_a	ページ長下端からのミシン目スキップ位置を設定します。
		ミシン目スキップ解除	ESC＋O	ミシン目スキップ設定を解除します。
		右マージン設定	ESC＋Q＋P_a	右マージン位置を桁数で設定します。
		左マージン設定	ESC＋ｌ＋P_a	左マージン位置を桁数で設定します。
	改行量設定	1/8 インチ改行量指定	ESC＋0	改行量を 1/8 インチに設定します。
		1/6 インチ改行量指定	ESC＋2	改行量を 1/6 インチに設定します。
		n/180 インチ改行量指定	ESC＋3＋P_a	改行量を Pa/180 インチに設定します。
		n/60 インチ改行量指定	ESC＋A＋P_a	改行量を Pa/60 インチに設定します。
		n/360 インチ改行量指定	ESC＋ ＋ ＋P_a	改行量を Pa/360 インチに設定します。
	タブ設定	垂直タブ位置設定	ESC＋B＋P_1＋P_2＋…P_n＋NUL	ページ先頭行からの垂直タブ位置を設定します。
		水平タブ位置設定	ESC＋D＋P_1＋P_2＋…P_n＋NUL	左マージン位置からの水平タブ位置を設定します。
		VFU チャネル選択	ESC＋/＋P_a	チャネル番号を指定します。
		VFU タブ位置設定	ESC＋ｂ＋P_a＋P_1＋…P_n＋NUL	Pa で指定されたチャネル番号に対して、ページ先頭行からの垂直タブ位置を設定します。
	印字・紙送り	印字復帰	CR	バッファー内のデータを印字後、受信位置を同一行の左マージン位置にします。
		改行	LF	バッファー内のデータを印字後、現在の改行ピッチに従って受信位置を次行の左マージン位置にします。
		改ページ	FF	バッファー内のデータを印字後、設定されているページ長にしたがって改ページします
		n/180 インチ順方向紙送り	ESC＋J＋P_a	1/180 インチ単位で、受信位置を現在位置からの移動量で指定します。
	印字位置設定	水平タブ実行	HT	受信位置を同一行の次の水平タブ位置へ移動します。
		垂直タブ実行	VT	バッファー内のデータを印字後、受信位置を次の垂直タブ位置の左マージン位置へ移動します。
		後退	BS	受信位置を直前の文字の文字ピッチに従って 1 文字分左へ移動します。
		絶対位置指定	ESC＋＄＋P_1＋P_2	受信位置を左マージン位置からの移動量で指定します。
		相対位置指定	ESC＋￥＋P_1＋P_2	受信位置を現在位置からの移動量で指定します。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

機能名称			名称	コマンド	機能
テキスト処理	ANK 文字	文字セット	12CPI 指定	ESC＋M	ANK 文字のピッチを 12CPI に設定します。
			10CPI 指定	ESC＋P	ANK 文字のピッチを 10CPI に設定します。
			15CPI 指定	ESC＋g	ANK 文字のピッチを 15CPI に設定します。
			プロポーショナル指定/解除	ESC＋ｐ＋P_a	プロポーショナル印字の指定、解除を行います。
			国際文字選択	ESC＋R＋P_a	各国別の文字セットを選択します。
			スーパー/サブスクリプト指定	ESC＋S＋P_a	ANK 文字のスーパー/サブスクリプトを指定します。
			スーパー/サブスクリプト解除	ESC＋T	スーパー/サブスクリプトの指定を解除します。
			文字品位選択	ESC＋ｘ＋P_a	ANK 文字の文字品位を指定します。
			書体選択	ESC＋ｋ＋P_a	ANK 文字の書体を指定します。
			文字コード表選択	ESC＋ｔ＋P_a	ANK 文字のコード表を選択します。
		文字定義	ダウンロード文字セット指定/解除	ESC＋%＋P_a	ANK 文字のダウンロード文字セットの指定、解除を行います。
			ダウンロード文字定義	ESC＋＆＋NUL＋P_1＋P_2＋｛P_{a1}＋P_{b1}＋P_{c1}＋D_1～D_n｝×n	ダウンロード文字を定義するコードを指定し、定義開始コードおよび定義終了コードを指定します。
			文字セットコピー	ESC＋：＋NUL＋P_1＋P_2	ダウンロード文字セットへコピーする書体を選択します。
		文字ピッチ調整	文字間スペース量設定	ESC＋␣＋P_a	ANK 文字幅に付加するスペース量を指定します。
		位置揃え選択	位置揃え選択	ESC＋ａ＋P_a	文字の印字位置の揃えかたを指定します。
		装飾	縮小指定	SI	ANK 文字の縮小印字を指定します。
			縮小指定	ESC＋SI	
			縮小解除	DC2	ANK 文字の縮小印字指定を解除します。
			アンダーライン指定/解除	ESC＋－＋P_a	ANK 文字のアンダーラインの指定、解除を行います。
			縦倍拡大指定/解除	ESC＋ｗ＋P_a	ANK 文字の縦倍拡大の指定、解除を行います。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

機能名称			名称	コマンド	機能
テキスト処理	共通	装飾	自動解除付き倍幅拡大指定	SO	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大を指定します。
			自動解除付き倍幅拡大指定	ESC＋SO	
			自動解除付き倍幅拡大解除	DC4	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大の指定を解除します。
			倍幅拡大指定/解除	ESC＋W＋P_a	ANK および漢字文字の倍幅拡大の指定、解除を行います。
			強調指定	ESC＋E	ANK および漢字文字の強調文字を指定します。
			強調解除	ESC＋F	ANK および漢字文字の強調文字指定を解除します。
			二重印字指定	ESC＋G	ANK および漢字文字の二重印字を指定します。
			二重印字解除	ESC＋H	ANK および漢字文字の二重印字指定を解除します。
			自動解除付き倍幅拡大指定	FS＋SO	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大を指定します。
			自動解除付き倍幅拡大解除	FS＋DC4	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大の指定を解除します。
			一括指定	ESC＋！＋P_a	ANK 文字および漢字の文字修飾を一括指定します。
			イタリック指定	ESC＋4	ANK および漢字文字のイタリック印字を指定します。
			イタリック解除	ESC＋5	ANK および漢字文字のイタリック印字指定を解除します。
			文字スタイル選択	ESC＋ｑ＋P_a	ANK および漢字文字の文字スタイルを選択します。
	漢字	装飾	縦書き指定	FS＋J	漢字文字の縦書きを指定します。
			横書き指定	FS＋K	漢字文字の横書きを指定します。
			半角縦書き 2 文字指定	FS＋D	漢字文字 2 文字の半角組み文字を指定します。
			4 倍角指定/解除	FS＋W＋P_a	漢字文字の 4 倍角の指定、解除を行います。
			漢字アンダーライン指定/解除	FS＋－＋P_a	漢字アンダーラインの指定、解除を行います。
			漢字一括指定	FS＋！＋P_a	漢字文字および ANK 文字の文字修飾を一括指定します。
		文字セット	漢字モード指定	FS＋&	漢字モードを指定します。
			漢字モード解除	FS＋.	漢字モードの指定を解除します。
			半角文字指定	FS＋SI	漢字文字の半角印字を指定します。
			半角文字解除	FS＋DC2	漢字文字の半角印字指定を解除します。
			1/4 角文字指定	FS＋ｒ＋P_a	漢字文字の 1/4 角文字の印字を指定します。
			漢字書体選択	FS＋ｋ＋P_a	漢字文字の書体を選択します。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

機能名称			名称	コマンド	機能
テキスト処理	漢字	文字定義	外字定義	FS＋2＋P_1＋P_2＋D_1～D_{72}	外字登録コード、登録パターンを指定します。
		文字ピッチ調整	全角文字スペース量設定	FS＋S＋P_1＋P_2	漢字全角文字に付加するスペース量を指定します。
			半角文字スペース量設定	FS＋T＋P_1＋P_2	漢字半角文字および 1/4 角文字に付加するスペース量を指定します。
			半角文字スペース量補正	FS＋U	漢字半角文字のスペース量を 2 文字ごとに補正します。
			半角文字スペース量補正解除	FS＋V	漢字半角文字のスペース量補正の指定を解除します。
イメージ処理			8 ドット単密度ビットイメージ	ESC＋K＋P_1＋P_2＋D_1～D_n	8 ビット単密度のビットイメージを指定します。
			8 ドット倍密度ビットイメージ	ESC＋L＋P_1＋P_2＋D_1～D_n	8 ビット倍密度のビットイメージを指定します。
			8 ドット倍速倍密度ビットイメージ	ESC＋Y＋P_1＋P_2＋D_1～D_n	8 ビット倍速倍密度のビットイメージを指定します。
			8 ドット 4 倍密度ビットイメージ	ESC＋Z＋P_1＋P_2＋D_1～D_n	8 ビット 4 倍密度のビットイメージを指定します。
			ビットイメージ選択	ESC＋＊＋P_a＋P_1＋P_2＋D_1～D_n	ビットイメージのモードおよびカラム数を指定します。
			ビットイメージ変換	ESC＋？＋P_1＋P_2	8 ビット系のビットイメージ(ESC＋K,ESC＋L,ESC＋Y,ESC＋Z)のビットイメージを変換します。
補助機能	初期化		初期化	ESC＋@	プリンターを初期状態にします。
	キャリッジ制御		単方向印字指定/解除	ESC＋U＋P_a	単方向印字の指定、解除を行います。
			漢字高速印字指定/解除	FS＋x＋P_a	漢字高速印字の指定、解除を行います。
			リターンホーム	ESC＋＜	プリントヘッドを左端まで移動します。
	データ入力制御		デバイスコントロール 1	DC1	プリンターを選択状態にします。
			デバイスコントロール 3	DC3	プリンターを非選択状態にします。
			1 文字削除	DEL	直前のデータを 1 文字クリアします。
			データ抹消	CAN	バッファー内のデータをクリアします。
	CSF 制御		カットシートフィーダー制御	ESC＋EM＋P_a	プリンターの給紙方法を選択します。
	カラー選択		カラー選択	ESC＋r＋P_a	印字色を指定します。 本コマンドは、赤黒対応機のみ有効です。
	ブザー		ブザー	BEL	ブザーを鳴動させます。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

7.7　キャラクターコード一覧表

本プリンターのキャラクターコードは以下の通りです。

◆ カタカナコード

上位 / 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL		SP	0	@	P	'	p	＿	┴		ー	タ	ミ	ニ	×
1		DC1	！	1	A	Q	a	q	▁	┬	。	ア	チ	ム	ヒ	円
2		DC2	”	2	B	R	b	r	▂	┤	「	イ	ツ	メ	ヰ	年
3		DC3	＃	3	C	S	c	s	▃	├	」	ウ	テ	モ	ヨ	月
4		DC4	$	4	D	T	d	t	▄	￣	、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▅	―	．	オ	ナ	ユ	◣	時
6			＆	6	F	V	f	v	▆	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7	BEL		’	7	G	W	g	w	■	｜	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8	BS	CAN	（	8	H	X	h	x	▏	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	〒
9	HT	EM	）	9	I	Y	i	y	▌	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF		＊	：	J	Z	j	z	▌	└	ェ	コ	ハ	レ	◆	区
B	VT	ESC	＋	；	K	［	k	｛	▌	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C	FF	FS	，	＜	L	¥	l	｜	▌	┌	ャ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR		－	＝	M	］	m	｝	■	┐	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E	SO		．	＞	N	＾	n	~	■	└	ョ	セ	ホ	゛	／	▨
F	SI		／	？	O	＿	o		┼	┘	ッ	ソ	マ	゜	＼	

注 1)　<15>$_{16}$ を除く、<00>$_{16}$～<7F>$_{16}$ はカタカナコード、拡張グラフィックスコードに共通です。

注 2)　<23>$_{16}$、<24>$_{16}$、<40>$_{16}$、<5B>$_{16}$～<5E>$_{16}$、<60>$_{16}$、<7B>$_{16}$～<7E>$_{16}$ のコードは国際文字選択によって入れ替わります。

【国際文字コード】

国 / コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	|	}	~
フランス	#	$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	|	}	~
ﾃﾞﾝﾏｰｸ Ⅰ	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
ｽｳｪｰﾃﾞﾝ	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@	°	\	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペインⅠ	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	|	}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
ﾃﾞﾝﾏｰｸ Ⅱ	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペインⅡ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ﾗﾃﾝｱﾒﾘｶ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

◆ 拡張グラフィックスコード

上位 / 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL		SP	0	@	P	`	p	Ç	É	ă	▒	└	╨	α	≡
1		DC1	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	╥	ß	±
2		DC2	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	╤	Γ	≥
3		DC3	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╘	π	≤
4		DC4	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	╒	Σ	⌠
5		§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╓	σ	⌡
6			&	6	F	V	f	v	å	û	ª	╢	╞	╔	µ	÷
7	BEL		'	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	╫	τ	≈
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	╕	╠	╪	Φ	°
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	⌐	╣	╗	┘	θ	∙
A	LF		*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╝	┌	Ω	·
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	╗	╦	█	δ	√
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	î	£	¼	╜	╚	▄	∞	ⁿ
D	CR		−	=	M	]	m	}	ì	¥	¡	╜	═	▌	φ	²
E	SO		.	>	N	^	n	~	Ä	Pt	«	┘	╬	▐	∈	■
F	SI		/	?	O	_	o		Å	ƒ	»	┐	╧	▀	∩	SP

注)　<23>$_{16}$、<24>$_{16}$、<40>$_{16}$、<5B>$_{16}$～<5E>$_{16}$、<60>$_{16}$、<7B>$_{16}$～<7E>$_{16}$のコードは国際文字選択によって入れ替わります。

【国際文字コード】

国 / コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	|	}	~
フランス	#	$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	|	}	~
ﾃﾞﾝﾏｰｸ Ⅰ	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
ｽｳｪｰﾃﾞﾝ	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@	°	\	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペインⅠ	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	|	}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
ﾃﾞﾝﾏｰｸ Ⅱ	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペインⅡ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ﾗﾃﾝｱﾒﾘｶ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

7.8　非漢字一覧表

本プリンターのキャラクターコードは以下の通りです。

◆ 文字コード一覧表

JIS コードはすべて 16 進形式

区$ \ 点$	20 0	21 1	22 2	23 3	24 4	25 5	26 6	27 7	28 8	29 9	2A 10	2B 11	2C 12	2D 13	2E 14	2F 15	30 16	31 17	32 18	33 19	34 20	35 21	36 22	37 23	38 24	39 25	3A 26	3B 27	3C 28	3D 29	3E 30	3F 31
20 : 0																																
21 : 1		空白	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
22 : 2		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓	─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
23 : 3																	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
24 : 4		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
25 : 5		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
26 : 6		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
27 : 7		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э

区$ \ 点$	40 32	41 33	42 34	43 35	44 36	45 37	46 38	47 39	48 40	49 41	4A 42	4B 43	4C 44	4D 45	4E 46	4F 47	50 48	51 49	52 50	53 51	54 52	55 53	56 54	57 55	58 56	59 57	5A 58	5B 59	5C 60	5D 61	5E 62	5F 63
20 : 0																																
21 : 1	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
22 : 2	∪	∩									∧	∨	¬	⇒	⇔	∀	∃												∠	⊥	⌒	∂
23 : 3		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
24 : 4	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
25 : 5	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
26 : 6		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
27 : 7	Ю	Я																а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н

区$ \ 点$	60 64	61 65	62 66	63 67	64 68	65 69	66 70	67 71	68 72	69 73	6A 74	6B 75	6C 76	6D 77	6E 78	6F 79	70 80	71 81	72 82	73 83	74 84	75 85	76 86	77 87	78 88	79 89	7A 90	7B 91	7C 92	7D 93	7E 94
20 : 0																															
21 : 1	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇
22 : 2	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬								Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯
23 : 3		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z				
24 : 4	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん											
25 : 5	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ								
26 : 6																															
27 : 7	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я													

注 1) 区点コードは点の部分を加算して求めます。%の区点コードは 0180＋03 で 0183 となります。区点コードは 10 進数です。例えば、%の JIS コードは 2173 と読みます。実際の使用には、“&H"をつけて、「&H2173」とします。

注 2) コード表の空白部分を印字させますと、何らかの文字が出力される場合があります。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

区＼点	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
28	8	─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸
74	80	堯	槇	遙	瑤	凜	熙																									

区＼点	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
28	8	┼																														

区＼点	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2D	13	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	

区＼点	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
2D	13	ミリ	キロ	センチ	メートル	グラム	トン	アール	ヘクタール	リットル	ワット	カロリー	ドル	セント	パーセント	ミリバール	ページ	mm	cm	km	mg	kg	cc	㎡								平成

区＼点	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
2D	13	″	〃	No.	KK.	TEL	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	明	大	正	昭	和	≒	≡	∫	∮	Σ	√	⊥	∠	∟	⊿	∵	∩	∪

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

外字登録領域

区＄＼点＄	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
77 87	※																															
78 88	※																															

区＄＼点＄	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
77 87																																
78 88																																

区＄＼点＄	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E	7F
	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95
77 87																																※
78 88																																※

注）※部（7720,777F,7820,787F）は登録できません。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

7.9 JIS-90 第一水準漢字一覧表

JIS コードはすべて 16 進形式

区$	区	20 0	21 1	22 2	23 3	24 4	25 5	26 6	27 7	28 8	29 9	2A 10	2B 11	2C 12	2D 13	2E 14	2F 15	30 16	31 17	32 18	33 19	34 20	35 21	36 22	37 23	38 24	39 25	3A 26	3B 27	3C 28	3D 29	3E 30	3F 31
20	0																																
21	1		空白	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
22	2		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓												∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
23	3																	０	１	２	３	４	５	６	７	８	９						
24	4		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
25	5		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
26	6		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
27	7		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
28	8		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸
29	9																																
2A	10																																
2B	11																																
2C	12																																
2D	13		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	
2E	14																																
2F	15																																
30	16		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
31	17		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
32	18		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何
33	19		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
34	20		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
35	21		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
36	22		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
37	23		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
38	24		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
39	25		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3A	26		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
3B	27		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
3C	28		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3D	29		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
3E	30		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3F	31		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
40	32		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
41	33		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
42	34		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
43	35		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
44	36		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
45	37		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
46	38		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
47	39		如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿
48	40		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
49	41		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
4A	42		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平
4B	43		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4C	44		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命
4D	45		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4E	46		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
4F	47		蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録

注) 「茜」の JIS コードは 302B と読みます。実際の使用には、“&H"をつけて、「&H302B」とします。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

区 $	点 $	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
		32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
20	0																																
21	1	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
22	2	∪	∩									∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃												∠	⊥	⌒	∂
23	3		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
24	4	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
25	5	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
26	6		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
27	7	Ю	Я																а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
28	8	┼																															
29	9																																
2A	10																																
2B	11																																
2C	12																																
2D	13	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡									㍻
2E	14																																
2F	15																																
30	16	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
31	17	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
32	18	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
33	19	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
34	20	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
35	21	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
36	22	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
37	23	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
38	24	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
39	25	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降
3A	26	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
3B	27	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
3C	28	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3D	29	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3E	30	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤
3F	31	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨
40	32	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
41	33	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
42	34	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
43	35	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
44	36	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊
45	37	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
46	38	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
47	39	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
48	40	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
49	41	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
4A	42	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪
4B	43	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
4C	44	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
4D	45	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲
4E	46	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累
4F	47	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾	碗	腕												

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

区$	点$	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
		64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
20	0																															
21	1	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇
22	2	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬								Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯
23	3		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z				
24	4	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん											
25	5	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ								
26	6																															
27	7	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я													
28	8																															
29	9																															
2A	10																															
2B	11																															
2C	12																															
2D	13	〝	〟	№	㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿	∵	∩	∪		
2E	14																															
2F	15																															
30	16	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭
31	17	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応
32	18	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改
33	19	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱
34	20	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄
35	21	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京
36	22	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈
37	23	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲
38	24	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向
39	25	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込
3A	26	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷
3B	27	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時
3C	28	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周
3D	29	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償
3E	30	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾
3F	31	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾
40	32	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線
41	33	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎
42	34	逞	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只
43	35	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵
44	36	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓
45	37	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到
46	38	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入
47	39	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦
48	40	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美
49	41	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服
4A	42	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋
4B	43	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満
4C	44	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒
4D	45	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃
4E	46	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯
4F	47																															

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

7.10 JIS-90 第二水準漢字一覧表

区＼点	20 0	21 1	22 2	23 3	24 4	25 5	26 6	27 7	28 8	29 9	2A 10	2B 11	2C 12	2D 13	2E 14	2F 15	30 16	31 17	32 18	33 19	34 20	35 21	36 22	37 23	38 24	39 25	3A 26	3B 27	3C 28	3D 29	3E 30	3F 31
50:48		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗
51:49		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸
52:50		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區
53:51		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊
54:52		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒
55:53		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂
56:54		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜
57:55		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯
58:56		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎
59:57		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔
5A:58		擄	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷
5B:59		暉	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰
5C:60		椏	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰
5D:61		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐
5E:62		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇
5F:63		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘
60:64		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄
61:65		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤
62:66		癩	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇
63:67		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧
64:68		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆
65:69		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽
66:70		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶
67:71		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺
68:72		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴
69:73		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓
6A:74		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖
6B:75		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖
6C:76		譟	譬	譯	譫	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎
6D:77		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾
6E:78		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂
6F:79		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃
70:80		陜	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓
71:81		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋
72:82		髫	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨
73:83		鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽	鸚
74:84		堯	槇	遙	瑤	凜	熙																									
75:85																																
76:86																																
77:87																																
78:88																																
79:89																																
7A:90																																
7B:91																																
7C:92																																
7D:93																																
7E:94																																

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

区＼点 $	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
$	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
50 48	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤
51 49	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭
52 50	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽
53 51	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸
54 52	埒	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥
55 53	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀
56 54	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛
57 55	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠
58 56	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚
59 57	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫
5A 58	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊
5B 59	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎
5C 60	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹
5D 61	歃	歇	歉	歐	歙	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯
5E 62	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤
5F 63	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝
60 64	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎
61 65	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿
62 66	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍
63 67	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰
64 68	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖
65 69	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷
66 70	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨
67 71	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤
68 72	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬
69 73	蘋	蘊	蘓	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬
6A 74	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿
6B 75	訐	訌	訛	譌	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧
6C 76	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧
6D 77	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜
6E 78	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼
6F 79	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙
70 80	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏
71 81	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃
72 82	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡
73 83	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯
74 84																																
75 85																																
76 86																																
77 87																																
78 88																																
79 89																																
7A 90																																
7B 91																																
7C 92																																
7D 93																																
7E 94																																

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

区 $	区	60 64	61 65	62 66	63 67	64 68	65 69	66 70	67 71	68 72	69 73	6A 74	6B 75	6C 76	6D 77	6E 78	6F 79	70 80	71 81	72 82	73 83	74 84	75 85	76 86	77 87	78 88	79 89	7A 90	7B 91	7C 92	7D 93	7E 94
50	48	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲
51	49	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨
52	50	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨
53	51	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉
54	52	壥	壤	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩
55	53	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓
56	54	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏
57	55	怙	怡	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚
58	56	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛
59	57	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼
5A	58	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼
5B	59	梳	桍	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍
5C	60	榭	槊	樅	槿	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣
5D	61	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾
5E	62	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌
5F	63	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼
60	64	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱
61	65	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰
62	66	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬
63	67	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐
64	68	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆
65	69	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺
66	70	聱	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋
67	71	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙
68	72	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈
69	73	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙
6A	74	袱	裃	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞
6B	75	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫
6C	76	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊
6D	77	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸
6E	78	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮
6F	79	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞
70	80	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰
71	81	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷
72	82	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈
73	83	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠
74	84																															
75	85																															
76	86																															
77	87																															
78	88																															
79	89																															
7A	90																															
7B	91																															
7C	92																															
7D	93																															
7E	94																															

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

7.10.1　ご注意

このプリンターが印字する漢字は JIS C6226-1983（情報交換用漢字符号系）に準拠していますが、JIS C6234-1983（ドットプリンター用 24 ドット字形）は採用していません。したがって、パソコン本体の表示画面の文字および記号なども必ずしも一致いたしませんのでご了承ください。

JIS C6234-1983 の字体との違いはおおむね次の表の通りです。

JIS コード（区点）	プリンタ	JIS	JIS コード（区点）	プリンタ	JIS	JIS コード（区点）	プリンタ	JIS
3022(1602)	啞	唖	3979(2589)	甑	甑	4578(3788)	禱	祷
303B(1627)	飴	飴	3A67(2671)	榊	榊	4642(3834)	瀆	涜
306E(1678)	溢	溢	3A74(2684)	柵	柵	4654(3852)	瀞	静
3135(1721)	欝	鬱	3B2A(2710)	鯖	鯖	466A(3874)	楢	楢
3139(1725)	厩	厩	3B2C(2712)	錆	錆	4729(3909)	禰	禰
313D(1729)	噂	噂	3B39(2725)	珊	珊	4739(3925)	嚢	嚢
3142(1734)	餌	餌	3C48(2840)	屢	屢	482E(4014)	潑	溌
316B(1775)	焔	焔	3D2B(2911)	繡	繡	4830(4016)	醱	醗
322A(1810)	鷗	鴎	3D36(2922)	酋	酋	4B4B(4343)	頬	頬
327A(1890)	恢	恢	3E55(3053)	蔣	蔣	4B70(4380)	鱒	鱒
336B(1975)	葛	葛	3E5F(3063)	醤	醤	4C4D(4445)	麺	麺
337A(1990)	噛	噛	3F2A(3110)	蝕	蝕	4C5F(4463)	餅	餅
3442(2034)	潤	潤	4066(3270)	蟬	蝉	4D32(4518)	猷	猷
3540(2132)	祇	祇	4139(3325)	噌	噌	4D69(4573)	菜	菜
3622(2202)	俠	侠	4169(3373)	痩	痩	4E7B(4691)	煉	煉
362A(2210)	卿	卿	424D(3445)	驛	駅	4F31(4717)	榔	榔
366D(2277)	軀	躯	4263(3467)	黛	黛	4F39(4725)	蠟	蝋
367B(2291)	櫛	櫛	432E(3514)	樽	樽	5622(5402)	屏	屏
3737(2323)	祁	祁	433D(3529)	簞	箪	5960(5764)	捩	捩
3771(2381)	倦	倦	444F(3647)	摑	掴	5A39(5825)	攢	攅
377E(2394)	捲	捲	4522(3702)	鄭	鄭	6546(6938)	綟	綟
3834(2420)	鹸	鹸	4536(3722)	塡	填			
396D(2577)	麴	麹	453F(3731)	顚	顛			

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

◆ 第一水準と第二水準が入れ替わった文字

コード（区点）	新第1水準	新第2水準	コード（区点）	コード（区点）	新第1水準	新第2水準	コード（区点）
3083 (1619)	鯵	鰺	724D (8245)	4128 (3308)	賤	賤	6C4D (7645)
3229 (1809)	鴬	鶯	7274 (8284)	445B (3659)	壷	壺	5464 (5268)
3342 (1934)	蛎	蠣	695A (7358)	4557 (3755)	砺	礪	626A (6674)
3349 (1941)	撹	攪	5978 (5788)	456E (3778)	梼	檮	5B6D (5977)
3376 (1986)	竃	竈	635E (6762)	4573 (3783)	涛	濤	5E39 (6225)
3443 (2035)	潅	灌	5E75 (6285)	4676 (3886)	迩	邇	6D6E (7778)
3452 (2050)	諌	諫	6B5D (7561)	4768 (3972)	蝿	蠅	6A24 (7404)
375B (2359)	頚	頸	7074 (8084)	4930 (4116)	桧	檜	5B58 (5956)
395C (2560)	砿	礦	6268 (6672)	4B79 (4389)	侭	儘	5056 (4854)
3C49 (2841)	蕊	蘂	6922 (7302)	4C79 (4489)	薮	藪	692E (7314)
3F59 (3157)	靭	靱	7057 (8055)	4F36 (4722)	篭	籠	6446 (6838)

◆ 第一水準と第二水準が入れ替わった文字

コード（区点）	追加文字	コード（区点）	追加文字
7421 (8401)	堯	7424 (8404)	瑤
7422 (8402)	槇	7425 (8405)	凜
7423 (8403)	遙	7426 (8406)	熙

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

ドットインパクトプリンター
fit7450Pro
取扱説明書(プリンター編)

発行日　　2025 年 03 月 第 11 版
発行責任　　富士通アイソテック株式会社

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。